

令和4年度

# 教養教育ガイド

# 2022

Liberal Arts and Sciences at **University of Toyama**

# 目 次

令和4年度(2022年度)富山大学学年暦	1
令和4年度(2022年度)カレンダー	2
はじめに	3
<b>I 富山大学における教養教育について</b>	<b>4</b>
1 富山大学の教育方針	4
2 富山大学教養教育カリキュラム・ポリシー	5
<b>II 教養教育における授業の仕組み</b>	<b>7</b>
1 学年・学期・授業時間	7
2 教養教育における卒業要件単位	7
3 科目の種類	7
4 単位・成績	8
5 各学部・学科における卒業要件単位一覧	10
6 令和4年度入学者教養教育開設授業科目一覧	21
7 シラバス	28
8 ヘルン・システム(富山大学 学務情報システム)	28
9 その他	28
<b>III 履修登録</b>	<b>29</b>
1 履修計画	29
2 年次・学期ごとの履修上限単位数(CAP制)	29
3 履修登録の日程	29
4 教養教育科目の履修登録(経済学部夜間主コースを除く9学部共通)	30
5 履修登録の手順(経済学部夜間主コースを除く9学部共通)	35
6 教養教育科目の履修登録について(経済学部夜間主コース)	37
<b>IV 履修上の注意</b>	<b>38</b>
1 教室	38
2 出欠管理システム	38
3 欠席等の取扱い	38
4 授業に関する諸連絡(休講・補講・試験等)	39
5 レポートの提出	39
6 「健康・スポーツ/実技」履修上の注意	39
<b>V 単位認定</b>	<b>41</b>
1 試験	41
2 不正行為	41
3 追試験	42
4 成績評価の確認	42
5 不可となった科目の取扱い	43
6 既修得単位等の認定	43
<b>VI 学部横断型教育プログラム</b>	<b>46</b>
<b>VII 教養教育に関するQ&amp;A</b>	<b>48</b>
<b>VIII 関係規則</b>	<b>52</b>
1 富山大学教養教育履修規則	52
2 富山大学教養教育追試験内規	74
3 富山大学教養教育再履修内規	75
4 富山大学教養教育再試験内規	75
共通教育棟マップ	76
教養教育で使用する各学部棟の情報端末室配置図	77
巻末資料(各種担当窓口一覧)	79



# 令和4年度（2022年度） 富山大学学年暦

	五福キャンパス 杉谷キャンパス 高岡キャンパス	教育学部	五福キャンパス 高岡キャンパス	杉谷キャンパス	備 考
	クォーター制	クォーター制	セメスター制	セメスター制	
入学式(4月期)	4/8(金)				
新入生 オリエンテーション	4/4(月), 4/5(火), 4/6(水), 4/7(木)				
前学期授業期間	4/12(火)～6/3(金) 6/14(火)～8/2(火)	4/12(火)～6/3(金) 6/10(金), 6/14(火)～8/2(火)	4/12(火)～8/2(火) ( 4/1(金)～8/9(火) ) ( 8/23(火)～9/30(金) ) 医学部2, 3, 4年次のみ		
補講・試験期間(※)	6/6(月)～6/10(金) 8/3(水)～8/9(火)	6/6(月)～6/9(木), 6/13(月) 8/3(水)～8/9(火)	8/3(水)～8/9(火)	8/3(水)～8/9(火) 8/31(水)～9/30(金)	
予備・調整日	6/13(月)				
夏季休業期間	8/10(水)～9/30(金)			8/10(水)～8/30(火) ( 8/10(水)～8/22(月) ) 医学部2, 3, 4年次のみ	
学位記授与式(9月期)	9/28(水)				
開学記念日	10/1(土)				入学式(10月期) 10/3(月)
後学期授業期間	10/3(月)～11/21(月), 11/24(木) 12/2(金)～12/26(月)	10/3(月)～11/21(月), 11/24(木),11/25(金) 12/5(月)～12/26(月)	10/3(月)～12/26(月)		
冬季休業期間	12/27(火)～1/4(水)				
後学期授業期間	1/5(木)～2/1(水)			( 1/5(木)～3/17(金) ) 医学部2, 3, 4年次のみ	1/13(金)は休講 (大学入学共通テスト準備) 大学入学共通テスト 1/14(土),15(日)
補講・試験期間(※)	11/22(火),11/25(金),11/28(月), 11/29(火),12/1(木) 2/2(木)～2/8(水)	11/22(火),11/28(月), 11/29(火),12/1(木), 12/2(金) 2/6(月)～2/10(金)	2/2(木)～2/8(水)	2/2(木)～2/15(水)	
予備・調整日	11/30(水)				
春季休業期間	2/9(木)～3/31(金) (※教育学部 2/11(土)～3/31(金) )			2/16(木)～3/31(金) ( 3/20(月)～3/31(金) ) 医学部2, 3, 4年次のみ	一般選抜(前期日程) 2/25(土),26(日) (26日は、医学部医学科のみ実施) 一般選抜(後期日程) 3/12(日)
学位記授与式(3月期)	3/23(木)				

※クォーター制の補講・試験期間には授業を含む。

## ◆オープンキャンパス日程

<対面開催>

高岡キャンパス	7/16(土)	芸術文化学部
杉谷キャンパス	7/17(日)	薬学部
	8/2(火)	医学部医学科
	8/3(水)	医学部看護学科
五福キャンパス	8/6(土)	人文学部, 教育学部, 経済学部, 理学部, 工学部, 都市デザイン学部

## ◆大学祭日程

高岡キャンパス	10月15日(土)～16日(日)
杉谷キャンパス	10月22日(土)～23日(日)
五福キャンパス	10月29日(土)～30日(日)

(大学祭準備等のため、10/21(金)午後は休講(杉谷キャンパスのみ))

[セメスター制]

令和4年度(2022年度)五福・高岡キャンパスカレンダー

学期・月	日	月	火	水	木	金	土	
前学期	4					1	2	
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	① 12	① 13	① 14	① 15	16
		17	① 18	② 19	② 20	② 21	② 22	23
	24	② 25	③ 26	③ 27	③ 28	29	30	
	5	1	③ 2	3	4	5	③ 6	7
		8	④ 9	④ 10	④ 11	④ 12	④ 13	14
		15	⑤ 16	⑤ 17	⑤ 18	⑤ 19	⑤ 20	21
		22	⑥ 23	⑥ 24	⑥ 25	⑥ 26	⑥ 27	28
	29	⑦ 30	⑦ 31					
	6			⑦ 1	⑦ 2	⑦ 3	4	
		5	⑧ 6	⑧ 7	⑧ 8	⑧ 9	⑧ 10	11
		12	⑨ 13	⑨ 14	⑨ 15	⑨ 16	⑨ 17	18
		19	⑩ 20	⑩ 21	⑩ 22	⑩ 23	⑩ 24	25
	26	⑪ 27	⑪ 28	⑪ 29	⑪ 30			
	7					⑪ 1	2	
3		⑫ 4	⑫ 5	⑫ 6	⑫ 7	⑫ 8	9	
10		⑬ 11	⑬ 12	⑬ 13	⑬ 14	⑬ 15	16	
17		18	月⑭ 19	⑭ 20	⑭ 21	⑭ 22	23	
24	⑮ 25	⑮ 26	⑮ 27	⑮ 28	⑮ 29	30		
31								
8		⑮ 1	⑮ 2	⑮ 3	⑮ 4	⑮ 5	6	
	7	⑯ 8	⑯ 9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31					
9					1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30			

学期・月	日	月	火	水	木	金	土	
後学期	10						△ 1	
		2	① 3	① 4	① 5	① 6	① 7	8
		9	10	② 11	② 12	② 13	② 14	15
		16	② 17	③ 18	③ 19	③ 20	③ 21	22
		23	③ 24	④ 25	④ 26	④ 27	④ 28	29
	30	④ 31						
	11			⑤ 1	⑤ 2	3	⑤ 4	5
		6	⑤ 7	⑥ 8	⑥ 9	⑤ 10	⑥ 11	12
		13	⑥ 14	⑦ 15	⑦ 16	⑥ 17	⑦ 18	19
		20	⑦ 21	水⑧ 22	23	⑦ 24	⑧ 25	26
		27	⑧ 28	⑧ 29	30			
	12					⑧ 1	⑨ 2	3
		4	⑨ 5	⑨ 6	⑨ 7	⑨ 8	⑩ 9	10
		11	⑩ 12	⑩ 13	⑩ 14	⑩ 15	⑪ 16	17
		18	⑪ 19	⑪ 20	⑪ 21	⑪ 22	⑫ 23	24
		25	⑫ 26	27	28	29	30	31
1	1	2	3	4	⑫ 5	⑬ 6	7	
	8	9	⑫ 10	⑫ 11	⑬ 12	◇ 13	14	
	15	⑬ 16	⑬ 17	⑬ 18	⑭ 19	⑭ 20	21	
	22	⑭ 23	⑭ 24	⑭ 25	⑮ 26	⑮ 27	28	
	29	⑮ 30	⑮ 31					
2				⑮ 1	⑮ 2	⑮ 3	4	
	5	⑮ 6	⑮ 7	⑮ 8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28					
3				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		

7月19日は月曜日の授業を行う。

11月22日は水曜日の授業を行う。

- 授業期間
- 補講・試験
- 予備・調整日
- 夏季一斉休業

△: 開学記念日

◇: 大学入学共通テスト準備のため1日休講

## はじめに

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ大学生活が始まります。学生の皆さんは、それぞれ将来の進路を思い描き学部を選ばれたことでしょう。早く専門分野について学びたいと意欲を高めていることと思いますが、富山大学では1年次、全ての学生が五福キャンパスで教養教育を学ぶことになっています。

なぜ、教養教育を学ばなければならないのか。それは、富山大学では専門分野の学びによる「専門知」と、幅広い分野から学ぶ「教養知」とをバランスよく身につけることを目標にしているからです。例えば、理系の専門を学んで最先端のロボットを開発しようとするとき、技術的な優位性だけでなく、それが本当に人々の幸福に資するものなのか、といった社会的な観点からの検討も求められます。法律ではどのように定義づけるのか、日常の中で使うものとして経済性や安全性、操作性はどうかなど、さまざまな観点からの考察が必要になります。一方、文系を学ぶ学生にも、これからの社会で活躍していく上で地球環境を脅かす物質の科学的な知識や、生活者に向けた統計調査を活用できる数理・データサイエンスの知識が求められています。専門を深化させ、あるいは広げていく上で幅広い教養知が不可欠になるのです。

富山大学には、人社芸術系・理工系・医薬系とさまざまな専門分野の教員がおり、教養教育では9つの系に分けて多様な科目を提供しています。また、目指す専門が異なる学生と一緒に学ぶことも、多様な考えに触れる上で役立つでしょう。教養教育では富山をテーマに、地域の文化や産業の魅力に触れるとともに、抱えている課題とその解決策についてディスカッション形式で学ぶ授業があります。グループワークなどに積極的に参加して、コミュニケーション能力を鍛え、2年次以降の学修がより実りあるよう準備してください。

大学は高等学校とは違い、学生自らが授業時間割をつくり、その履修を申請し、修得した単位を確認して、卒業まで責任を持って過ごさなければなりません。この教養教育ガイドには、大学で学ぶ上で基礎となるルールや、教養教育の履修方法などさまざまな情報がまとめられています。授業開始までに熟読して内容を把握するとともに、卒業までの間、必要に応じて読み返し活用してください。

なお、本ガイドを読んでわからない点や疑問点があれば、学務課教養教育支援室または所属学部の教務担当窓口（P79 参照）を訪ねてください。

また、本学では教養教育に関する情報発信として、教養教育院のウェブサイトを公開しているほか、在学生を対象としたスマートフォン用アプリケーション「とみだい iNfo」で情報公開していますので、併せて活用してください。（P79 参照）

教養教育院長



# I 富山大学における教養教育について

## 1 富山大学の教育方針

### (1) ディプロマ・ポリシー

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に、高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的發展に寄与することを理念としている。

本学では、この理念に基づいて、幅広い知識や深い専門的学識を持ち、問題提起し解決する能力、組織や社会の一員として貢献する能力、他者と意思を疎通するコミュニケーション能力、新しいものやことを創造する能力、地域を志向する意識を身に付け、各学部が示す学修成果を上げた者に学士の学位を授与する。なお、その身に付ける能力を以下のとおり示す。

#### ○幅広い知識

自然・社会・文化・人間について幅広く普遍的な知識を持ち続け、自立した市民として社会生活に活かす能力を身に付けている。

#### ○専門的学識

それぞれの専門性に応じた深い知識を持ち、活用する能力を身に付けている。

#### ○問題発見・解決力

自ら問題を発見し、情報や知識を複眼的、理論的に分析して問題を解決するとともに、新たに様々なものやことなどを創り出す能力を身に付けている。

#### ○社会貢献力

組織や社会の一員として自らの役割を認識し、責任を持って自己を管理するとともに、倫理観と使命感を持って自ら行動し、地域と国際社会に貢献する能力を身に付けている。

#### ○コミュニケーション能力

他者の考えを理解し、自らも情報発信する能力を身に付けている。また、適切な手段や言語を使い、多様な人々との意思疎通と協働を可能にする能力を身に付けている。

### (2) カリキュラム・ポリシー

富山大学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した5項目の能力について、体系的な教育課程を編成する。授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことができるものとする。その評価は各能力における学修成果の到達目標に対する達成度について、客観的な成績評価基準に基づいて行う。

### (3) アドミッション・ポリシー

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

## 2 富山大学教養教育カリキュラム・ポリシー

教養教育院は、地域社会及び国際社会において活躍できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材の育成を目指し、学修の基礎となる幅広い知性・知恵・実践的能力の形成と市民的公共性・社会的公共性・本源的公共性を身に付けるための全学共通の教養教育を次のとおり編成し、教養教育の評価基準に基づき、学修成果を評価する。

### (1) 教育課程編成方針

中等教育との連続性に配慮し、教育課程を体系的に編成するとともに、次に掲げる系に様々な授業科目を設け、多様な能力を養う全学共通の授業科目で編成する。

なお、教養教育は一部の授業科目を除き、五福キャンパスで開講し、全学生に多彩な選択肢を提供する。

### (2) 教育課程実施方針

教養教育では、学修の基礎となる幅広い知識を身に付けるため、次に掲げる系に様々な授業科目を設け、講義、演習、アクティブ・ラーニング等を取り入れた学生参加型授業、フィールドワーク、実験・実習等により、幅広い知性・知恵・実践的能力の形成を全学共通で実施する。

### (3) 学修内容

#### ①人文科学系

人文科学全般に及ぶ幅広い知識と教養を修得し、様々な立場や分野の人々と協同し対話できる力、総合的に考える力及び自己表現力を身に付ける。

#### ②社会科学系

様々な社会事象において、経済・経営・法などが相互に密接に関連している現実に鑑みて、経済学、経営学及び法学を中心とした社会科学全般の基礎的な知識、地域及び世界を適切に理解する能力を身に付ける。

#### ③自然科学系

自然現象や科学技術を理解するための基礎となる、知識と論理的思考法を学び、様々な分野の人々と協同し、対話できる力、総合的に考える力を身に付ける。

#### ④理系基盤教育系

理系専門分野の基盤となる、実践的な自然科学の基礎専門知識を身に付ける。

#### ⑤医療・健康科学系

生命、特に人体の働きに関する様々な知識を学修することにより、心も身体も健やかな社会生活を送るための基礎となる、医学的・社会的知識及び医療に関する最新の科学的素養を身に付け、個人のみならず、広く人類の健康・保健に寄与できる力を育む。

#### ⑥総合科目系

地域社会、国際社会及び学際における現代の諸課題に対し、既存の学問分野の枠組みを超えて学び、課題解決に向けて考える力、多角的なものの見方、思考態度を総合的に身に付ける。



#### ⑦外国語系

文化・習慣・言語を異にする他者と協働するため、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を身に付ける。また、英語以外の言語の基礎を学ぶことを通じて、国際的な行動力の幅を広げるとともに、世界の多様性の認識、異文化の理解を深める。

#### ⑧保健体育系

健康及びスポーツについての理論を学び、運動・スポーツの合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたってのスポーツライフを楽しむ資質や能力を育む。

また、健康の保持増進のための実践力を育成し、体力の向上を図る。

#### ⑨情報処理系

文書作成，データ処理，プレゼンテーションなど基本的な情報リテラシーに加え，情報倫理，情報セキュリティに関する知識と技術を身に付ける。

### (4) 学修方法

学生は、教養教育が提供する多様な授業科目から、主体的・能動的に授業科目を選択することで、幅広い分野の知識を身に付ける。さらに、アクティブ・ラーニング等を取り入れた学生参加型授業やICT機器を活用した授業、少人数授業等により、理解度を向上させる。

### (5) 学修成果の評価方法

- ①成績評価の基準・方法について、あらかじめシラバス等で詳細に公表する。
- ②単一の観点でなく、科目の性格に応じた複数の観点から、学修到達度を総合的に評価する。

## Ⅱ 教養教育における授業の仕組み

### 1 学年・学期・授業時間

#### (1) 学年

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。

#### (2) 学期

教養教育では、1学年を2分割する Semester 制で実施し、それぞれを前学期（4月1日～9月30日）と後学期（10月1日～翌年3月31日）とします。両学期とも8週又は15週の授業を行います。

#### (3) 授業時間

授業は1回の授業時間（1時限）当たり90分で行います。時限ごとの授業時刻は次のとおりです。

時 限	時 間
1時限	8：45～10：15
2時限	10：30～12：00
3時限	13：00～14：30
4時限	14：45～16：15
5時限	16：30～18：00
6時限（夜1時限）	18：10～19：40
7時限（夜2時限）	19：50～21：20

} 主として夜間主コース対象

### 2 教養教育における卒業要件単位

富山大学を卒業するには、「富山大学教養教育履修規則」（P52）第6条の規定により、学部・学科ごとに定められた卒業要件単位を修得しなければなりません。単に修得単位の合計数が卒業要件単位を超えていればよいというのではなく、「地域志向科目の単位は修得しているか」、「各系の選択科目の必要単位は修得しているか」など、自身が所属する学部・学科の卒業要件を十分に確認してください。

学部・学科における卒業要件単位一覧及び令和4年度教養教育開設授業科目一覧については、P10～P27「Ⅱ-5 各学部・学科における卒業要件単位一覧」及び「Ⅱ-6 令和4年度入学者教養教育開設授業科目一覧」に掲載しています。

### 3 科目の種類

科目には、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」の3種類があります。「必修科目」、「選択科目」については、学部や学科、専攻（コース）ごとに卒業に必要な単位数を定めています。その他、医学部看護学科を除く全学部の学生が「地域志向科目」を修得しなければなりません。

#### (1) 必修科目

「必修科目」とは、卒業要件として必ず単位を修得しなければならない科目です。学部・学科によって「必修科目」の指定は異なりますので、自身の「必修科目」を確認し、必ず単位を修得してください。

#### (2) 選択科目

##### (i) 選択必修科目

「選択必修科目」とは、特定の教養教育科目の組合せの中から、いずれかの科目を履修し、定

められた単位数を必ず修得しなければならない科目です。学部・学科ごとに「選択必修科目」が定められていますので、自身の「選択必修科目」を確認し、必ず単位を修得してください。

### (ii) 選択科目

「選択科目」とは、必修科目及び選択必修科目を除き、複数の教養教育科目の中から、履修を希望する科目を学生が自由に選択できる科目です。自身の卒業要件単位を確認し、修得単位数が不足しないよう注意して科目を選択してください。

### (3) 自由科目

「自由科目」とは、単位は修得できますが、卒業要件単位には算入しない科目です。「自由科目」として履修可能な教養教育科目は学部・学科ごとに定められています。

### (4) 地域志向科目

「地域志向科目」とは、地域課題解決型人材育成プログラムに関して、富山県に関する基礎的な要素を含む富山の歴史・経済・自然を扱う教養教育科目です。教養教育科目における「地域志向科目」は、下表の科目が該当します。医学部看護学科を除く全学部において、1科目2単位（ただし、都市デザイン学部は2科目4単位）以上を修得する必要があります。

#### 教養教育科目における地域志向科目一覧

系	教養教育科目名
人文学系	日本の歴史と社会, 言語と文化
社会科学系	現代社会論, 地域の経済と社会・文化
医療・健康科学系	医療と地域社会
総合科目系	環境, 現代文化, 人権と福祉, 環日本海, アカデミック・デザイン, ビジネス思考, 教養としての都市デザイン学, 薬都とやま学, 万葉学, 日本海学, 富山大学学, とやま地域学, 災害救援ボランティア論, 富山学, 地域ライフプラン, 産業観光学, 富山のものづくり概論, 富山の地域づくり

## 4 単位・成績

大学での学修では「単位」という尺度を使い授業科目が設定されています。成績が合格と判定されると設定された単位が与えられます。

### (1) 単位

1単位は、大学で授業を行う時間及び学生が事前学修及び事後学修を行う時間の合計45時間をもって構成されます。授業の種類・方法ごとの学修時間等は以下のとおりです。2単位の講義科目の場合、授業時間30時間、授業時間外の学修時間60時間、計90時間をもって2単位修得することとなります。

#### 授業の種類・方法

授業の種類・方法	大学での授業時間	授業時間外の学修時間
講義, 演習	15～30時間	30～15時間
実験, 実習, 実技	30～45時間	15～0時間

## (2) 成績の評価

成績の評価は、原則として、1学期8週又は15週の授業を履修した後、授業担当教員が授業における学修態度、レポートや試験等に基づき総合的に判定を行います。成績は「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格、「不可」を不合格とし、合格した科目には単位が与えられます。

なお、教養教育科目では、富山大学 GPA 制度に関する規則を受け、成績評価分布目標を次のとおり定めています。

区分	成績評価分布の目標	令和4年4月1日 施行
教養教育科目	<p>「秀」は履修者の10%以内を目安とする。</p> <p>ただし、履修者が20人以下の授業科目については、「秀」の目安とする割合を可能な限り準用する。</p> <p>また同一教員のクラスや同一科目名複数コマ開講クラス、習熟度別編成で行っている同一科目の授業は、複数クラス全体で目安とする割合を準用することがある。</p>	

## (3) GPA (グレード・ポイント・アベレージ)

富山大学では、GPA制度（GPA：履修科目の成績の平均値）を導入しています。

成績評価を下表のGP（グレード・ポイント）の数値に換算し、学期GPA、学年GPA及び累積GPAを算出します。このうち、学年GPAと累積GPAを各学年の成績通知書に記載します。各GPAの算出方法は以下のとおりです。

$$(i) \text{ 学期GPA} = \frac{(\text{当該学期の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{当該学期の履修科目総単位数}}$$

$$(ii) \text{ 学年GPA} = \frac{(\text{当該学年の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{当該学年の履修科目総単位数}}$$

$$(iii) \text{ 累積GPA} = \frac{(\text{在学期間中の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{在学期間中の履修科目総単位数}}$$

※履修登録科目の確認を怠り、履修しない授業科目が履修登録されている場合や、履修取消の手続きを行わず受講しなかった場合の成績は「不可」となり、GPAに算入されるので注意すること。

なお、「不可」となった場合、同一科目を再履修し単位を修得することで累積GPAの対象外とすることができます。（ただし、学期GPA及び学年GPAには算入されたままです。）

成績の評語に対する評価基準及びGPの対応表

成績の評語	GP	評価基準
秀 (S)	4	到達基準を達成し、極めて優秀な成績を修めている
優 (A)	3	到達基準を達成し、優秀な成績を修めている
良 (B)	2	到達基準を達成し、良好な成績を修めている
可 (C)	1	到達基準を達成している
不可 (D)	0	到達基準を達成していない

「認」、「合格」及び「不合格」をもって評価される授業科目は、GPA算出の対象外とします。

## 5 各学部・学科における卒業要件単位一覧

### (i) 人文学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	2単位以上	地域志向科目1科目 2単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	2単位以上	
自然科学系	—	4単位以上	
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4単位以上	
外国語系	4単位	4単位	英語以外の外国語は同一言語のみで4単位選択必修
保健体育系	2単位	—	
情報処理系	2単位		
計	8単位	16単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として16単位を超えて修得した単位は、16単位まで卒業要件単位として算入する。  
ただし、各系の上限は次のとおりとする。
  - ① 人文科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
  - ② 社会科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
  - ③ 自然科学系及び医療・健康科学系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
  - ④ 総合科目系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
  - ⑤ 外国語系で4単位を超えて修得した単位は4単位まで。
  - ⑥ 情報処理系で修得した単位は2単位まで。
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

(ii) 教育学部

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	2 単位	} いずれ かから さらに 4 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	2 単位		
自然科学系	—	2 単位		
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	2 単位		
外国語系	4 単位	2 単位		
保健体育系	2 単位	—		
情報処理系	2 単位			
計	8 単位	14 単位		

(iii) 経済学部 (昼間主コース)

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位	} どれかから さらに 2 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—			
自然科学系	—	} 4 単位		
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	2 単位		
外国語系	4 単位	4 単位		4 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—		
情報処理系	2 単位			
計	8 単位	16 単位		
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 16 単位を超えて修得した単位は、社会科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>				

(iv) 経済学部 (夜間主コース)

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	14 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	1 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	7 単位	14 単位	
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 14 単位を超えて修得した単位は、情報処理系で修得した選択科目を含め、8 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>			





(vi) 医学部医学科

	必修科目	選択科目			
人文科学系	—	} 6 単位	} 理系基盤教育系, 医療・健康科学系及び保健体育系から2単位以上を含め4単位	地域志向科目1科目2単位を必ず含むこと。	
社会科学系	—				
総合科目系	—				
医療・健康科学系	1 単位				
理系基盤教育系	12 単位	次の組み合わせから各2単位, 計4単位 ①「物理学Ⅰ-A」と「物理学Ⅰ-B」 ②「物理学Ⅱ-A」と「物理学Ⅱ-B」			
外国語系	4 単位	2 単位			2 単位選択必修
保健体育系	1 単位				
情報処理系	2 単位	—			
計	20 単位	16 単位			

(vii) 医学部看護学科

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	} 6 単位	} いずれかから さらに5単位 <sup>※2</sup>	
社会科学系	—			
自然科学系	—	} 4 単位		
理系基盤教育系	4 単位 <sup>※1</sup>			
医療・健康科学系	2 単位 <sup>※1</sup>	2 単位		
総合科目系	—			
外国語系	4 単位			
保健体育系	—	1 単位		
情報処理系	2 単位			
計	12 単位 <sup>※3</sup>	18 単位 <sup>※4</sup>		

※3 年次編入学生については、次のとおりとする。

※1：「—」、※2：「11 単位」、※3：「6 単位」、※4：「24 単位」

## (vii) 薬学部

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	} 6 単位	} いずれかからさらに4 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を 必ず含むこと。
社会科学系	—			
理系基盤教育系	10 単位	次の組み合わせから 各 2 単位, 計 4 単位 ① 「物理学Ⅰ-A」と 「物理学Ⅰ-B」 ② 「物理学Ⅱ-A」と 「物理学Ⅱ-B」		
医療・健康科学系	2 単位			
総合科目系	—			
外国語系	4 単位	2 単位		
保健体育系	1 単位			
情報処理系	2 単位	—		
計	19 単位	16 単位		

## (ix) 工学部

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位	} いずれかから さらに 2 単位*	地域志向科目 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位		
自然科学系	—			
理系基盤教育系	—			
医療・健康科学系	—	2 単位		
総合科目系	—	4 単位		
外国語系	4 単位			
保健体育系	—	1 単位		
情報処理系	2 単位			
計	6 単位	17 単位		
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、人文科学系、社会科学系及び医療・健康科学系で合計 12 単位を超えて修得した単位、自然科学系並びに理系基盤教育科目で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。 ただし、各系の上限は次のとおりとする。</p> <p>① 総合科目系で 4 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。 ② 外国語系で 4 単位を超えて修得した単位は 4 単位まで。 ③ 保健体育系で 1 単位を超えて修得した単位は 1 単位まで。 ④ 情報処理系で 2 単位を超えて修得した単位は 2 単位まで。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>				

※人文科学系及び社会科学系の卒業要件単位の修得方法は、次のいずれかとなる  
「人文科学系 4 単位及び社会科学系 6 単位」「人文科学系 6 単位及び社会科学系 4 単位」

(x) 芸術文化学部

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位	} どれかからさらに3単位以上	地域志向科目1科目2単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位		
自然科学系	—	} 4 単位		
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	4 単位		
外国語系	4 単位			外国人留学生は外国語系科目全てを選択科目とし、当該留学生にとっての外国語科目の中から4単位以上
理系基盤教育系	—			
保健体育系	1 単位			
情報処理系	2 単位	—		
計	7 単位	19 単位以上		
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として19単位を超えて修得した単位は、12単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>				

(xi) 都市デザイン学部

	必修科目	選択科目		
人文科学系	—	4 単位	} いずれかから さらに 4 単位	地域志向科目 2 科目 4 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位		
自然科学系	—			
理系基盤教育系	—			
医療・健康科学系	—			
総合科目系	—	4 単位		
外国語系	4 単位			
保健体育系	—		1 単位	
情報処理系	2 単位			
計	6 単位		17 単位	
<p>卒業要件単位として算入する単位の上限</p> <p>1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、10 単位まで卒業要件単位として算入する。</p> <p>2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。</p>				

## 6 令和4年度入学者教養教育開設授業科目一覧

### (i) 人文科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考		
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部			
哲学のすすめ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人間と倫理	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
こころの科学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
現代と教育	2		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本の歴史と社会	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東洋の歴史と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
西洋の歴史と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本文学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外国文学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
言語と文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
音楽	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
美術	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
美術表現 A	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
美術表現 B	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
言語表現	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
治療の文化史	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
異文化間コミュニケーション	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
異文化理解 <sup>*1</sup>	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，●：専門科目，△：自由科目，-：履修不可

※1. 「異文化理解」は外国人留学生のみ履修可能



## (ii) 社会科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考	
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
現代社会論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本国憲法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国家と市民	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
経済生活と法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市民生活と法	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
はじめての経済学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
産業と経済を学ぶ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
経営資源のとらえ方	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市場と企業の関係	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域の経済と社会・文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，－：履修不可

## (iii) 自然科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
自然科学への扉－A	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	
自然科学への扉－B	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	
自然科学への扉－C	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	
科学技術への扉－A	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	
科学技術への扉－B	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	
生命の世界	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	
社会と情報の数理	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	
デザインと生物	2		○	○	○	○	□	△	○	△	□	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，□：自由選択科目，△：自由科目，－：履修不可

## (iv) 理系基盤教育系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
解析学 - A	2		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
解析学 - B	2		-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
微分積分 I - E	2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	●	
線形代数学	2		-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	
線形代数 I - E	2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	●	
物理学序説 I	2		-	-	-	-	●	-	-	-	○	-	-	
物理学序説 II	2		-	-	-	-	●	-	-	-	○	-	-	
物理学 I - A	2		-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	選択 必修
物理学 I - B	2		-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	
物理学 II - A	2		-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	選択 必修
物理学 II - B	2		-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	
化学・物理学実験 - A	1		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
化学・物理学実験 - B	1		-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
現代物理学入門	2		-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	
基礎化学 - A	2		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
基礎化学 - B	2		-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
生体有機化学	2		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
生命科学 I - A	2		-	-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	
生命科学 I - B	2		-	-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-	
生命科学 I - C	2		-	-	-	-	-	-	◎	-	○	-	-	
生命科学 II - A	2		-	-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	
生命科学 II - B	2		-	-	-	-	-	-	-	◎	○	-	-	
生命科学 II - C	2		-	-	-	-	-	-	◎	-	○	-	-	
生物学実験 - A	1		-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
生物学実験 - B	1		-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
生物無機化学入門	2		-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	
生物圏環境科学概論	2		-	-	-	-	●	-	-	-	○	-	-	

◎：必修科目，○：選択科目，●：専門科目，△：自由科目，-：履修不可

(v) 医療・健康科学系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
医療心理学	2		○	○	○	○	○	△	○	◎	○	○	○	
概説医療心理学	1		-	○	-	-	○	◎	○	○	○	○	○	
認知科学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
脳科学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
生命科学入門	2		-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
免疫学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
身近な医学	2		○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	
障害とアクセシビリティ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
医療と地域社会	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

## (vi) 総合科目系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考	
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
環境	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ジェンダー	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
技術と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
現代文化	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権と福祉	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
環日本海	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
科学と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アカデミック・デザイン	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ビジネス思考	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
データサイエンスの世界	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
データサイエンスの実践	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教養としての都市デザイン学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
SDGs 入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
薬都とやま学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平和学入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東アジア共同体論 －政治・経済・文化－	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山から考える震災・復興学	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
環境と安全管理	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
万葉学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本海学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山大学学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
とやま地域学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
時事的問題	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
災害救援ボランティア論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
感性をはぐくむ	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本事情／芸術文化 <sup>※1</sup>	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本事情／自然社会 <sup>※1</sup>	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
学士力・人間力基礎	2		○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域ライフプラン	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
産業観光学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山のものづくり概論	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
富山の地域づくり	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

※1. 「日本事情／芸術文化」及び「日本事情／自然社会」は外国人留学生のみ履修可能とする。

## (vii) 外国語系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学 科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部	
ESP I (Level-based)	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ESP II (Interest-based)	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基盤英語 I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基盤英語 II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語基礎 I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語基礎 II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語コミュニケーション I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語コミュニケーション II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語基礎 I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語基礎 II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語コミュニケーション I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語コミュニケーション II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語基礎 I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語基礎 II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語コミュニケーション I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語コミュニケーション II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝鮮語基礎 I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝鮮語基礎 II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝鮮語コミュニケーション I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
朝鮮語コミュニケーション II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語基礎 I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語基礎 II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語コミュニケーション I	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロシア語コミュニケーション II	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本語リテラシー I <sup>*1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>*2</sup>	○	○	
日本語リテラシー II <sup>*1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>*2</sup>	○	○	
日本語コミュニケーション I <sup>*1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>*2</sup>	○	○	
日本語コミュニケーション II <sup>*1</sup>	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎ <sup>*2</sup>	○	○	
発展多言語演習ドイツ語 <sup>*3</sup>	1		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発展多言語演習中国語 <sup>*3</sup>	1		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本語コミュニケーション III <sup>*1</sup>	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
日本語／専門研究 <sup>*1</sup>	1		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

※1. 日本語科目は外国人留学生のみ履修可能とする。

※2. 工学部に所属する外国人留学生は英語4単位必修に代わり，日本語4単位必修とする。

※3. 発展多言語演習ドイツ語及び発展多言語演習中国語は，外国語系の選択科目には含めない。

## (viii) 保健体育系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考	
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
健康・スポーツ／講義	1		◎	◎	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
健康・スポーツ／実技	1		◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○		

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

## (ix) 情報処理系

教養教育科目名	単 位 数	地 域 志 向 科 目	学部学科名											備 考	
			人 文 学 部	教 育 学 部	経 済 学 部	経 済 学 部 (夜)	理 学 部	医 学 部 医 学科	医 学 部 看 護 学 科	薬 学 部	工 学 部	芸 術 文 化 学 部	都 市 デ ザ イ ン 学 部		
情報処理	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
応用情報処理	2		○	○	○	○	○	△	○	△	○	-	○		

◎：必修科目，○：選択科目，△：自由科目，-：履修不可

## 7 シラバス

授業科目ごとに、担当教員名や授業計画、成績評価方法、使用する教科書、履修上の注意などを詳しく紹介したものをシラバスと言います。シラバスは富山大学ウェブサイト「富山大学ウェブシラバス」又はヘルン・システムから参照することができます。

自分が履修しようとする教養教育科目のシラバスをよく読み、履修計画を立ててください。

### ◆ 富山大学ウェブシラバス

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>



## 8 ヘルン・システム（富山大学 学務情報システム）

ヘルン・システムとは、富山大学の学生、教職員が利用できるウェブシステムです。

ヘルン・システムでは、履修登録や成績照会を行うだけでなく、休講・補講情報、シラバス、就職関連情報など教養教育に限らず、様々な情報を管理・発信しています。

「ヘルン・システム利用の手引き」に各種作業マニュアルを掲載していますので、内容をよく読んで利用してください。

### ◆ ヘルン・システム

<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/course/hearn-system/>



## 9 その他

### (1) 教員免許取得に必要な教養教育科目

教員免許取得を希望する学生は、所属する学部を問わず、以下の教養教育科目の単位を修得する必要があります。

#### 教員免許取得に必要な教養教育科目一覧

系	教養教育科目名
社会科学系	日本国憲法
外国語系	ESP I, II ドイツ語コミュニケーション I, II フランス語コミュニケーション I, II 中国語コミュニケーション I, II 朝鮮語コミュニケーション I, II ロシア語コミュニケーション I, II 日本語コミュニケーション I, II (外国人留学生限定)
保健体育系	健康・スポーツ / 実技 健康・スポーツ / 講義
情報処理系	情報処理

## Ⅲ 履修登録

所属する学部の卒業要件を把握した上で履修計画を作成し、履修計画に基づき履修登録を行います。

### 1 履修計画

大学では、学生自身が履修する授業科目を選択し、履修計画を立てることになります。

必修科目等一部の科目を除き、自由に授業科目が選べる一方、自己責任・自己管理が一層重要となります。

#### ○ 履修計画を立てるためのポイント

- ① 自身が所属する学部のディプロマ・ポリシーを必ず確認してください。
- ② 教養教育の卒業要件単位 (P10～20 II-5「各学部・学科における卒業要件単位一覧」を参照)は、1年次で修得することが原則です。2年次以降は専門科目の授業が中心となります。その際、教養教育科目の修得単位が不足していると履修科目数が増え、自身にとって大きな負担となります。
- ③ 必修科目は必ず履修してください。
- ④ 自身が所属する学部・学科の卒業要件単位を把握し、履修する選択科目を決めてください。
- ⑤ 教員免許取得を希望する場合は、P28「II-9(1)教員免許取得に必要な教養教育科目」を必ず履修してください。
- ⑥ 学部・学科によっては、教養教育科目の修得単位数を進級要件としています。  
自身が所属する学部・学科の進級要件を確認し、教養教育科目の修得単位数が不足しないように注意してください。

### 2 年次・学期ごとの履修上限単位数 (CAP制)

履修できる科目の合計単位数には、年次・学期ごとに上限を設けています。これは、履修できる授業科目数を制限することで適切な学修時間を確保し、学修内容を深く身に付けることを目的としています。

### 3 履修登録の日程

#### 令和4年度日程

前 学 期		後 学 期	
3月28日(月)～	教養教育オンラインオリエンテーション	8月下旬	「後学期履修の手引き」の公開
4月5日(火)～6日(水)	教養教育科目履修登録	後日通知	教養教育科目履修登録
4月8日(金)	履修登録結果発表		履修登録結果発表
4月9日(土)～10日(日)	教養教育科目追加登録期間		教養教育科目追加登録期間
4月11日(月)～4月29日(金)	履修科目確認・修正期間		履修科目確認・修正期間
9月1日(木)	前学期成績開示		後学期成績開示

#### ○ 前学期履修登録に当たっての留意事項

- ① 4月5日(火)～6日(水)に端末室に集合し、履修登録を行います。
- ② 履修登録期間内(4月5日(火)～6日(水))は、登録内容の変更が可能です。
- ③ 履修希望者が集中した授業科目は、抽選となる場合があります。
- ④ 履修登録結果は、4月8日(金)に、ヘルン・システム>時間割の画面でお知らせします。
- ⑤ 受入定員に余裕のある授業科目について、追加登録を行います。追加登録の対象となる科目は、4月8日(金)に掲示又はヘルン・システムでお知らせします。
- ⑥ 経済学部(夜間主)の学生で、昼間主の授業を履修したい場合は、追加登録期間にヘルン・システムで履修登録を行ってください。

#### ○ 後学期履修登録に当たっての留意事項

- ① 後学期の履修登録は、履修登録期間内に各自ヘルン・システムで行います。
- ② 前学期の成績を確認し、修得単位を把握した上で、履修登録を行ってください。
- ③ 履修登録期間等の日程詳細は、後日、掲示等でお知らせします。



## 4 教養教育科目の履修登録（経済学部夜間主コースを除く9学部共通）

授業科目を履修するためには、学生自身が学務情報システム（以下、ヘルン・システムという。）を利用して、学期ごとに定められた教養教育履修登録期間内に履修登録を行う必要があります。指定された期間外に履修登録はできませんので、登録忘れや登録間違いがないよう注意してください。

### (1) 必修科目・クラス指定科目の履修登録

教養教育科目のクラス指定科目（英語科目、健康・スポーツ科目、情報処理、初修外国語科目）、必修科目、選択必修科目については、あらかじめ履修登録されています。新入生オリエンテーション時に配付する「履修登録確認表」やヘルン・システムの履修登録画面で確認してください。

#### ① 英語科目の履修登録

ESP I、基盤英語I・IIはあらかじめ履修登録してあります。ESP IIは7月中旬頃に履修科目の希望調査を行い、クラスを決定します。詳細は別途、お知らせします。

また、英語科目の履修に当たって、自身の英語力が英語科目の習熟度レベルを超えている外国人留学生等で英語圏出身者や日本の高校レベルの英語教育を受けていないなどの場合は、教養教育事前履修登録期間中のなるべく早い時期に教養教育支援室に相談してください。

#### ② 「健康・スポーツ」科目の履修登録

前学期開講の「健康・スポーツ/実技」については、クラス指定科目のため、必修科目ではない学部・学科においてもあらかじめ履修登録してあります。必修科目ではない学部・学科の学生で「健康・スポーツ/実技」の履修を希望しない学生は、授業開始までに必ず教養教育支援室にその旨を申し出てください。

後学期開講の「健康・スポーツ/講義」については、必修科目とする学部においてクラス指定科目としてあらかじめ履修登録してあります。必修とする学部以外の学生で、教員免許取得のため、「健康・スポーツ/講義」の修得を必要とする学生は、選択科目履修登録において履修登録してください。

なお、医学部看護学科、工学部及び都市デザイン学部の学生は「健康・スポーツ/実技」は選択科目のため、「健康・スポーツ/実技」及び「健康・スポーツ/講義」から1単位以上修得してください。

#### ○ 「健康・スポーツ/実技」の種目の選択について

指定された曜限に開講される種目から、履修する種目を1種目選択します。種目選択を行うため、第1週目は五福キャンパス第1体育館に集合してください。第1週の授業に出席しなかった場合、希望する種目を選択できないことがあります。

履修する種目が決定した後の履修登録は、教養教育支援室の事務担当が行います。ヘルン・システムで改めて履修登録内容を確認してください。

#### ○ 「特別体育」の履修登録について

様々な理由により、集団での運動・スポーツ活動が困難な学生を対象として、通常の学生が履修する「健康・スポーツ/実技」とは別に、「特別体育」を開講します。「特別体育」は、原則として個別指導としており、授業内容、開講時間等を授業担当教員と相談の上、履修の可否を決定します。「特別体育」の履修を希望する学生は、第1週の授業時間中に授業担当教員に申し出るか、教養教育支援室に申し出てください。

#### ③ 選択必修科目履修登録（医学部医学科及び薬学部のみ対象）

医学部医学科及び薬学部の学生は、「物理学I」及び「物理学II」の2科目について、AまたはB

のいずれかを1科目ずつ選択し、単位を修得する必要があります。前学期については「物理学Ⅰ－A」があらかじめ履修登録してあるので、Bへの変更を希望する場合は、変更手続きを行ってください。科目の変更方法の詳細は授業中に指示します。

#### ④ 英語以外の外国語（初修外国語）履修登録

初修外国語の履修方法は、所属している学部・学科の卒業要件単位により異なります。自身の卒業要件を確認し、適切に履修してください。

なお、入学手続きの際に申告した言語をやむを得ず変更したい場合は、4月4日（月）までに教養教育支援室に願い出てください。

#### ○ 選択科目卒業要件単位数が4単位の場合（人文学部，経済学部）

前学期に「基礎Ⅰ」，「コミュニケーションⅠ」，後学期に「基礎Ⅱ」，「コミュニケーションⅡ」を履修します。

入学手続きの際に申告した言語を，学部の卒業要件単位に合わせてあらかじめ履修登録してあります。特定の言語に希望者が集中した場合でも，優先して履修できます。

#### ○ 選択科目卒業要件単位数が2単位の場合（教育学部，医学科，薬学部）

各言語の履修モデルに従って，2単位履修します。

入学手続きの際に申告した言語で，2単位分をあらかじめ履修登録してあります。特定の言語に希望者が集中した場合には，抽選を行った後，新入生オリエンテーションで結果をお知らせします。

指定の2単位を超えて履修した場合は，教育学部を除き，選択科目として卒業要件単位に含めることができます（P10～20を参照）。2単位を超えて履修したい場合は，履修登録期間中に教養教育支援室に申し出てください。教育学部においては，自由単位（卒業要件外）として履修することが可能です。

#### ○ 卒業要件での指定がない場合（理学部，看護学科，工学部，芸術文化学部，都市デザイン学部）

卒業要件の指定がない場合にも，選択科目として卒業要件単位に含めることができます（P10～20を参照）。履修を希望する場合は，4月4日（月）までに教養教育支援室に申し出てください。

#### ○ 初修外国語事前登録における留意事項

- ・ドイツ語，フランス語，中国語，朝鮮語，ロシア語，日本語（外国人留学生のみ履修可能）の中から選択し，選択科目として単位を修得してください。「初修外国語，何を学ぶ？」や「シラバス」をよく読み，授業内容等を十分理解した上で，履修する言語を選択してください。
- ・前学期の開講科目を履修せず，後学期の「基礎Ⅱ」，「コミュニケーションⅡ」から履修するような履修計画は避けてください。前学期・後学期で段階的に学んでいくことが基本です。
- ・既修得単位の認定や高校などで学修経験のある学生で，Ⅱからの受講を希望する場合は，授業担当教員に早めに相談してください。
- ・高校などで学修経験のある言語については，選択できない場合があります。選択する場合には，各言語の担当教員に確認してください。

#### (ii) 発展多言語演習の履修について

ドイツ語と中国語では，更なる応用力の育成を目指す「発展多言語演習」を開設しています。これらの科目は，履修のために条件を設定しています。

### 発展多言語演習科目一覧

科目名	履修条件
発展多言語演習ドイツ語	ドイツ語基礎 I, II 及び ドイツ語コミュニケーション I, II から計 3 単位以上修得していること
発展多言語演習中国語	中国語の初級程度の学修経験があること (例えば, 中国語基礎 I など)

なお、発展多言語演習は、通常の授業期間中には開講されない（夏季、冬季休業期間）場合があります。履修を希望する学生は、開講時期を必ず確認してください。

#### (2) 選択科目の履修登録

各学部・学科における卒業要件単位に基づいて、定められた系の科目を卒業要件単位まで修得しなければなりません。

#### ○ 選択科目履修登録における留意事項

- ① 自身が所属する学部・学科の卒業要件単位を把握した上で、履修する選択科目を決めてください。
- ② 授業科目名だけで判断せず、シラバスをよく読み、授業内容等を十分理解した上で、履修する選択科目を決めてください。
- ③ 同じ名称の教養教育科目は、授業内容、担当教員名が違っていても重複登録することはできません。ただし、単位が欠落した場合は、同じ名称の科目を再度履修することができます。
- ④ 履修登録では、各学部・学科の「履修を指定する系」、「選択できる科目数」(P33, 34 参照)を超えて、履修登録することはできません。
- ⑤ 追加登録では、「履修を指定する系」、「選択できる科目数」にかかわらず、履修登録することが可能です。ただし、学部の CAP の上限までとなります。
- ⑥ 地域志向科目を各学部で定められた単位数まで修得してください。
- ⑦ 選択科目では、授業科目ごとに定員を定めています。教養教育履修登録期間終了後、定員を上回る履修希望者がいる教養教育科目は、抽選を行い、履修者を決定します。抽選の結果、履修が認められなかった場合は、教養教育履修科目確定・通知日に、履修登録状況照会画面において、科目が削除されています。
- ⑧ 選択科目の抽選の結果、受け入れ人数に余裕のある授業科目については、追加登録期間に先着順で追加募集を行います。詳細は、「学務課共通教育棟 A 棟 1 階掲示板」およびヘルプ・システムで通知します。追加登録期間外では履修登録はできませんので、掲示の確認を怠らないようにしてください。
- ⑨ 自由科目は、卒業要件単位となりません。

令和4年度前学期 履修登録における各学部・学科の「履修を指定する系」、「選択できる科目数」

学部・学科	履修を指定する系	選択できる科目数
人文学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系又は医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	1科目
教育学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系	1科目
	総合科目系	1科目
経済学部	人文科学系	1科目
	自然科学系又は医療・健康科学系	2科目
	総合科目系	1科目
理学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	2科目
	総合科目系又は医療・健康科学系	2科目
医学部医学科	人文科学系	2科目
	社会科学系	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	1科目
医学部看護学科	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	自然科学系	1科目
	医療・健康科学系	1科目
薬学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	医療・健康科学系	1科目
工学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，総合，医療・健康）	2科目
芸術文化学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系	1科目
	総合科目系	2科目
都市デザイン学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	2科目
	総合科目系	2科目

令和4年度後学期 履修登録における各学部・学科の「履修を指定する系」、「選択できる科目数」

学部・学科	履修を指定する系	選択できる科目数
人文学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系又は医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	2科目
教育学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	自然科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，総合）	1科目
経済学部	人文科学系	2科目
	自然科学系又は医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，医療・健康，総合）	1科目
理学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	2科目
	医療・健康科学系又は総合科目系	3科目
医学部医学科	人文科学系又は社会科学系	2科目
	理系基盤	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，理系，医療・健康，総合，保健体育）	1科目
医学部看護学科	人文科学系又は社会科学系	2科目
	自然科学系	1科目
	理系基盤	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	その他（人文，社会，自然，理系，医療・健康，総合，保健体育，情報処理）	3科目
薬学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	理系基盤	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	その他（人文，社会，理系，医療・健康，総合，保健体育）	3科目
工学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	1科目
	医療・健康科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，総合，医療・健康）	2科目
芸術文化学部	人文科学系	1科目
	社会科学系	2科目
	自然科学系又は医療・健康科学系	2科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，理系，医療・健康，総合，保健体育）	2科目
都市デザイン学部	人文科学系	2科目
	社会科学系	1科目
	総合科目系	1科目
	その他（人文，社会，自然，医療・健康，総合）	2科目

### (3) 集中講義の履修登録

集中講義は主として休業期間中（夏季，冬季休業期間，土日）に開講します。集中講義の履修登録方法及び開講時期については，授業実施期間中に「共通教育棟A棟1階掲示板」及びヘルン・システムで通知します。

### (4) 外国人留学生の履修登録

#### ① 外国人留学生を対象とした教養教育科目について

教養教育科目では，外国人留学生のための教養教育科目として，以下の科目を開設しています。外国人留学生以外の学生は履修することはできません。

#### 外国人留学生を対象とした教養教育科目一覧

系	教養教育科目名
人文科学系	異文化理解
総合科目系	日本事情 / 芸術文化，日本事情 / 自然社会
外国語系	日本語リテラシー I，II，日本語コミュニケーション I，II，III，日本語 / 専門研究

#### ② 外国語の履修登録

外国人留学生の外国語履修登録は，英語の他，初修外国語としてドイツ語，中国語，フランス語，ロシア語，朝鮮語，日本語から言語を選択します。ただし，母語を選択することはできません（大学が母語を指定することがあります）。例えば，中国語圏出身者は，中国語を除く5言語から初修外国語を選択することになります。また，日本語を母語とする学生は，たとえ外国人留学生であっても日本語を選択することはできません。

なお，工学部に所属する外国人留学生は，日本語リテラシー I，II 及び日本語コミュニケーション I，II を必修科目として指定しています。

## 5 履修登録の手順（経済学部夜間主コースを除く9学部共通）

### (1) 履修計画の作成

富山大学では，教養教育科目の卒業要件単位を1年次で修得することを強く推奨しています。1年間で卒業要件単位を充足するよう履修計画を立てましょう。

#### (i) クラス指定科目の確認

自分の受講するクラス指定科目（ESP I，基盤英語 I，健康・スポーツ / 実技，情報処理，初修外国語），必修科目，選択必修科目の曜日・時限を確認します。

#### (ii) 選択科目の検討

(i) で確認したクラス指定科目，必修科目，選択必修科目を受講する曜日・時限以外の空いている曜限で，選択科目を履修できます。巻末の「教養教育授業時間割表」から履修したい科目を選び，「教養教育科目履修計画表」に記入します。

### (2) 履修登録

#### (i) 履修登録

ヘルン・システム > 履修・出欠・レポート > 履修登録 > 履修登録・登録状況照会から，履修を希望する授業科目を登録します。

① (1) で作成した履修計画に基づき，選択科目を登録します。

- ② ここで登録できるのは、各学部・学科における履修を指定する系、選択できる科目数（P33, 34）の範囲内です。
- ③ 「履修を指定する系、選択できる科目数」を超える科目や指定外の系の科目については、(ii) 追加登録で履修登録を行います。
- ④ 教室定員の関係から、希望者が多い科目で抽選を行います。必ず抽選結果をヘルン・システムで確認してください。落選した場合は、(ii) 追加登録で別の科目を登録することができます。

**(ii) 追加登録**

ヘルン・システム>履修・出欠・レポート>履修登録>履修登録・登録状況照会から、履修を希望する授業科目を登録します。

- ① 追加登録では「履修を指定する系、選択できる科目数」を超えて登録を行うことが可能です。
- ② 履修の受付は先着順です。抽選は発生しません。

**○ ヘルン・システム利用に当たっての留意事項**

- ① ヘルン・システムを利用する際は「情報基盤センター承認書」記載のID, パスワードが必要です。
- ② ヘルン・システムは、通常、学内限定で利用可能です。学外からヘルン・システムを利用したい場合は、別途VPN接続が必要となります。VPN接続の方法は、富山大学情報基盤センターのホームページにマニュアルが掲載されていますので、必要に応じて各自で設定を行ってください。なお、設定マニュアルは学内ネットワークからしか参照できません。また、VPN接続は、同時接続可能数に上限があり、混雑時は接続が不安定な場合がありますので注意してください。

**(3) 履修登録の確認・修正**

**(i) 履修登録科目の確認**

履修登録の状況は、ヘルン・システム内の「履修登録・登録状況照会」もしくは「時間割」画面から確認できます。

抽選結果の確認を怠らないよう気を付けてください。

**(ii) 履修科目の修正**

履修登録・追加登録の期間終了後は、履修取消のみ行えることとし、原則として別の教養教育科目への修正登録は認めません。ただし、特別な事情がある場合にのみ、履修科目の修正登録を認めることがあります。履修登録科目の修正を希望する学生は、必ず教養教育履修科目履修修正・取消期間中に教養教育支援室まで申し出てください。

**(4) ヘルン・システムの操作方法**

具体的な操作方法是巻末「ヘルン・システム利用の手引き」を参照してください。

**○ 選択科目履修登録におけるエラー**

選択科目履修登録時に、登録内容にエラーがある場合はエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージのとおり対応しても登録ができない場合は、教養教育支援室まで連絡してください。

**履修登録エラーメッセージ例と対応方法**

履修登録エラーメッセージの例	対応方法
学期に履修可能な単位数を超えています。	学部で定めたCAP上限に抵触しています。自分が所属する学部・学科の履修の手引きを確認してください。
修得済の単位 / 授業科目数が排他単位 / 授業科目数の制限を超えています。	履修できない科目の登録もしくは履修登録可能な科目数を超える登録です。履修可能な科目、科目数の中で履修登録してください。
カリキュラム制限科目です。	履修できない科目です。履修可能な科目を登録してください。

## 6 教養教育科目の履修登録について（経済学部夜間主コース）

授業科目を履修するためには、学生自身がヘルン・システムを利用して、学期ごとに定められた履修登録期間内に履修登録を行う必要があります。履修登録期間外に履修登録はできません。

履修登録期間内であれば、何度でも登録変更は可能ですが、履修登録を怠ったり、間違った科目を履修登録すると、講義を受けても単位修得は認められませんので、登録忘れや登録間違いがないよう注意してください。ヘルン・システムを利用した履修登録方法は、「ヘルン・システム利用の手引き」に掲載していますので、参照してください。

### （1）必修科目の履修登録

教養教育科目のうち、「ESP I, II」,「基盤英語 I, II」「健康・スポーツ/実技」及び「情報処理」は必修科目となりますので、必ず履修登録を行ってください。

### （2）昼間主コース教養教育授業科目の履修について

夜間主コースの学生は、昼間主コースの教養教育授業科目を履修することができ、修得した単位は卒業要件単位として認められます。昼間主コースの教養教育授業科目の履修を希望する学生は、追加登録期間にヘルン・システムで履修登録を行ってください。

また、昼間主コースで開講している初修外国語（ドイツ語、中国語、フランス語、ロシア語及び朝鮮語）の履修を希望する場合は、追加登録期間に教養教育支援室に申し出てください。

### ○ 選択科目登録における留意事項

- ① 同じ名称の教養教育科目は、担当教員名が違っていても重複登録することはできません。
- ② 昼間主コースの教養教育科目は、昼間主コースの学生の履修を優先します。夜間主コースの学生が履修を希望する場合、履修者数に余裕がある科目のみ履修を認めます。

### ○ 選択科目履修登録におけるエラー

選択科目履修登録時に、登録内容にエラーがある場合はエラーメッセージが表示されます。詳細はP36「履修登録エラーメッセージ例と対応方法」を参照してください。

### （3）集中講義の履修登録

集中講義は主として休業期間中（夏季、冬季休業期間、土日）に開講します。集中講義の履修登録方法及び開講時期については、授業実施期間中に経済学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムで通知します。ただし、昼間主コースの集中講義については、他の昼間主コース教養教育科目と同様、昼間主コースの学生の履修を優先します。



## Ⅳ 履修上の注意

### 1 教室

教養教育科目の授業は、主に五福キャンパス共通教育棟（以下、「共通教育棟」という）で行いますが、一部の教養教育科目や情報処理、健康・スポーツ/実技等は、各学部や総合情報基盤センター、体育館等で行います。また、経済学部（夜間主）においては、主に経済学部棟で行います。

また、授業時間割表には各授業の実施教室を掲載していますが、教室を変更することがあります。教室変更については共通教育棟A棟1階（経済学部（夜間主）においては経済学部）の掲示及びヘルン・システムで確認することができますので、授業開始前に必ず確認してください。

### 2 出欠管理システム

共通教育棟の教室には出欠管理システムを導入しています。履修者は、授業開始前に教室設置型カードリーダーに学生証を読み取らせ、出席処理を行ってください。学生証の紛失等により出席処理が行うことができない場合は、授業開始前に教養教育支援室窓口で「出欠調査票」を受け取り、必要事項をすべて記入した上で、科目担当教員から備考欄にサイン又は押印をもらい、教養教育支援室に提出してください。

なお、授業担当教員によっては、出欠管理システムによらず、名簿による読上げやレポート等の提出によって出欠を確認することがあります。出欠管理システムを利用しない授業においては、出欠調査票の提出は不要です。

また、他人の学生証を利用して出席処理を行う等の行為により、あたかもその学生が出席したかのように装うことは、不正行為とみなし、懲戒処分の対象になりますので注意してください。他人に頼まれても絶対に断ってください。

### 3 欠席等の取扱い

#### (1) 公欠の取扱いについて

次に該当する事由で授業に出席することができない場合、公欠届及び必要書類を提出することにより公欠となり、単位認定要件に係る欠席扱いとしないことができます。公欠となった当該授業については、レポート作成その他の方策により適切な学修支援を行い、学生が履修上不利とならないように配慮されます。

#### ○ 公欠事由

- ① 親族が死亡した場合
- ② 学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患した場合又は感染のおそれがある場合
- ③ 裁判員制度による裁判員（補充裁判員を含む。以下同じ。）又は裁判員候補者に選任された場合
- ④ 検察審査会の審査員又は補充員に選任された場合

#### ○ 手続

公欠届と必要書類が整い次第（感染症の場合は、医療機関から治癒証明書等が発行された後）、速やかに所属学部の教務担当窓口（医学部、薬学部、芸術文化学部1年次は教養教育支援室窓口）へ提出してください。

\* 新型コロナウイルス感染症罹患による欠席や新型コロナウイルス感染症のワクチン接種のための欠席も公欠として取り扱います。該当する場合は、所属学部の教務担当窓口へあらかじめ連絡のうえ、必要な手続きを確認してください。

#### (2) 欠席の取扱いについて

公欠には該当しないが、教育実習やインターンシップ、病気、課外活動での大会出場等やむを得ない事由で授業を欠席する場合は、欠席届に関連書類を添付し、所属学部の教務担当窓口（医学部、薬学部、芸術文化学部1年次は教養教育支援室窓口）へ提出してください。なお、欠席した授業及び成績評価における取扱は授業担当教員の判断に依ります。

#### (3) シャトルバス及び公共交通機関の遅延等に係る取扱いについて

本学が運行するシャトルバスに遅延が生じたことにより授業に遅刻又は欠席する場合は、教養教育支援室窓口又はシャトルバス運転手より「シャトルバス遅延証明書」の発行を受け、授業担当教員へ提出してください。

公共交通機関を利用する学生については、各公共交通機関で発行される遅延証明書を受け取り、授業担当教員へ提出してください。

遅延への配慮については、授業担当教員が判断します。

## 4 授業に関する諸連絡（休講・補講・試験等）

休講・補講・試験等の通知は各学部及び共通教育棟A棟1階の掲示、ヘルン・システムにて行います。メールや電話等による学生への個別連絡は行いません。

掲示板には、休講等の通知だけでなく、授業に関する様々な通知、TOEIC等の試験案内、海外留学説明会開催案内等も掲示されます。各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムは毎日確認してください。これらを確認しないことによる不利益は、一切保証しません。

## 5 レポートの提出

### (1) レポート課題について

教養教育の授業では、授業期間中又は期末試験としてレポートを課すことがあります。レポート作成に当たっては、授業担当教員の指示する課題内容を十分理解し、作成してください。

他人が書いた文章を無断で引用したり、自分の意見であるかのように書くことを「剽窃行為」といいます。他の学生が作成したレポートを丸写しする行為も同様です。こうした行為により作成されたレポートが提出された場合、不正行為とみなし、懲戒処分の対象になりますので、絶対に行わないでください。これには、情報処理科目等で提出しなければならないデータの課題等も該当します。

### (2) レポート提出について

教養教育の授業に関するレポートの提出方法（例：Moodle、レポートボックス、メール、授業中に提出等）は、授業担当教員の指示に従ってください。教養教育科目のレポートボックスに提出を指示された場合、提出先は共通教育棟A棟1階C11教室前（経済学部（夜間主）においては経済学部棟2階教務事務室）に設置しているレポートボックスを指します。

複数の教員により授業が行われる場合、教員ごとにレポートボックスが設置されることがあります。また、学期末には多くの授業でレポートが課されるため、同時期にレポートボックスを多数設置します。レポートボックスには、それぞれの授業科目名、授業担当教員名、開講曜日・時限、提出期限を表示していますので、レポートボックスを間違えないよう注意してください。

なお、提出期限を過ぎたレポートは評価対象にならないことがあります。また、誤ったレポートボックスに提出された場合も同様です。レポートボックスを間違えて提出した場合は、速やかに教養教育支援室（経済学部（夜間主）においては経済学部教務事務室）に申し出てください。

## 6 「健康・スポーツ / 実技」履修上の注意

### (1) 服装について

「健康・スポーツ / 実技」における服装は、運動に適したものを着用してください。また、体育館で実施する種目では内履き専用の運動靴が、テニスではテニスシューズが必要となります。

### (2) 「学生教育研究災害傷害保険」の加入について

本学では、正課中（授業中）に、身体に被ったケガに対して補償対象となる「学生教育研究災害傷害保険」に全員加入しています。万が一、正課中（授業中）にケガを負った場合は、速やかに授業担当教員に報告し、必要に応じて医療機関等で診療行為を受けてください。

補償対象となる「正課中のケガ」とは、授業担当教員の指示に基づき授業を受けている間（準備も

しくは後始末を行っている間も含む)に生じた「急激」かつ「偶然」な「外来」の事故により、身体に被ったケガに対して通院・入院日数に応じた保険金が支払われます。

#### ○ 「急激」かつ「偶然」な「外来」の事故とは

「急激」とは、事故が突発的に発生し、被保険者にとって予測・回避できないことを意味します。「偶然」とは、事故の原因または結果の発生が、被保険者にとって予知できないこと、被保険者の意思に基づかないことを意味します。「外来」とは、事故の原因が、被保険者の身体に内在するものではなく、外部からの作用によることをいいます。

ただし、どんな場合でも補償対象となるものではありません。必ず、学生会館1階学生支援課の学生保険担当窓口にご相談・報告してください。

#### (3) 定期健康診断の受診について

「健康・スポーツ/実技」を履修する学生は全員、本学が実施する定期健康診断を受診しなければなりません。定期健康診断を受診していない学生は、「健康・スポーツ/実技」の履修を認めません。

# V 単位認定

## 1 試験

成績評価は、シラバスに記載された成績評価方法に基づき行います。成績評価方法には、学期末に実施する試験や授業期間中に実施する小テスト、課題レポートなど、科目により様々な方法があります。

試験実施等については、各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムにて通知するほか、授業担当教員によっては授業中に試験実施等の通知を行うことがあります。また、試験実施日や試験実施教室は、通常授業、教室から変更することがありますので注意してください。

### ○ 受験時の注意事項

- ① 試験は履修登録が認められた科目のみ受けることができる。
- ② 受験の際は、必ず学生証を机上に提示すること。学生証を紛失している場合は、試験日までに再発行の手続きを取ること。試験日までに学生証の再発行が間に合わない場合は、授業担当教員に事前に相談し、指示に従うこと。
- ③ 授業担当教員より座席が指定されている場合は、指定された座席において受験すること。
- ④ 携帯電話やスマートフォン等、音の出る機器は必ず電源を切り、カバン等に入れること。携帯電話等を時計代わりに使用することはできない。
- ⑤ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及び特に指定されたものに限る。それ以外のものについてはカバン等に入れて足元に置き、机の棚入れは何も入っていない状態にすること。
- ⑥ 解答用紙には学籍番号、氏名等必要事項を必ず記載すること。
- ⑦ 受験中は、不正行為はもちろんのこと、不正を疑われるような行為・態度は慎み、厳正な態度で臨むこと。
- ⑧ その他、試験中は授業担当教員の指示に従うこと。

## 2 不正行為

試験等における不正行為は、学生としてあるまじき行為であり、絶対に許されるものではありません。本学では、不正行為に対して厳正に対処し、不正行為が認定された場合は、35日間を規準とする停学に加え、当該科目のみならず、当該試験期間中に受験した全ての試験科目を無効とし、卒業が半年以上延期となります。

### ○ 試験実施について不正行為とみなされる行為例

- ① 教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見る行為（使用を許可された場合を除く。）
- ② 試験に関する内容のメモやコピー、机上や手掌等への書き込み、又はこれらに類するものを使用又は所持する行為
- ③ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を試験監督者の指示する場所に置かず、使用する又は所持する行為（使用を許可された場合を除く。）
- ④ 他人と情報等のやり取りをする行為
- ⑤ 他人の答案を見る、又は他人に答案を見せる行為
- ⑥ 他人の代わりに受験する、又は他人を自分の代わりに受験させる行為
- ⑦ 試験等の公正な実施を妨げる恐れのある行為
- ⑧ 試験監督者等の注意、指示等に従わない行為

### ○ レポート課題において不正行為とみなされる行為例

- ① 他人が書いた文章やインターネット上に公開している文章を無断で引用したり、自分の意見であ

るかのように書くこと（剽窃行為）。

- ② 他人のレポートを代筆すること。
- ③ 自身のレポートを他の学生に見せること。

これらはいくまで一例です。これらの行為以外でも、行為によっては不正行為と見なされることがありますので、不正を疑われるような行為は決して行わないでください。

### 3 追試験

教養教育科目については、真にやむを得ない欠席理由によって試験が受けられなかった場合、追試験許可願及び欠席理由を証明する書類を提出することにより、1授業科目につき1回に限り追試験を許可することがあります。

追試験を願い出る場合は、当該科目の試験実施日以前又は試験実施の翌日から原則として5日以内（土、日及び祝日を除く。）に「追試験許可願」及び欠席理由を証明する書類等を教養教育支援室に提出してください。

#### 欠席理由及び欠席理由を証明する書類等

欠席理由	欠席理由を証明する書類等
本人の傷病	医師の診断書
親族（三親等以内）の死亡	会葬礼状又は死亡診断書
就職活動 （ただし、採用面接（試験）の受験、採用面接（試験）の受験資格となる説明会への出席に限る。）	企業、官公庁等が発行する証明書又は通知文（就職活動の採用面接（試験）又は採用面接（試験）の受験資格となる説明会の場所、日時及び内容が明記されていること。）
交通機関の遅延	交通機関の遅延証明書
災害（台風、水害、火災、地震等）	罹災証明書等災害の状況が把握できる書類
実習 （ただし、教育実習、介護等体験、臨床実習、臨地実習、臨床実務実習、博物館実習及びインターンシップに限る。）	実習期間が明記されている協定書等の書類
課外活動等における地区大会等を経た全国大会レベル以上の大会出場（ただし、選手または団員として、競技や実演に出場する場合に限る。）	次に掲げる書類 （1）招聘機関等発行の証明書又は派遣依頼書 （2）当該大会等の内容が分かる書類
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの要請等を証明する書類
交通事故	警察が発行した事故証明
その他公的機関からの要請	公的機関からの要請等を証明する書類等

### 4 成績評価の確認

#### (1) 成績評価の確認

成績開示日以降、ヘルン・システム内の「履修成績照会」画面より成績評価を確認することができます。学生に対して個別に成績通知は行いませんので、必ず自身で確認し、成績評価及び単位修得状況を確認してください。

#### (2) 成績評価に対する異議申立て

成績発表後、自身の成績評価について、以下に該当する場合は、教養教育院長に対し、異議を申し立てることができます。ただし、成績評価の理由や根拠に関する申し立ては認めません。

- (i) 成績評価の誤記入等、明らかに授業科目担当教員の誤りであると思われるもの。
- (ii) シラバス等により学生に周知している達成目標及び成績評価の方法に照らして、明らかに誤りがあると思われるもの。

成績評価異議申立ての方法及び受付期間については、各学期に各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムで通知します。

## 5 不可となった科目の取扱い

### (1) 再履修

成績評価が「不可」となった教養教育科目は、次学期以降に再履修することができます。再履修の履修登録方法は、他の教養教育科目と同様、教養科目履修登録期間中にヘルン・システムで行います。ただし、外国語科目等の一部科目については、再履修方法が指定されています。

#### 再履修方法が指定されている教養教育科目

経済夜間主コースを除く9学部共通

教養教育科目名	再履修方法
ESP I, II, 基盤英語 I, II 初修外国語 健康・スポーツ / 実技 情報処理	再履修方法の詳細は、学期開始前の案内に従うこと。

経済学部夜間主コース

教養教育科目名	再履修方法
健康・スポーツ / 実技	昼間主コース 後学期 健康・スポーツ / 実技（再履修クラス） 又は 次年度の前学期 健康・スポーツ / 実技 を履修すること。
情報処理	昼間主コース 後学期 情報処理（再履修クラス） 又は 次年度の前学期 情報処理 を履修すること。

その他の教養教育科目について再履修方法に指定がある場合は、各学部及び共通教育棟A棟1階掲示板、ヘルン・システムにて別途通知します。

### (2) 再試験

所属学部が必修としている教養教育科目（ただし、講義科目に限る）について、成績評価が「不可」とされ、再履修ができない特段の事情があると認められた場合に限り、再試験を行うことがあります。再試験を願い出る場合は、「再試験許可願」に再試験が必要となる理由書を添付して、所属する学部の教務担当窓口へ提出してください。

提出された「再試験許可願」等により再試験の実施の可否について決定します。再試験の実施が認められた場合、所属する学部を通じて通知します。また、その場合の再試験実施日は、原則として次学期又は次年度の試験期日となります。

なお、再試験による成績評価は、「可」又は「不可」のみとします。

## 6 既修得単位等の認定

### (1) 入学前の既修得単位の認定

学生が本学に入学する前に、他の大学等において単位を修得した教養教育に関する科目について、教養教育科目の履修により単位を修得したものと見なし、所属学部により単位を認定することがあります。他の大学等における既修得単位の認定を希望する学生は、入学時に行う学部オリエンテーション

ンの際、所属する学部の教務担当窓口に申し出てください。

なお、単位認定に当たり、授業科目のシラバス、教科書等の提出を求めることがあります。

## (2) 大学以外の教育施設等における学修の認定

一部の教養教育科目については、富山大学教養教育履修規則第16条に基づき大学以外の教育施設等における学修を本学の教養教育科目の履修とみなし、単位を修得することができます。学修の認定を希望する学生は、所属する学部の教務担当窓口に申し出てください。

対象となる教養教育科目及び単位数は以下のとおりです。

なお、同一の認定基準における単位認定は、一度限りとします。また、既に単位を認定された者がさらに上位の認定基準により単位認定を受ける場合、上位の認定基準の単位数から既に認定された単位数を差し引いた単位数を認定します。

### (i) 英語

	英検	TOEIC (L&R) (990)	TOEFL		IELTS (9.0)	ケンブリッ ッジ英検 (230)	認定 単位数
			iBT (120)	ITP (677)			
CEFR-B1-B2		650-725	61-71	525-549	5.5	140-159	1単位
CEFR B2	準1級	730-855	72-94	550-635	6.0-6.5	160-179	2単位
CEFR C1-C2	1級	860-990	95-120	636-677	7.0-9.0	180-230	4単位

(注) TOEIC は、TOEIC IP を含む。

対応する教養教育科目は、ESP I, II, 基盤英語 I, II とする。

### (ii) ドイツ語

ドイツ語技能検定試験	対応する教養教育科目及び与える単位数
4級	ドイツ語基礎 I 及び ドイツ語コミュニケーション I 2単位
3級以上	ドイツ語基礎 I, II 及び ドイツ語コミュニケーション I, II 4単位

### (iii) フランス語

実用フランス語 技能検定試験 (仏検)	DELF・DALF	対応する教養教育科目及び与える単位数
5級		フランス語基礎 I 又は フランス語コミュニケーション I 1単位
4級	A1	フランス語基礎 I 及び フランス語コミュニケーション I 2単位
3級以上	A2 以上	フランス語基礎 I, II 及び フランス語コミュニケーション I, II 4単位

### (iv) ロシア語

ロシア語能力 検定試験	対応する教養教育科目及び与える単位数
4級	ロシア語基礎 I ロシア語コミュニケーション I 2単位
3級以上	ロシア語基礎 I, II 及び ロシア語コミュニケーション I, II 4単位

#### (v) 朝鮮語

「ハングル」能力 検定試験	韓国語能力 試験	対応する教養教育科目及び与える単位数
4級	3級	朝鮮語基礎Ⅰ及び 朝鮮語コミュニケーションⅠ 2単位
3級以上	4級以上	朝鮮語基礎Ⅰ，Ⅱ及び 朝鮮語コミュニケーションⅠ，Ⅱ 4単位

#### (vi) 放送大学

放送大学との単位互換協定により、放送大学で修得した単位を本学の指定する単位に認定することができます。詳しくは、掲示板およびヘルン・システムでお知らせします。

#### (vii) 英語研修プログラム

本学の国際機構が実施する英語研修プログラムを修了することで、本学の指定する単位に認定することができます。詳しくは、所属する学部の教務担当窓口で確認してください。

上記に記載がない場合でも、学修の認定を行う機関等が決定した場合、別に学内掲示板およびヘルン・システムでお知らせします。



## VI 学部横断型教育プログラム

本学では、文理横断的な学修を促進するため、4つの学部横断型教育プログラムを設けています。修了要件を満たした場合には修了証が授与されます。興味あるプログラムを積極的に履修してみましょう。

### 1. 地域課題解決型人材育成プログラム

「地域課題解決型人材育成プログラム」は、地域への意識を高め、創造的な課題解決能力を持つ人材を育成するための教育プログラムです。

#### 「地域課題解決型人材育成プログラム」概要

対象者	修了要件	修了したら
全学部生	対象授業科目を4科目以上かつ8単位以上修得	「地域課題解決型人材育成プログラム修了証書」授与 (「未来の地域リーダー」の称号を付与)

### 2. 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」は、数理・データサイエンスに関する基礎力を培い、自らの専門分野に応用できる力を修得するための教育プログラムです。

また、本プログラムは、文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」において認定されています。



認定の有効期限：  
令和8年3月31日

#### 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」概要

対象者	科目種類	修了要件	修了したら
全学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数理科目</li> <li>・ 統計科目</li> <li>・ 情報科目</li> <li>・ DS 実践演習科目</li> </ul>	<リテラシーレベル> (学部生のみ) 4科目8単位以上修得 教養教育科目・専門教育科目問わず	「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム修了証」授与
		<応用基礎レベル> (学部生のみ) 8科目16単位以上修得 教養教育科目…2科目4単位以上 専門教育科目…3科目6単位以上	
		<実践応用レベル> (学部生) 応用基礎レベルの修了要件 + DS 実践演習科目…3科目6単位以上修得 (大学院生) DS 実践演習科目…4科目8単位以上修得	

### 3. SDGs 教育プログラム

「SDGs 教育プログラム」は、文系・理系の枠を超え、SDGs について幅広く学び、世界が直面している様々な課題への理解を深めるための教育プログラムです。

#### 「SDGs 教育プログラム」概要

対象者	修了要件	修了したら
全学部生	<エントリーレベル> 6 目標以上かつ 12 単位以上修得	「SDGs 教育プログラム修了証」授与
	<スタンダードレベル> 9 目標以上かつ 18 単位以上修得	
	<アドバンスレベル> 12 目標以上かつ 24 単位以上修得	

### 4. ENGINE 教育プログラム

「ENGINE 教育プログラム」は、地域において新たな観光・生活産業を創出し、地域の持続的な発展に貢献できる人材を養成するための教育プログラムです。

#### 「ENGINE 教育プログラム」概要

対象者	科目種類	修了要件	修了したら
全学部生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテラシー強化科目</li> <li>・キャリア形成科目</li> <li>・実践力強化科目</li> </ul>	5 科目 10 単位以上修得 (内訳) リテラシー強化科目 … 3 科目 6 単位以上修得 キャリア形成科目 … 1 科目 2 単位以上修得 実践力強化科目 … 1 科目 2 単位以上修得  ※上記の単位修得のほか、キャリア形成イベントへの参加を修了要件に加える可能性があります。詳細は決定次第、本学ウェブサイトに掲載します。	「ENGINE 教育プログラム修了証」授与

**\* 各プログラムの詳細 (対象科目や修了要件等) については、本学ウェブサイトから確認してください。**

富山大学ウェブサイト > 教育・学生支援 > 授業関係 > 学部横断型教育プログラム  
<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/course/wide-program/>



## Ⅶ 教養教育に関するQ & A

### 履修

Q 1 履修登録をするときに担当教員が異なる同じ科目を登録することはできますか。

A 1 同一名称科目は担当教員が異なる場合でも履修登録をすることはできません。また、一度修得した科目についても、履修登録をすることはできません。

Q 2 ヘルン・システムから履修登録をしようとしたが、エラーの表示が出て科目の登録ができません。

A 2 エラーにより科目の登録ができない場合は、エラーメッセージの指示に従い、登録内容を見直してください。それでも解決しない場合は、速やかに教養教育支援室に申し出てください。

Q 3 選択科目を履修しましたが単位を修得できませんでした。次学期や次年度に同じ科目を履修することはできますか。

A 3 単位を修得していない場合は同じ科目を再度履修することができます。

Q 4 履修登録で、「履修を指定する系」にない科目を履修したいです。

A 4 「履修を指定する系」にない系の科目を履修したい場合は、追加登録期間中にヘルン・システムより履修登録をすることができます。ただし、追加登録は先着順となります。定員に達し次第、募集を締め切りますので、注意してください。追加登録の対象となる科目は、ヘルン・システム及び掲示により周知します。

Q 5 英語、情報処理、健康・スポーツ/実技のクラス指定科目の単位を落としてしまいました。再履修の手続きはどうしたらよいですか。

A 5 英語、情報処理、健康・スポーツ/実技の再履修の登録はヘルン・システム上で行うことができません。1年次後学期の履修登録、次年度前学期の履修登録についてガイダンスを行います。ガイダンスで再履修の方法について説明するので必ず出席してください。  
また、掲示板やヘルン・システムでも通知しますので掲示に注意してください。

Q 6 「各学部・学科における卒業要件単位一覧」(P10～20参照)にある単位数は、前学期に全て修得しなければならないのですか。

A 6 半期ではなく、1年間で修得すべき単位数です。教養教育科目での履修は、1年次で終了することが原則です。2年次以降は、専門科目の履修が中心となりますので、1年間で教養教育科目の単位が修得できるように履修計画を立ててください。

Q 7 地域志向科目は、全ての系から1科目ずつ修得しなければならないのですか。

A 7 全ての系から1科目ずつ地域志向科目を修得する必要はありません。いずれかの系から1科目2単位（都市デザイン学部は2科目4単位、看護学科は対象外）以上修得してください。どの科目が地域志向科目に該当するかは、P21～27「令和4年度入学者教養教育開設授業科目一覧」で確認してください。

Q 8 「自由科目」「自由選択科目」「自由単位」とはなんですか？

A 8 (1) 自由科目

単位は修得できるが、卒業要件単位には算入しない科目を指します。「自由科目」として履修可能な教養教育科目は学部、学科ごとに定められています。

詳しくは、「令和4年度入学者教養教育開設授業科目一覧」(P21～27参照)をご覧ください。

(2) 自由選択科目

選択科目として学部の定める単位数を超えて修得した単位を、卒業要件単位として算入できる科目を指します。ただし、算入できる単位数は各学部により異なっているため、所属学部に確認してください。

(3) 自由単位

自由科目を履修して修得できた単位を指します。また、卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位を含みます。

Q 9 集中講義の履修登録はいつできますか。

A 9 教養教育科目の集中講義の履修登録は、通常の履修登録期間と別の日程で行われます。登録期間の前に、ヘルン・システム掲示板等により登録期間・方法等について通知しますので、掲示の確認を怠らないでください。

Q 10 英検準1級の資格を持っているので英語科目の単位認定を申請したいです。

A 10 英検やTOEIC等大学以外の教育施設等における学修の認定は、学部により申請期間が定められています。申請を希望する学生は、所属する学部の教務担当窓口に出してください。初修外国語についても、単位認定が可能な科目があります。詳しくは、P44、45を参照してください。

Q 11 英語科目の単位認定はTOEIC IPテストのスコアでもよいのですか。

A 11 TOEIC IPテストでも単位を認定することができます。認定の基準はTOEIC公開テストと同じです。

## 初修外国語

Q12 履修する言語を途中で変えることができますか。

A12 人文学部を除いて可能です。言語の変更や複数の言語を希望する場合、教養教育支援室に相談してください。なお、人文学部では言語の変更はできないため、1つの言語で4単位を修得してください。

Q13 学部の卒業要件単位上は2単位のみでの修得でよいため、前学期に2単位モデルの履修登録をしていましたが、初修外国語をより深く学びたいので、引き続き後学期も履修したいです。追加で履修登録をすることはできますか。

A13 追加の履修は可能です。詳しくは、8月下旬頃に公開予定の「後学期履修の手引き」で説明します。

## その他

Q14 レポートを間違えたボックスに入れました。どうしたらよいですか。

A14 速やかに教養教育支援室（経済学部（夜間主）においては経済学部教務事務室）まで申し出てください。

Q15 講義内容について質問があり、担当教員と連絡を取りたいです。

A15 ヘルン・システムから学内向けシラバスを確認してください。担当教員のメールアドレス等、連絡先が記載されていることがあります。Web シラバス・とみだい iNfo からでは学内向けのシラバスを確認できないため、注意してください。連絡先が記載されていない場合は、オフィスアワーを確認し、担当教員の研究室を訪ねてください。

担当教員が非常勤の場合も、シラバスに連絡先やオフィスアワーが記載されていることがありますので、一度シラバスを確認してください。シラバスに連絡先の記載がなく、至急の場合は、教養教育支援室まで来てください。

Q16 学生証を忘れてしまい、カードリーダーにタッチすることができませんでした。

A16 教養教育科目では、カードリーダーによる出席管理をしています。学生証を忘れた、紛失した、再発行中等の理由でカードリーダーにかざすことができない場合は「出欠調査票」により出欠登録を行います。教養教育支援室で「出欠調査票」を渡していますので、授業前に窓口に取りに来てください。「出欠調査票」に必要事項を記入し、担当教員のサインまたは確認印を付した上で教養教育支援室へ提出することでヘルン・システムに出席と登録されます。

.....

Q17 出席登録をする際に、誤って、異なる教室のカードリーダーに学生証をかざしてしまいました。正しく登録されますか。

A17 履修登録されていない授業の教室で学生証をかざした場合、エラーとなり登録されません。誤った教室で学生証をかざした後でも、当該授業時間中に正しい教室でかざせば問題なく登録されます。

.....

Q18 やむを得ず授業を欠席したいです。

A18 病気、忌引き等、やむを得ず授業を欠席する場合は、自身が所属する学部の教務担当窓口に出してください(P38「欠席等の取扱い」参照)。試験時に真にやむを得ない理由により欠席する場合は、追試験を受けることができます。詳しくは本ガイド P42「追試験」をご覧ください。

.....

Q19 共通教育棟で落とし物をしてしまいました。どこに問い合わせをすればよいですか。

A19 まずは、教室など心当たりのある場所を探してみましょう。机の中や横に忘れ物をしていませんか？忘れ物が教室の前方に集められている場合もあります。C11 教室前のガラスケース内に自身のものがある場合は、教養教育支援室までお声がけください。

教室を探しても、ガラスケースの中にもない場合は、教養教育支援室に来てください。届けられていることもあります。

共通教育棟以外で落とし物や忘れ物をした場合は、各学部教務事務室や学生支援課に届けられますので確認をしてください。

名前が記入してあると連絡をすることができますので、持ち物には記名をしてください。

.....

Q20 落とし物を拾いました。どこに届ければよいですか。

A20 落とし物を拾った場合は、拾得した場所の最寄りの事務室に届けてください。

.....

教室はキレイに使いましょう。

退室する時は、忘れ物がないか確認しましょう。

教室を最後に退室する方は、窓を閉め、照明や暖房・冷房を切りましょう。

# Ⅷ 関係規則

## 富山大学教養教育履修規則

平成30年3月27日制定  
令和元年9月24日改正  
令和2年3月16日改正  
令和3年7月27日改正  
令和4年3月25日改正

### (趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学学則（以下「学則」という。）第60条第3項の規定に基づき、富山大学における教養教育の授業科目（以下「教養教育科目」という。）、単位数及び履修方法に関し、必要な事項を定める。

### (教養教育の目的)

第2条 教養教育では、学修の基礎となる幅広い知識を身に付け、地域社会及び国際社会において活躍できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材の養成を目的とする。

### (定義)

第3条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 必修科目 卒業要件として必ず単位を修得すべき授業科目をいう。
- (2) 選択科目 学生の履修目的に応じて選択することができる授業科目であって、修得単位を卒業要件に算入する授業科目をいう。
- (3) 自由科目 認定した単位を卒業要件に算入しない授業科目をいう。
- (4) 地域志向科目 富山大学地域課題解決型人材育成プログラムに関する授業科目履修内規第2条に規定する地域志向科目群に属する教養教育科目をいう。

### (授業科目の区分)

第4条 教養教育科目の区分は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 人文科学系
- (2) 社会科学系
- (3) 自然科学系
- (4) 理系基盤教育系
- (5) 医療・健康科学系
- (6) 総合科目系
- (7) 外国語系
- (8) 保健体育系
- (9) 情報処理系

### (授業科目及び単位数)

第5条 教養教育科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

- 2 学部が教養教育科目として履修させる授業科目名、必修・選択の別、単位数等については、別表第2から2の11までのとおりとする。

### (修得単位数)

第6条 教養教育科目として修得しなければならない単位数については、別表第3のとおりとする。

### (単位計算方法)

第7条 各授業科目の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- 2 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、前項に規定する基準を考慮し、その組み合わせに応じて定めることができる。

(授業科目の公示)

第8条 各学期に開設する授業科目、授業時間数及び授業担当教員等は、学年又は学期の初めに公示する。

(履修申告)

第9条 学生は、履修しようとする授業科目（以下「履修科目」という。）について、あらかじめ所定の期間内に履修申告をしなければならない。

- 2 履修申告をしなかった授業科目は、単位の認定を受けることができない。
- 3 履修科目を登録した後に、履修科目を変更するとき又は授業科目の履修を取りやめるときは、所定の期日までに履修科目の変更又は取消しを登録しなければならない。
- 4 同じ授業科目が、同一時間帯に複数開設される場合、指定された授業クラス以外の受講は、原則として認めない。
- 5 経済学部夜間主コース以外の学生は、教養教育院が特に認めた場合を除き、経済学部夜間主コースに開講する授業科目を履修することができない。
- 6 経済学部夜間主コースの学生は、別表第2の4に掲げる授業科目で、富山大学授業に関する要項第2条第1項において規定する経済学部夜間主コース1時限及び2時限以外に開講するものについても履修することができる。

(履修科目の登録単位数の上限)

第10条 学生が教養教育の履修科目として登録することができる単位数の上限は、各学部の定めるところによる。

(成績評価及び単位の授与)

第11条 授業科目を履修し、試験等に合格した者には、教養教育院長は所定の単位を与える。

- 2 授業科目の成績は、成績の評語と評価基準を定め、秀、優、良及び可を合格とする。

評価基準

- 秀 到達基準を達成し、極めて優秀な成績を修めている。
- 優 到達基準を達成し、優秀な成績を修めている。
- 良 到達基準を達成し、良好な成績を修めている。
- 可 到達基準を達成している。
- 不可 到達基準を達成していない。

(試験)

第12条 試験は、学期末に行う。ただし、必要がある場合は、学期末以外の時期に行うことがある。

- 2 試験に関し必要な事項は、別に定める。

(追試験)

第13条 学生が、病気その他やむを得ない事由により試験を受けることができなかつた場合は、願い出により追試験を受けることができる。

- 2 追試験に関し必要な事項は、別に定める。

(再履修)

第14条 成績評価の結果、成績が不可と評価された授業科目の単位を修得する場合は、次学期以降に開講される当該授業科目を再履修することができる。

- 2 再履修に関し必要な事項は、別に定める。

(再試験)

第15条 成績評価の結果、所属学部が必修としている授業科目（講義に限る。）の成績が不可と評価され再履修ができない特段の事情があると認められる場合に限り、再試験を行うことがある。

- 2 再試験に関し必要な事項は、別に定める。



(大学以外の教育施設等における学修)

第16条 学則第65条の規定に基づき、文部科学大臣が別に定める学修を、本学の教養教育科目の履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第17条 学則第66条の規定に基づき、教養教育に関する入学前の既修得単位は、所属学部と教養教育院で審査の上、本学における教養教育科目の履修により修得したものとみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。

(その他)

第18条 この規則に定めるもののほか、教養教育科目の履修に関し必要な事項は、教養教育検討会議の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 平成31年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。(令和3年7月27日改正附則)
- 2 令和3年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

別表第1 授業科目及び単位数 (第5条関係)

系列	授業科目名	単位数	備考	
人文科学系	哲学のすすめ	2		
	人間と倫理	2		
	こころの科学	2		
	現代と教育	2		
	日本の歴史と社会	2		
	西洋の歴史と社会	2		
	日本文学	2		
	外国文学	2		
	言語と文化	2		
	音楽	2		
	美術表現A	2		
	美術表現B	2		
	美術表現	2		
	言語表現	2		
	治療の文化史	2		
	異文化間コミュニケーション	2		
	異文化理解	2	外国人留学生限定	
	社会科学系	現代社会論	2	
		日本国憲法	2	
		国家と市民	2	
		経済生活と法	2	
		市民生活と法	2	
		はじめての経済学	2	
産業と経済を学ぶ		2		
経営資源のとらえ方		2		
市場と企業の関係		2		
地域の経済と社会・文化		2		
自然科学系	自然科学への扉-A	2		
	自然科学への扉-B	2		
	自然科学への扉-C	2		
	科学技術への扉-A	2		
	科学技術への扉-B	2		
	生命の世界	2		
	社会と情報の数理	2		
	デザインと生物	2		
	解析学-A	2		
	解析学-B	2		
理系基礎 教育系	微分積分 I-A	2		
	微分積分 I-B	2		
	微分積分 I-C	2		
	微分積分 I-D	2		
	微分積分 I-E	2		
	線形代数	2		
	線形代数 I-A	2		
	線形代数 I-B	2		
	線形代数 I-C	2		
	線形代数 I-D	2		
	線形代数 I-E	2		
	物理学序説I	2		
	物理学序説II	2		
	物理学 I-A	2		
物理学 I-B	2			
物理学 II-A	2			
物理学 II-B	2			

化学・物理学実験-A	1		
化学・物理学実験-B	1		
基礎物理学-A	2		
基礎物理学-B	2		
現代物理学入門	2		
基礎化学-A	2		
基礎化学-B	2		
生体有機化学	2		
基礎化学-C	2		
基礎化学-D	2		
基礎化学-E	2		
生命科学 I-A	2		
生命科学 I-B	2		
生命科学 I-C	2		
生命科学 II-A	2		
生命科学 II-B	2		
生命科学 II-C	2		
生物学実験-A	1		
生物学実験-B	1		
基礎生物学-A	2		
基礎生物学-B	2		
生物無機化学入門	2		
生物圏環境科学概論	2		
医療心理学	2		
概説医療心理学	1		
認知科学	2		
脳科学入門	2		
生命科学入門	2		
免疫学入門	2		
身近な医学	2		
障害とアクセシビリティ	2		
医療と地域社会	2		
総合 科目系	環境	2	
	ジェンダー	2	
	技術と社会	2	
	現代文化	2	
	人権と福祉	2	
	環日本海	2	
	科学と社会	2	
	アカデミックス・デザイン	2	
	ビジネス思考	2	
	データサイエンスの世界	1	
	データサイエンスの実践	1	
	教養としての都市デザイン学	2	
	SDGs入門	2	
	京都とやま学	2	
	平和学入門	2	
	東アジア共同体論-政治・経済・文化-	2	
	富山から考える震災・復興学	2	
	環境と安全管理	2	
	万葉学	2	
	日本海学	2	
	富山大学学	2	
	とやま地域学	2	
	時事問題	2	
災害救援ボランティア論	2		
感性をはぐくむ	2		

別表第2 人文学部

系列	授業科目名	単位数	備考	
人文科学系	哲学のすすめ	2	選択	
	人間と倫理	2	選択	
	こころの科学	2	選択	
	現代と教育と社会	2	選択	
	日本の歴史と社会	2	選択	
	西洋の歴史と社会	2	選択	
	日本文学	2	選択	
	外国文学	2	選択	
	言語と文化	2	選択	
	音楽	2	選択	
	美術表現A	2	選択	
	美術表現B	2	選択	
	言語表現	2	選択	
	治療の文化史	2	選択	
	異文化間コミュニケーション	2	選択	
	異文化理解	2	選択	
	現代社会論	2	選択	
	日本国憲法	2	選択	
	国家と市民	2	選択	
	経済生活と法	2	選択	
市民生活と法	2	選択		
はじめの経済学	2	選択		
産業と経済をぶ	2	選択		
経営資源とらえ方	2	選択		
市場と企業の関係	2	選択		
地域の経済と社会・文化	2	選択		
社会科学系	自然科学への扉-A	2	選択	
	自然科学への扉-B	2	選択	
	自然科学への扉-C	2	選択	
	科学技術への扉-A	2	選択	
	科学技術への扉-B	2	選択	
	生命の世界	2	選択	
	社会と情報の数理	2	選択	
	サイエンスと生物	2	選択	
	医療心理学	2	選択	
	認知科学	2	選択	
医療・健康科学系	脳科学入門	2	選択	
	免疫学入門	2	選択	
	身近な医学	2	選択	
	障害とアクセシビリティ	2	選択	
	医療と地域社会	2	選択	
	環境	2	選択	
	エンターテインメント	2	選択	
	技術と社会	2	選択	
	現代文化	2	選択	
	人権と福祉	2	選択	
総合科目系	科学と社会	2	選択	
	アカデミックス	2	選択	
	ビジネス思考	2	選択	
	データサイエンスの世界	1	選択	
	データサイエンスの実践	1	選択	
	教養としての都市デザイン学	2	選択	
	SDGs入門	2	選択	
	外国語系	E S P I (Level-based)	1	外国人留學生限定
		E S P II (Interest-based)	1	外国人留學生限定
		基礎英語 I	1	
基礎英語 II		1		
ドイツ語基礎 I		1		
ドイツ語基礎 II		1		
ドイツ語コミュニケーション I		1		
ドイツ語コミュニケーション II		1		
フランス語基礎 I		1		
フランス語基礎 II		1		
フランス語コミュニケーション I		1		
フランス語コミュニケーション II		1		
中国語基礎 I		1		
中国語基礎 II		1		
中国語コミュニケーション I		1		
中国語コミュニケーション II		1		
朝鮮語基礎 I		1		
朝鮮語基礎 II		1		
朝鮮語コミュニケーション I		1		
朝鮮語コミュニケーション II		1		
ロシア語基礎 I	1			
ロシア語基礎 II	1			
ロシア語コミュニケーション I	1			
ロシア語コミュニケーション II	1			
日本語リテラシー I	1	外国人留學生限定		
日本語リテラシー II	1	外国人留學生限定		
日本語コミュニケーション I	1	外国人留學生限定		
日本語コミュニケーション II	1	外国人留學生限定		
発展多言語演習 下ドイツ語	1			
発展多言語演習 中国語	1			
発展多言語演習 中国語 III	1			
健康・スポーツ/講義	1	外国人留學生限定		
健康・スポーツ/実技	1	外国人留學生限定		
保健体育系	情報処理	2		
	応用情報処理	2		

別表第2の2 教育学部

系列	授業科目名	単位数	備考
人文科学系	哲学のすすめ	2	必修・選択
	人間と倫理	2	選択
	こころの科学	2	選択
	日本の歴史と社会	2	選択
	東洋の歴史と社会	2	選択
	西洋の歴史と社会	2	選択
	日本文学	2	選択
	外国文学	2	選択
	言語と文化	2	選択
	音楽	2	選択
	美術	2	選択
	美術表現A	2	選択
	美術表現B	2	選択
	言語表現	2	選択
	治療の文化史	2	選択
	異文化間コミュニケーション	2	選択
	異文化理解	2	選択
社会科学系	現代社会論	2	選択
	日本国憲法	2	選択
	国家と市民	2	選択
	経済生活と法	2	選択
	市民生活と法	2	選択
	はじめての経済学	2	選択
	産業と経済を学ぶ	2	選択
	経営資源のつくりかた	2	選択
	市場と企業の関係	2	選択
	地域の経済と社会・文化	2	選択
自然科学系	自然科学への扉-A	2	選択
	自然科学への扉-B	2	選択
	自然科学への扉-C	2	選択
	科学技術への扉-A	2	選択
	科学技術への扉-B	2	選択
	生命の世界	2	選択
	社会と情報の教理	2	選択
	デザインと生物	2	選択
医療・健康科学系	医療心理学	2	選択
	概説医療心理学	1	選択
	認知科学	2	選択
	脳科学入門	2	選択
	生命科学入門	2	選択
	免疫学入門	2	選択
	身近な医学	2	選択
	障害とアクセシビリティ	2	選択
	医療と地域社会	2	選択
総合科目系	環境	2	選択
	シエンダー	2	選択
	技術と社会	2	選択
	現代文化	2	選択
	人権と福祉	2	選択
	環日本海	2	選択
	科学と社会	2	選択
	アカデミック・デザイン	2	選択
	ビジネス思考	2	選択
	データサイエンスの世界	1	選択
	データサイエンスの実践	1	選択
	教養としての都市デザイン学	2	選択
外国語系	ESP I (Level-based)	1	必修
	ESP II (Interest-based)	1	必修
	基礎英語 I	1	必修
	基礎英語 II	1	必修
	ドイツ語基礎 I	1	選択
	ドイツ語基礎 II	1	選択
	ドイツ語コミュニケーション I	1	選択
	ドイツ語コミュニケーション II	1	選択
	フランス語基礎 I	1	選択
	フランス語基礎 II	1	選択
	フランス語コミュニケーション I	1	選択
	フランス語コミュニケーション II	1	選択
	中国語基礎 I	1	選択
	中国語基礎 II	1	選択
	中国語コミュニケーション I	1	選択
	中国語コミュニケーション II	1	選択
	朝鮮語基礎 I	1	選択
	朝鮮語基礎 II	1	選択
	朝鮮語コミュニケーション I	1	選択
	朝鮮語コミュニケーション II	1	選択
	ロシア語基礎 I	1	選択
	ロシア語基礎 II	1	選択
	ロシア語コミュニケーション I	1	選択
	ロシア語コミュニケーション II	1	選択
	日本語リテラシー I	1	選択
	日本語リテラシー II	1	選択
	日本語コミュニケーション I	1	選択
	日本語コミュニケーション II	1	選択
	日本語コミュニケーション III	1	選択
	発展多言語演習中国語	1	自由
	日本語コミュニケーション III	1	自由
	日本語/専門研究	1	自由
保健体育系	健康・スポーツ/講義	1	必修
	健康・スポーツ/実技	1	必修
情報処理系	情報処理	2	必修
	応用情報処理	2	必修
外国人留学生限定			

別表第2の3 経済学部 (昼間主コース)

系列	授業科目名	単位数	必修・選	備考	
人文科学系	哲学のすすめ	2	必修		
	人間と倫理	2	選択		
	こころの科学	2	選択		
	現代と教育	2	選択		
	日本の歴史と社会	2	選択		
	西洋の歴史と社会	2	選択		
	日本文学	2	選択		
	外国文学	2	選択		
	言語と文化	2	選択		
	音楽	2	選択		
	美術表現A	2	選択		
	美術表現B	2	選択		
	言語表現	2	選択		
	治療の文化史	2	選択		
	異文化間コミュニケーション	2	選択		
	異文化理解	2	選択		
	現代社会論	2	選択		
	日本国憲法	2	選択		
	国家と市民	2	選択		
	経済生活と法	2	選択		
	市民生活と法	2	選択		
	はじめての経済学	2	選択		
	産業と経済を学ぶ	2	選択		
	経営資源のとらえ方	2	選択		
	市場と企業の関係	2	選択		
	地域の経済と社会・文化	2	選択		
	社会科学系	自然科学への扉-A	2	選択	
自然科学への扉-B		2	選択		
自然科学への扉-C		2	選択		
科学技術への扉-A		2	選択		
科学技術への扉-B		2	選択		
生命の世界		2	選択		
社会と情報の教理		2	選択		
サイエンスと生物		2	選択		
医療心理学		2	選択		
認知科学		2	選択		
脳科学入門		2	選択		
免疫学入門		2	選択		
身近な医学	2	選択			
障害とアクセシビリティ	2	選択			
医療と地域社会	2	選択			
総合科目系	環境	2	選択		
	ジェンダー	2	選択		
	技術と社会	2	選択		
	現代文化	2	選択		
	人権と福祉	2	選択		
	環境日本論	2	選択		
	科学と社会	2	選択		
	アカデミックス	2	選択		
	ビジネス思考	2	選択		
	テータサイエンスの世界	1	選択		
	テータサイエンスの実践	1	選択		
	教養としての都市デザイン学	2	選択		
	SDGs入門	2	選択		
	外国語系	ESP I (Level-based)	1	必修	
		ESP II (Interest-based)	1	必修	
		基礎英語 I	1	必修	
		基礎英語 II	1	必修	
		ドイツ語基礎 I	1	選択	
ドイツ語基礎 II		1	選択		
ドイツ語コミュニケーション I		1	選択		
ドイツ語コミュニケーション II		1	選択		
フランス語基礎 I		1	選択		
フランス語基礎 II		1	選択		
フランス語コミュニケーション I		1	選択		
フランス語コミュニケーション II		1	選択		
中国語基礎 I		1	選択		
中国語基礎 II		1	選択		
中国語コミュニケーション I		1	選択		
中国語コミュニケーション II		1	選択		
朝鮮語基礎 I		1	選択		
朝鮮語基礎 II		1	選択		
朝鮮語コミュニケーション I		1	選択		
朝鮮語コミュニケーション II		1	選択		
ロシア語基礎 I		1	選択		
ロシア語基礎 II		1	選択		
ロシア語コミュニケーション I		1	選択		
ロシア語コミュニケーション II		1	選択		
日本語リテラシー I		1	選択		
日本語リテラシー II		1	選択		
日本語コミュニケーション I		1	選択		
日本語コミュニケーション II	1	選択			
発展多言語演習 I	1	選択			
発展多言語演習 II	1	選択			
発展多言語演習 III	1	選択			
日本語/専門研究	1	自由			
健康・スポーツ/講義	1	必修			
健康・スポーツ/実技	1	必修			
情報処理	2	必修			
応用情報処理	2	必修			

別表第2の4 経済学部 (夜間主コース)

系列	授業科目名	単位数	備考	
人文科学系	哲学のすすめ	2	必修	
	人間と倫理	2	選択	
	こころの科学	2	選択	
	現代と教育	2	選択	
	日本の歴史と社会	2	選択	
	西洋の歴史と社会	2	選択	
	日本文学	2	選択	
	外国文学	2	選択	
	言語と文化	2	選択	
	音楽	2	選択	
	美術表現A	2	選択	
	美術表現B	2	選択	
	言語表現	2	選択	
	治療の文化史	2	選択	
	異文化間コミュニケーション	2	選択	
	異文化理解	2	選択	
	現代社会論	2	選択	
	日本国憲法	2	選択	
	国家と市民	2	選択	
	経済生活と法	2	選択	
	市民生活と法	2	選択	
	はじめての経済学	2	選択	
	産業と経済を学ぶ	2	選択	
	経営資源の関わり	2	選択	
	市場と企業の関係	2	選択	
地域の経済と社会・文化	2	選択		
社会科学系	自然科学への扉-A	2	選択	
	自然科学への扉-B	2	選択	
	自然科学への扉-C	2	選択	
	科学技術への扉-A	2	選択	
	科学技術への扉-B	2	選択	
	生命の世界	2	選択	
	社会と情報の教理	2	選択	
	サイエンスと生物	2	選択	
	医療心理学	2	選択	
	認知科学	2	選択	
	脳科学入門	2	選択	
	免疫学入門	2	選択	
	身近な医学	2	選択	
	障害とアクセシビリティ	2	選択	
	環境と地域社会	2	選択	
医歯・健康科学系	シエンダー	2	選択	
	技術と社会	2	選択	
	現代文化	2	選択	
	人権と福祉	2	選択	
	環境日本	2	選択	
	科学と社会	2	選択	
	アカデミス思考	2	選択	
	アガテ・デザイン	2	選択	
	ビジネス思考	2	選択	
	データサイエンスの世界	1	選択	
	データサイエンスの実践	1	選択	
	教養としての都市デザイン学	2	選択	
	SDGs入門	2	選択	
	外国語系	ESPI (Level-based)	1	必修
		ESP II (Interest-based)	1	必修
基礎英語 I		1	必修	
基礎英語 II		1	必修	
ドイツ語基礎 I		1	選択	
ドイツ語基礎 II		1	選択	
ドイツ語コミュニケーション I		1	選択	
ドイツ語コミュニケーション II		1	選択	
フランス語基礎 I		1	選択	
フランス語基礎 II		1	選択	
フランス語コミュニケーション I		1	選択	
フランス語コミュニケーション II		1	選択	
中国語基礎 I		1	選択	
中国語基礎 II		1	選択	
中国語コミュニケーション I		1	選択	
中国語コミュニケーション II		1	選択	
朝鮮語基礎 I		1	選択	
朝鮮語基礎 II		1	選択	
朝鮮語コミュニケーション I		1	選択	
朝鮮語コミュニケーション II		1	選択	
ロシア語基礎 I		1	選択	
ロシア語基礎 II		1	選択	
ロシア語コミュニケーション I		1	選択	
ロシア語コミュニケーション II		1	選択	
日本語リテラシー I		1	選択	
日本語リテラシー II	1	選択		
日本語コミュニケーション I	1	選択		
日本語コミュニケーション II	1	選択		
多言語演習ドイツ語	1	選択		
多言語演習中国語	1	選択		
日本語コミュニケーション III	1	自由		
日本語/専門研究	1	自由		
健康・スポーツ/講義	1	必修		
健康・スポーツ/実技	1	必修		
情報処理	2	必修		
応用情報処理	2	必修		
総合科目系	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	
	外国人留學生限定	2	選択	



別表第2の6 医学部医学科

系列	授業科目名	必修・選択	単位数	備考	
人文科学系	哲学のすすめ	必修	2		
	人間と倫理	選択	2		
	こころの科学	選択	2		
	現代と教育	選択	2		
	日本の歴史と社会	選択	2		
	東洋の歴史と社会	選択	2		
	西洋の歴史と社会	選択	2		
	日本文学	選択	2		
	外国文学	選択	2		
	言語と文化	選択	2		
	音楽	選択	2		
	美術表現A	選択	2		
	美術表現B	選択	2		
	言語表現	選択	2		
	治療の文化史	選択	2		
	異文化間コミュニケーション	選択	2		
	異文化理解	選択	2	外国人留学生限定	
	現代社会学	選択	2		
	社会科学系	現代社会学	必修	2	
		日本国憲法	必修	2	
		国家と市民	必修	2	
		経済生活と法	必修	2	
		市民生活と法	必修	2	
		はじめの経済学	必修	2	
		産業と経済を学ぶ	必修	2	
		経営資源のとらえ方	必修	2	
		市場と企業の関係	必修	2	
		地域の経済と社会・文化	必修	2	
自然科学系	自然科学への扉-A	自由	2		
	自然科学への扉-B	自由	2		
	自然科学への扉-C	自由	2		
	科学技術への扉-A	自由	2		
	科学技術への扉-B	自由	2		
	生命の世界	自由	2		
	社会と情報	自由	2		
	サイエンスと生物	自由	2		
理系基盤教育系	生命科学I-A	必修	2		
	生命科学II-A	必修	2		
	生物学実験-A	必修	1		
	解剖学-A	必修	2		
	現代数学	必修	2		
	物理学I-A	必修	2		
	物理学I-B	必修	2		
	物理学II-A	必修	2		
	物理学II-B	必修	2		
	物理学II-C	必修	2		
	化学・物理学実験-A	必修	1		
	現代物理学入門	必修	2		
	基礎化学-A	必修	2		
	生体有機化学	必修	2		
	生物無機化学入門	必修	2		
医療・健康	医療心理学	自由	2		
外国語系	ESPI (Level-based)	必修	1		
	ESP II (Interest-based)	必修	1		
	基礎英語 I	必修	1		
	基礎英語 II	必修	1		
	ドイツ語基礎 I	必修	1		
	ドイツ語基礎 II	必修	1		
	ドイツ語コミュニケーション I	必修	1		
	ドイツ語コミュニケーション II	必修	1		
	フランス語基礎 I	必修	1		
	フランス語基礎 II	必修	1		
	フランス語コミュニケーション I	必修	1		
	フランス語コミュニケーション II	必修	1		
	中国語基礎 I	必修	1		
	中国語基礎 II	必修	1		
	中国語コミュニケーション I	必修	1		
	中国語コミュニケーション II	必修	1		
	朝鮮語基礎 I	必修	1		
	朝鮮語基礎 II	必修	1		
	朝鮮語コミュニケーション I	必修	1		
	朝鮮語コミュニケーション II	必修	1		
	ロシア語基礎 I	必修	1		
	ロシア語基礎 II	必修	1		
	ロシア語コミュニケーション I	必修	1		
	ロシア語コミュニケーション II	必修	1		
	日本語リテラシー I	必修	1		
	日本語リテラシー II	必修	1		
	日本語コミュニケーション I	必修	1		
	日本語コミュニケーション II	必修	1		
	多言語演習ドイツ語	必修	1	外国人留学生限定	
	多言語演習中国語	必修	1	外国人留学生限定	
	日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定	
	健康・スポーツ/講義	必修	1		
	健康・スポーツ/実技	必修	2		
	応用情報処理	必修	2		





系列	授業科目名	単位数	備考
教育系	生命科学 II-C	2	3 年次編入学生は選択
	線形代数	2	必修
	現代物理学入門	2	選択
	生物無機化学入門	2	選択
	身近な医学	2	必修
	医療心理学	2	選択
	概説医療心理学	1	選択
	認知科学	2	選択
	脳科学入門	2	選択
	生命科学入門	2	選択
	免疫学入門	2	選択
	障害とアクセシビリティ	2	選択
	医療と地域社会	2	選択
	環境	2	選択
	シエンダー	2	選択
	技術と社会	2	選択
	現代文化	2	選択
	人権と福祉	2	選択
	環日本海	2	選択
	科学と社会	2	選択
	アカデミクス・デザイン	2	選択
	ビジネスマン思考	2	選択
データサイエンスの世界	1	選択	
ゲータサイエンスの実践	1	選択	
教養としての都市デザイン学	2	選択	
SDGs 入門	2	選択	
京都とやま学	2	選択	
平和学入門	2	選択	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	2	選択	
富山から考える震災・復興学	2	選択	
環境と安全管理	2	選択	
万葉学	2	選択	
日本海学	2	選択	
富山大学学	2	選択	
とやま地域学	2	選択	
時事問題	2	選択	
災害救援ボランティア論	2	選択	
感性をはぐくむ	2	選択	
日本事情/芸術文化	2	選択	
日本事情/自然社会	2	選択	
学士力・人間力基礎	2	選択	
富山学	2	選択	
地域ライイフブラン	2	選択	
産業観光学	2	選択	
富山のものづくり概論	2	選択	
富山の地域づくり	2	選択	
外国語系	ESPI (Level-based)	1	必修
ESPII (Interest-based)	1	必修	
基礎英語 I	1	必修	
基礎英語 II	1	必修	
ドイツ語基礎 I	1	選択	
ドイツ語基礎 II	1	選択	
ドイツ語コミュニケーション I	1	選択	
ドイツ語コミュニケーション II	1	選択	
フランス語基礎 I	1	選択	
フランス語基礎 II	1	選択	
フランス語コミュニケーション I	1	選択	
フランス語コミュニケーション II	1	選択	
中国語基礎 I	1	選択	
保健体育系	中国語基礎 II	1	選択
	中国語コミュニケーション I	1	選択
	中国語コミュニケーション II	1	選択
	朝鮮語基礎 I	1	選択
	朝鮮語基礎 II	1	選択
	朝鮮語コミュニケーション I	1	選択
	朝鮮語コミュニケーション II	1	選択
	ロシア語基礎 I	1	選択
	ロシア語基礎 II	1	選択
	ロシア語コミュニケーション I	1	選択
	ロシア語コミュニケーション II	1	選択
	日本語リテラシー I	1	選択
	日本語リテラシー II	1	選択
	日本語コミュニケーション I	1	選択
	日本語コミュニケーション II	1	選択
	発展多言語演習ドイツ語	1	選択
	発展多言語演習中国語	1	選択
	日本語コミュニケーション III	1	自由
	日本語/専門研究	1	自由
	健康・スポーツ/講義	1	選択
	健康・スポーツ/実技	1	選択
	情報処理	2	必修
応用情報処理	2	必修	
別表第 2 の 8 薬学部	哲学のすすめ	2	選択
	人間の倫理	2	選択
	こころの科学	2	選択
	現代と教育	2	選択
	日本の歴史と社会	2	選択
	東洋の歴史と社会	2	選択
	西洋の歴史と社会	2	選択
	日本文学	2	選択
	外国文学	2	選択
	言語と文化	2	選択
	音楽	2	選択
	美術表現 A	2	選択
	美術表現 B	2	選択
	言語表現	2	選択
	治療の文化史	2	選択
	異文化間コミュニケーション	2	選択
	異文化理解	2	選択
	現代社会学	2	選択
	日本国憲法	2	選択
	国家と市民	2	選択
	経済生活と法	2	選択
	市民生活と法	2	選択
はじめての経済学	2	選択	
産業と経済を学ぶ	2	選択	
経営資源のつくりかた	2	選択	
市場と企業の関係	2	選択	
地域の経済と社会・文化	2	選択	
自然科学系	自然科学への扉-A	2	自由
	自然科学への扉-B	2	自由
	自然科学への扉-C	2	自由
	科学技術への扉-A	2	自由

科学技術への扉-B	自由	2	
生命の世界	自由	2	
社会と情報の数理	自由	2	
デザインと生物	自由	2	
生命科学 I-B	必修	2	
生命科学 II-B	必修	2	
生物学実験-B	必修	1	
解析学-B	必修	2	
線形代数	選択	2	
物理学 I-A	選択	2	「物理学 I-A」と「物理学 I-B」からいずれか一つを選択必修
物理学 I-B	選択	2	「物理学 I-A」と「物理学 I-B」からいずれか一つを選択必修
物理学 II-A	選択	2	「物理学 II-A」と「物理学 II-B」からいずれか一つを選択必修
物理学 II-B	選択	2	「物理学 II-A」と「物理学 II-B」からいずれか一つを選択必修
化学・物理学実験-B	必修	1	
現代物理学入門	選択	2	
基礎化学-B	必修	2	
生物無機化学入門	選択	2	
医療・健康	必修	2	
概説医療心理学	選択	1	
認知科学	選択	2	
脳科学入門	選択	2	
生命科学入門	選択	2	
免疫学入門	選択	2	
身近な医学	選択	2	
障害とアクセシビリティ	選択	2	
環境と地域社会	選択	2	
環境	選択	2	
エンターテインメント	選択	2	
デジタル文化	選択	2	
現代文化	選択	2	
人権と福祉	選択	2	
環日本海	選択	2	
科学と社会	選択	2	
アカデミック・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	2	
デザインサイエンスの世界	選択	1	
データサイエンスの実践	選択	1	
教養としての都市デザイン学	選択	2	
SDGs入門	選択	2	
薬都とやま学	選択	2	
平和学入門	選択	2	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
方薬学	選択	2	
日本海学	選択	2	
富山大学学	選択	2	
とやま地域学	選択	2	
時事的問題	選択	2	
災害救援ボランティア論	選択	2	
感性をはぐくむ	選択	2	
日本事情/芸術文化	選択	2	
学士力・人間力基礎	選択	2	
富山学	選択	2	
地域ライブラリー	選択	2	
産業観光学	選択	2	

富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	
外国語系	必修	1	
ESPI (Level-based)	必修	1	
ESPII (Interest-based)	必修	1	
基礎英語 I	必修	1	
基礎英語 II	必修	1	
ドイツ語基礎 I	選択	1	
ドイツ語基礎 II	選択	1	
ドイツ語コミュニケーション I	選択	1	
ドイツ語コミュニケーション II	選択	1	
フランス語基礎 I	選択	1	
フランス語基礎 II	選択	1	
フランス語コミュニケーション I	選択	1	
フランス語コミュニケーション II	選択	1	
中国語基礎 I	選択	1	
中国語基礎 II	選択	1	
中国語コミュニケーション I	選択	1	
中国語コミュニケーション II	選択	1	
朝鮮語基礎 I	選択	1	
朝鮮語基礎 II	選択	1	
朝鮮語コミュニケーション I	選択	1	
朝鮮語コミュニケーション II	選択	1	
ロシア語基礎 I	選択	1	
ロシア語基礎 II	選択	1	
ロシア語コミュニケーション I	選択	1	
ロシア語コミュニケーション II	選択	1	
日本語リテラシー I	選択	1	
日本語リテラシー II	選択	1	
日本語コミュニケーション I	選択	1	
日本語コミュニケーション II	選択	1	
発展多言語演習ドイツ語	選択	1	外国人留学生限定
発展多言語演習中国語	選択	1	外国人留学生限定
日本語コミュニケーション III	自由	1	外国人留学生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留学生限定
保健体育系	選択	1	
健康・スポーツ/講義	必修	1	
健康・スポーツ/実技	必修	1	
情報処理系	必修	2	
情報処理	必修	2	
応用情報処理	自由	2	
別表第2の9 工学部	必修・単位数備考		
系列	授業科目名		
人文科学系	哲学のすすめ	2	
	人間の倫理	2	
	こころの科学	2	
	現代と教育	2	
	日本の歴史と社会	2	
	東洋の歴史と社会	2	
	西洋の歴史と社会	2	
	日本文学	2	
	外国文学	2	
	言語と文化	2	
	音楽	2	
	美術	2	
	美術表現A	2	外国人留学生限定
	美術表現B	2	外国人留学生限定
	言語表現	2	
	治療の文化史	2	
	異文化間コミュニケーション	2	

異文化理解	選択	2	外国人留學生限定
現代社会論	選択	2	
日本国憲法	選択	2	
国家と市民	選択	2	
経済生活と法	選択	2	
市民生活と法	選択	2	
はじめての経済学	選択	2	
産業と経済を学ぶ	選択	2	
市場と企業の関係	選択	2	
地域の経済と社会・文化	選択	2	
自然科学への扉-A	自由選択	2	
自然科学への扉-B	自由選択	2	
自然科学への扉-C	自由選択	2	
科学技術への扉-A	自由選択	2	
科学技術への扉-B	自由選択	2	
生命の世界	自由選択	2	
社会と情報の教理	自由選択	2	
デザインと生物	自由選択	2	
生命科学 I-A	選択	2	
生命科学 I-B	選択	2	
生命科学 I-C	選択	2	
生命科学 II-A	選択	2	
生命科学 II-B	選択	2	
生命科学 II-C	選択	2	
生物無機化学入門	選択	2	
物理学序説I	選択	2	
物理学序説II	選択	2	
生物圏環境科学概論	選択	2	
医療心理学	選択	2	
概説医療心理学	選択	1	
認知科学	選択	2	
脳科学入門	選択	2	
生命科学入門	選択	2	
免疫学入門	選択	2	
身近な医学	選択	2	
障害とアクセシビリティ	選択	2	
医療と地域社会	選択	2	
環境	選択	2	
エンターテインメントと社会	選択	2	
現代文化	選択	2	
人権と福祉	選択	2	
環日本海	選択	2	
科学と社会	選択	2	
アカウンティング・デザイン	選択	2	
ビジネス思考	選択	1	
データサイエンスの世界	選択	1	
データサイエンスの実践	選択	1	
教養としての都市デザイン学	選択	2	
S D G s 入門	選択	2	
京都とやま学	選択	2	
平和学入門	選択	2	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	選択	2	
富山から考える震災・復興学	選択	2	
環境と安全管理	選択	2	
方葉学	選択	2	
日本社会学	選択	2	
富山大社会学	選択	2	

とやま地域学	選択	2	
時事的問題	選択	2	
災害救援ボランティア論	選択	2	
感性をほぐくむ	選択	2	
日本事情/芸術文化	選択	2	外国人留學生限定
日本事情/自然社会	選択	2	外国人留學生限定
学士力・人間力基礎	選択	2	
富山学	選択	2	
地域ライフプラン	選択	2	
産業観光学	選択	2	
富山のものづくり概論	選択	2	
富山の地域づくり	選択	2	
外国語系	必修	1	
E S P I (Level-based)	必修	1	
E S P II (Interest-based)	必修	1	
基礎英語 I	必修	1	
基礎英語 II	必修	1	
ドイツ語基礎 I	選択	1	
ドイツ語基礎 II	選択	1	
ドイツ語コミュニケーション I	選択	1	
ドイツ語コミュニケーション II	選択	1	
フランス語基礎 I	選択	1	
フランス語基礎 II	選択	1	
フランス語コミュニケーション I	選択	1	
フランス語コミュニケーション II	選択	1	
中国語基礎 I	選択	1	
中国語基礎 II	選択	1	
中国語コミュニケーション I	選択	1	
中国語コミュニケーション II	選択	1	
朝鮮語基礎 I	選択	1	
朝鮮語基礎 II	選択	1	
朝鮮語コミュニケーション I	選択	1	
朝鮮語コミュニケーション II	選択	1	
ロシア語基礎 I	選択	1	
ロシア語基礎 II	選択	1	
ロシア語コミュニケーション I	選択	1	
ロシア語コミュニケーション II	選択	1	
日本語リテラシー I	必修	1	外国人留學生限定
日本語リテラシー II	必修	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーション I	必修	1	外国人留學生限定
日本語コミュニケーション II	必修	1	外国人留學生限定
発展多言語演習ドイツ語	選択	1	外国語系選択科目には含まない。
発展多言語演習中国語	選択	1	外国語系選択科目には含まない。
日本語コミュニケーション III	自由	1	外国人留學生限定
日本語/専門研究	自由	1	外国人留學生限定
保健体育系	選択	1	
健康・スポーツ/講義	選択	1	
健康・スポーツ/実技	必修	2	
情報処理	必修	2	
応用情報処理	選択	2	
別表第2の10 芸術文化学部	必修・単位数備考		
系列	授業科目名		
人文科学系	哲学のすすめ	2	
	人間と倫理	2	
	こころの科学	2	
	現代と教育	2	
	日本の歴史と社会	2	
	東洋の歴史と社会	2	
	西洋の歴史と社会	2	

日本語学	2	選択	とやま地域学	2	選択
外国文学	2	選択	時事問題	2	選択
言語と文化	2	選択	災害救援ボランティア論	2	選択
芸術	2	選択	感性をほぐくむ	2	選択
美術	2	選択	日本事情／芸術文化	2	選択
言語表現	2	選択	学士力・人間力基礎	2	選択
治療の文化史	2	選択	富山学	2	選択
異文化間コミュニケーション	2	選択	地域ライフプラン	2	選択
現代社会論	2	選択	産業観光学	2	選択
社会学系	2	選択	富山のものづくり概論	2	選択
日本国憲法	2	選択	富山の地域づくり	2	選択
国家と市民	2	選択	外国語系	1	必修
経済生活と法	2	選択	ESP I (Level-based)	1	必修
市民生活と法	2	選択	ESP II (Interest-based)	1	必修
はじめての経済学	2	選択	基礎英語 I	1	必修
産業と経済を学ぶ	2	選択	基礎英語 II	1	必修
経営資源のとらえ方	2	選択	ドイツ語基礎 I	1	選択
市場と企業の関係	2	選択	ドイツ語基礎 II	1	選択
地域経済と社会・文化	2	選択	ドイツ語コミュニケーション I	1	選択
自然科学系	2	選択	ドイツ語コミュニケーション II	1	選択
自然科学への扉-A	2	選択	フランス語基礎 I	1	選択
自然科学への扉-B	2	選択	フランス語基礎 II	1	選択
自然科学への扉-C	2	選択	フランス語コミュニケーション I	1	選択
科学技術への扉-A	2	選択	フランス語コミュニケーション II	1	選択
科学技術への扉-B	2	選択	中国語基礎 I	1	選択
科学技術への扉-C	2	選択	中国語基礎 II	1	選択
生命の世界	2	選択	中国語コミュニケーション I	1	選択
社会と情報の教理	2	選択	中国語コミュニケーション II	1	選択
デザインと生物	2	選択	朝鮮語基礎 I	1	選択
デザインと動物	2	選択	朝鮮語基礎 II	1	選択
微分積分 I-E	2	選択	朝鮮語コミュニケーション I	1	選択
線形代数 I-E	2	選択	朝鮮語コミュニケーション II	1	選択
理系基礎	2	選択	ロシア語基礎 I	1	選択
教育系	2	選択	ロシア語基礎 II	1	選択
医療・健康	2	選択	ロシア語コミュニケーション I	1	選択
心理学	1	選択	ロシア語コミュニケーション II	1	選択
概説医療心理学	2	選択	日本語リテラシー I	1	選択
認知科学	2	選択	日本語リテラシー II	1	選択
脳科学入門	2	選択	日本語コミュニケーション I	1	選択
生命科学入門	2	選択	日本語コミュニケーション II	1	選択
免疫学入門	2	選択	発展多言語演習ドイツ語	1	選択
身近な医学	2	選択	発展多言語演習中国語	1	選択
障害とアクセシビリティ	2	選択	日本語コミュニケーション III	1	自由
医療と地域社会	2	選択	日本語／専門研究	1	自由
環境	2	選択	保健体育系	1	必修
シエダー	2	選択	健康・スポーツ／講義	1	必修
技術と社会	2	選択	健康・スポーツ／実技	2	必修
現代文化	2	選択	情報処理	2	必修
人権と福祉	2	選択	哲学のすすめ	2	必修・
環日本海	2	選択	人間の科学	2	選択
科学と社会	2	選択	ところの科学	2	選択
アカデミックス	2	選択	現代と教育	2	選択
デザイン	1	選択	日本の歴史と社会	2	選択
ビジネス思考	2	選択	西洋の歴史と社会	2	選択
データサイエンスの世界	2	選択	日本文学	2	選択
データサイエンスの実践	2	選択			
教養としての都市デザイン学	2	選択			
SDGs 入門	2	選択			
栗都とやま学	2	選択			
平和学入門	2	選択			
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	2	選択			
富山から考える震災・復興学	2	選択			
環境と安全管理	2	選択			
万葉学	2	選択			
日本海学	2	選択			
富山大学学	2	選択			

### 別表第2の11 都市デザイン学部

系列 授業科目名 単位数備考

人文科学系	哲学のすすめ	2	必修・
	人間の科学	2	選択
	ところの科学	2	選択
	現代と教育	2	選択
	日本の歴史と社会	2	選択
	西洋の歴史と社会	2	選択
	日本文学	2	選択

外国文学	2	選択	富山大学	2	選択	外国人留学生限定
言語と文化	2	選択	とやま地域学	2	選択	
音楽	2	選択	時事的問題	2	選択	
美術	2	選択	災害救援ボランティア論	2	選択	
美術表現A	2	選択	感性をほぐくむ	2	選択	外国人留学生限定
美術表現B	2	選択	日本事情／芸術文化	2	選択	外国人留学生限定
言語表現	2	選択	日本事情／自然社会	2	選択	外国人留学生限定
治療の文化史	2	選択	字士力・人間力基礎	2	選択	
異文化間コミュニケーション	2	選択	富山学	2	選択	
異文化理解	2	選択	地域ライフプラン	2	選択	
現代社会論	2	選択	産業観光学	2	選択	
社会科学系	2	選択	富山のものづくり概論	2	選択	
日本国憲法	2	選択	富山の地域づくり	2	選択	
国家と市民	2	選択	E S P I (Level-based)	1	必修	
経済生活と法	2	選択	E S P II (Interest-based)	1	必修	
市民生活と法	2	選択	基礎英語 I	1	必修	
はじめての経済学	2	選択	基礎英語 II	1	必修	
産業と経済学	2	選択	ドイツ語基礎 I	1	選択	
経営資源のとらえ方	2	選択	ドイツ語基礎 II	1	選択	
市場と企業の関係	2	選択	ドイツ語コミュニケーション I	1	選択	
地域の経済と社会・文化	2	選択	ドイツ語コミュニケーション II	1	選択	
自然科学系	2	選択	フランス語基礎 I	1	選択	
自然科学への扉-A	2	選択	フランス語基礎 II	1	選択	
自然科学への扉-B	2	選択	フランス語コミュニケーション I	1	選択	
自然科学への扉-C	2	選択	フランス語コミュニケーション II	1	選択	
科学技術への扉-A	2	選択	フランス語コミュニケーション I	1	選択	
科学技術への扉-B	2	選択	フランス語コミュニケーション II	1	選択	
科学技術への扉-C	2	選択	中国語基礎 I	1	選択	
生命の世界	2	選択	中国語基礎 II	1	選択	
社会と情報の数理	2	選択	中国語コミュニケーション I	1	選択	
デザインと生物	2	選択	中国語コミュニケーション II	1	選択	
現代物理学入門	2	選択	朝鮮語基礎 I	1	選択	
理系基礎	2	選択	朝鮮語基礎 II	1	選択	
教育系	2	選択	朝鮮語コミュニケーション I	1	選択	
医療・健康	2	選択	朝鮮語コミュニケーション II	1	選択	
医学系	2	選択	ロシア語基礎 I	1	選択	
概説医療心理学	1	選択	ロシア語基礎 II	1	選択	
認知科学	2	選択	ロシア語コミュニケーション I	1	選択	
脳科学入門	2	選択	ロシア語コミュニケーション II	1	選択	
生命科学入門	2	選択	日本語リテラシー I	1	選択	
免疫学入門	2	選択	日本語リテラシー II	1	選択	
身近な医学	2	選択	日本語コミュニケーション I	1	選択	外国人留学生限定
障害とアクセシビリティ	2	選択	日本語コミュニケーション II	1	選択	外国人留学生限定
医療と地域社会	2	選択	日本語演習中国語	1	選択	外国人留学生限定
環境	2	選択	日本語演習ドイツ語	1	選択	外国人留学生限定
総合科目系	2	選択	日本語コミュニケーション III	1	自由	外国人留学生限定
ジェンダー	2	選択	日本語／専門研究	1	自由	外国人留学生限定
技術と社会	2	選択	健康・スポーツ／講義	1	選択	
現代文化	2	選択	健康・スポーツ／実技	1	選択	
入権と福祉	2	選択	情報処理	2	必修	
環日本海	2	選択	応用情報処理	2	選択	
科学と社会	2	選択				
アカデミックス	2	選択				
ビジネス思考	2	選択				
データサイエンスの世界	2	選択				
データサイエンスの実践	2	選択				
教養としての都市デザイン	2	選択				
SDGs入門	2	選択				
東アジアから考える震災・復興学	2	選択				
環境と安全管理	2	選択				
万葉学	2	選択				
日本海学	2	選択				

別表第3 修得単位数 (第6条関係)

1 人文学部

	必修科目	選択科目	
人文学系	—	2単位以上	地域志向科目1科目 2単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	2単位以上	
自然科学系	—	4単位以上	
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4単位以上	
外国語系	4単位	4単位	英語以外の外国語は同一言語のみで4単位選択必修
保健体育系	2単位	—	
情報処理系	2単位		
計	8単位	16単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限

1. 選択科目として16単位を超えて修得した単位は、16単位まで卒業要件単位として算入する。ただし、各系の上限は次のとおりとする。

- ① 人文学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ② 社会科学系で2単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ③ 社会科学系及び医療・健康科学系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ④ 自然科学系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。
- ⑤ 総合科目系で4単位を超えて修得した単位は4単位まで。
- ⑥ 外国語系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。

2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

2 教育学部

	必修科目	選択科目	
人文学系	—	2単位	いづれかから さらに4単位
社会科学系	—	2単位	
自然科学系	—	2単位	
医療・健康科学系	—		地域志向科目1科目 2単位を必ず含むこと。
総合科目系	—	2単位	
外国語系	4単位	2単位	2単位選択必修
保健体育系	2単位	—	
情報処理系	2単位		
計	8単位	14単位	

3 経済学部（昼間主コース）

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位	
社会科学系	—		
自然科学系	—	4 単位	いづれかから さらに2 単位 地域志向科目 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	2 単位	
外国語系	4 単位	4 単位	4 単位選択必修
保健体育系	2 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	8 単位	16 単位	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
 1. 選択科目として 16 単位を超えて修得した単位は、社会科学系及び情報処理系で修得した単位を含め、10 単位まで卒業要件単位として算入する。  
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

4 経済学部（夜間主コース）

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	14 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—		
自然科学系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	1 単位	—	
情報処理系	2 単位		
計	7 単位	14 単位	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
 1. 選択科目として 14 単位を超えて修得した単位は、情報処理系で修得した選択科目を含め、8 単位まで卒業要件単位として算入する。  
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。



5 理学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位	
医療・健康科学系	—	6 単位	
	—		
総合科目系	—	いづれかから さらに 8 単位	
外国語系	4 単位		
保健体育系	—		
情報処理系	2 単位		
自然科学系	—		
計	6 単位	22 単位	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
 1. 選択科目として 22 単位を超えて修得した単位は、12 単位まで卒業要件単位（理学部における自由選択科目）として算入する。  
 ただし、自由選択科目に関する各系の上限は次のとおりとする。  
 ① 人文科学系、社会科学系で修得した単位は、合計 4 単位まで。  
 ② 自然科学系で修得した単位は、4 単位まで。  
 ③ 医療・健康科学系及び総合科目系で修得した単位は、合計 4 単位まで。  
 ④ 外国語系で修得した単位は 6 単位まで。  
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

6 医学部医学科

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	6 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を 必ず含むこと。
社会科学系	—		
総合科目系	—		
医療・健康科学系	1 単位		
理系基礎教育系	12 単位	次の組み合わせから 各 2 単位、計 4 単位 ① 「物理学 I -A」 と 「物理学 I -B」 ② 「物理学 II -A」 と 「物理学 II -B」	理系基礎教育 系、医療・健 康科学系及び 保健体育系か ら 2 単位以上 を含め 4 単位
外国語系	4 単位	2 単位	2 単位選択必修
保健体育系	1 単位		
情報処理系	2 単位	—	
計	20 単位	16 単位	

7 医学部看護学科

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	6 単位	
社会科学系	—		
自然科学系	—	4 単位	
理系基礎教育系	4 単位 <sup>*1</sup>		
医療・健康科学系	2 単位 <sup>*1</sup>	2 単位	いすれかから さらに5単位 <sup>*2</sup>
総合科目系	—		
外国語系	4 単位		
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	12 単位 <sup>*3</sup>	18 単位 <sup>*4</sup>	

※3 年次編入学生については、次のとおりとする。

※1：「—」、※2：「11 単位」、※3：「6 単位」、※4：「24 単位」

8 薬学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	6 単位	地域志向科目 1 科目 2 単位を 必ず含むこと。
社会科学系	—		
理系基礎教育系	10 単位	次の組み合わせから 各 2 単位、計 4 単位 ① 「物理学 I -A」と 「物理学 I -B」 ② 「物理学 II -A」と 「物理学 II -B」	いすれかから さらに 4 単位
医療・健康科学系	2 単位		
総合科目系	—		
外国語系	4 単位	2 単位	
保健体育系	1 単位		
情報処理系	2 単位	—	
計	19 単位	16 単位	

9 工学部

必修科目	選択科目	地域志向科目1科目2単位を必ず含むこと。
—	4単位 いづれかから さらに2単位*	地域志向科目1科目2単位を必ず含むこと。
—	4単位	
—		
—		
—	2単位	
—	4単位	
4単位		外国人留学生は「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」、「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」を必修とする。
—	1単位	
2単位		
6単位	17単位	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
 1. 選択科目として17単位を超えて修得した単位は、人文科学系、社会科学系及び医療・健康科学系で合計12単位を超えて修得した単位、自然科学系並びに理系基礎教育科目で修得した単位を含め、10単位まで卒業要件単位として算入する。  
 ただし、各系の上限は次のとおりとする。  
 ① 総合科目系で4単位を超えて修得した単位は2単位まで。  
 ② 外国語系で4単位を超えて修得した単位は4単位まで。  
 ③ 保健体育系で1単位を超えて修得した単位は1単位まで。  
 ④ 情報処理系で2単位を超えて修得した単位は2単位まで。  
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

※人文科学系及び社会科学系の卒業要件単位の修得方法は、次のいづれかとなる  
 「人文科学系4単位及び社会科学系6単位」「人文科学系6単位及び社会科学系4単位」

10 芸術文化学部

必修科目	選択科目	地域志向科目1科目2単位を必ず含むこと。
—	4単位	いづれかから さらに3単位 以上
—	4単位	
—	4単位	
—	4単位	
—	4単位	
4単位		外国人留学生は外国語系科目全てを選択科目とし、当該留学生にとつての外国語科目の中から4単位以上
—		
1単位		
2単位		
7単位	19単位以上	

卒業要件単位として算入する単位の上限  
 1. 選択科目として19単位を超えて修得した単位は、12単位まで卒業要件単位として算入する。  
 2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。

11 都市デザイン学部

	必修科目	選択科目	
人文科学系	—	4 単位	いづれかから さらに 4 単位  地域志向科目 2 科目 4 単位を必ず含むこと。
社会科学系	—	4 単位	
自然科学系	—		
理系基礎教育系	—		
医療・健康科学系	—		
総合科目系	—	4 単位	
外国語系	4 単位		
保健体育系	—	1 単位	
情報処理系	2 単位		
計	6 単位	17 単位	
卒業要件単位として算入する単位の上限			
1. 選択科目として 17 単位を超えて修得した単位は、10 単位まで卒業要件単位として算入する。			
2. 卒業要件単位として算入する単位の上限を超えて修得した単位については、自由単位として単位認定をする。ただし、卒業要件単位として算入はしない。			

富山大学教養教育追試験内規

平成30年2月9日制定  
令和4年3月25日改正

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第13条第2項の規定に基づき、教養教育の授業科目の追試験に関し必要な事項を定める。

(追試験願)

第2条 追試験を願い出る場合は、当該科目の試験実施日以前又は試験実施の翌日から原則として5日以内（土、日及び祝日を除く。）に、別に定める追試験許可願に掲げる欠席理由を客観的に証明する書類等を添えて、学務部学務課に提出しなければならない。

本人の傷病	欠席理由	欠席理由を証明する書類等
親族（三親等以内）の死亡	医師の診断書	会葬状又は死亡診断書
就職活動（ただし、採用面接（試験）の受験、採用面接（試験）の受験資格となる説明会への出席に限る。）	交通機関の遅延	企業、官公庁等発行の証明書又は通知文（就職活動の採用面接（試験）又は採用面接（試験）の受験資格となる説明会の場所、日時及び内容が明記されていること。） 交通機関の遅延証明書
災害（台風、水害、火災、地震等）	交通機関の遅延	罹災証明書等災害の状況が把握できる書類
実習（ただし、教育実習、介護等体験、臨床実習、臨地実習、臨床実務実習、博物館実習及びインターンシップに限る。）	期間が明記されている協定書等の書類	
課外活動における地区大会等を経た全国大会レベル以上の大会出場（ただし、選手又は団員として、競技や実演に出場する場合に限る。）	次に掲げる書類 1) 招聘機関等発行の証明書又は派遣依頼書 2) 当該大会等の内容が分かる書類	
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの要請等を証明する書類	
交通事故	警察が発行した事故証明	
その他公的機関からの要請	公的機関からの要請等を証明する書類等	

2 前項により提出された書類により、真にやむを得ない事由により試験を受けることができなかつたものであると教養教育院長が認めた場合につき1回に限り追試験を許可する。

3 追試験を行う場合は、学生掲示等により当該学生に通知する。

(休学期間中の追試験)

第3条 休学期間中に実施された試験については、追試験の対象としない。

(追試験の実施)

第4条 追試験を行う場合、原則として当該学期中に実施する。

2 追試験は原則として当該授業科目の担当教員が行う。

(その他)

第5条 この内規に定めるもののほか、教養教育の授業科目の追試験に必要な事項は、教養教育検討会議の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

富山大学教養教育再履修内規

平成30年2月9日制定  
令和4年3月25日改正

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第14条第2項の規定に基づき、教養教育の授業科目の再履修に関し必要な事項を定める。

(再履修の手続)

第2条 再履修を願い出る場合は、規則第9条第1項に規定する履修申告期間中に、所定の手続きをしなければならない。

2 再履修を願い出た後に、当該授業科目の再履修を取りやめるときは、規則第9条第3項に規定する期日までに再履修の取消しを登録しなければならない。

(再履修の成績評価)

第3条 再履修における成績評価は、規則第11条の定めるところによる。

(その他)

第4条 この内規に定めるもののほか、教養教育の授業科目の再履修に関し必要な事項は、教養教育検討会議の意見を聴いて教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

富山大学教養教育再試験内規

平成30年2月9日制定  
令和4年3月25日改正

(趣旨)

第1条 この内規は、富山大学教養教育履修規則（以下「規則」という。）第15条第1項に規定する再試験の実施に当たり、同条第2項の規定に基づき、必要な事項を定める。

(再試験の手続)

第2条 再試験を願い出る場合は、別に定める再試験許可願に再試験が必要な理由等を証明する書類を添えて、所属する学部の長に提出しなければならない。

2 前項の願い出により所属する学部の長が再試験の実施が必要と認めた場合は、教養教育院長に再試験の実施を依頼する。

3 教養教育院長は、教養教育検討会議の意見を聴いて、再試験の実施の可否を決定する。

4 所属する学部の長は、再試験の実施の可否を当該学生に通知する。

(再試験の実施)

第3条 再試験は原則として1授業科目につき、1回に限り再試験を実施する。

2 再試験は、次学期又は次年度の試験期日を実施する。

3 再試験は、当該授業科目の担当教員が実施する。

(再試験の成績評価)

第4条 再試験における成績評価は、可又は不可とする。

(その他)

第5条 この内規に定めるもののほか、再試験の実施に関し必要な事項は、教養教育検討会議の意見を聴いて、教養教育院長が定める。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

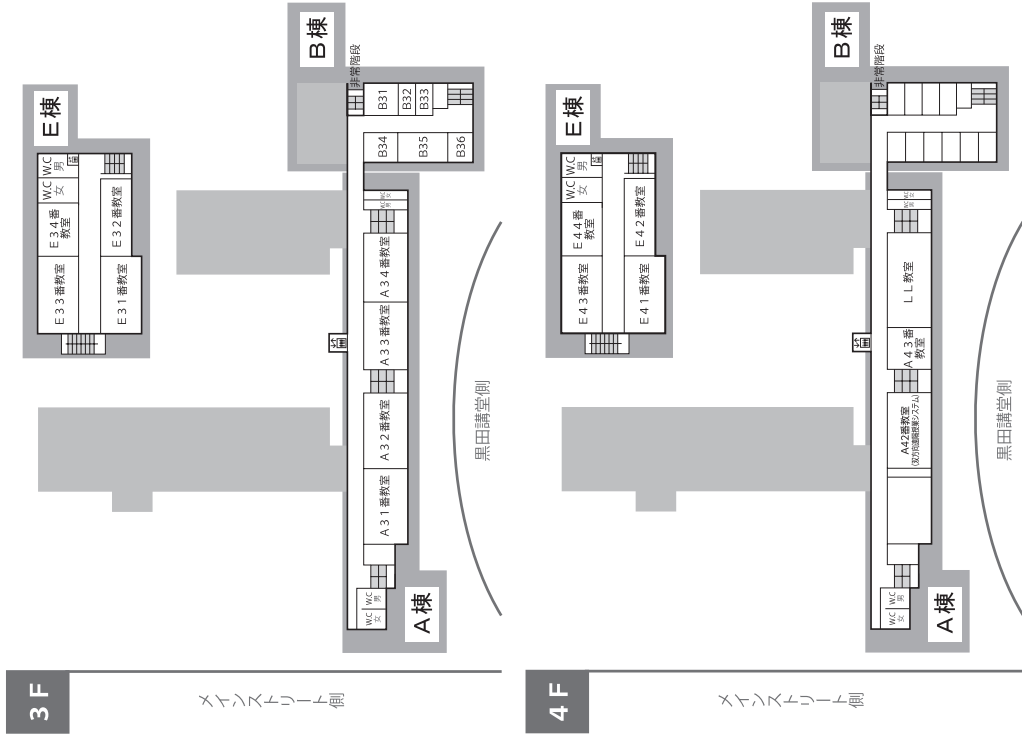
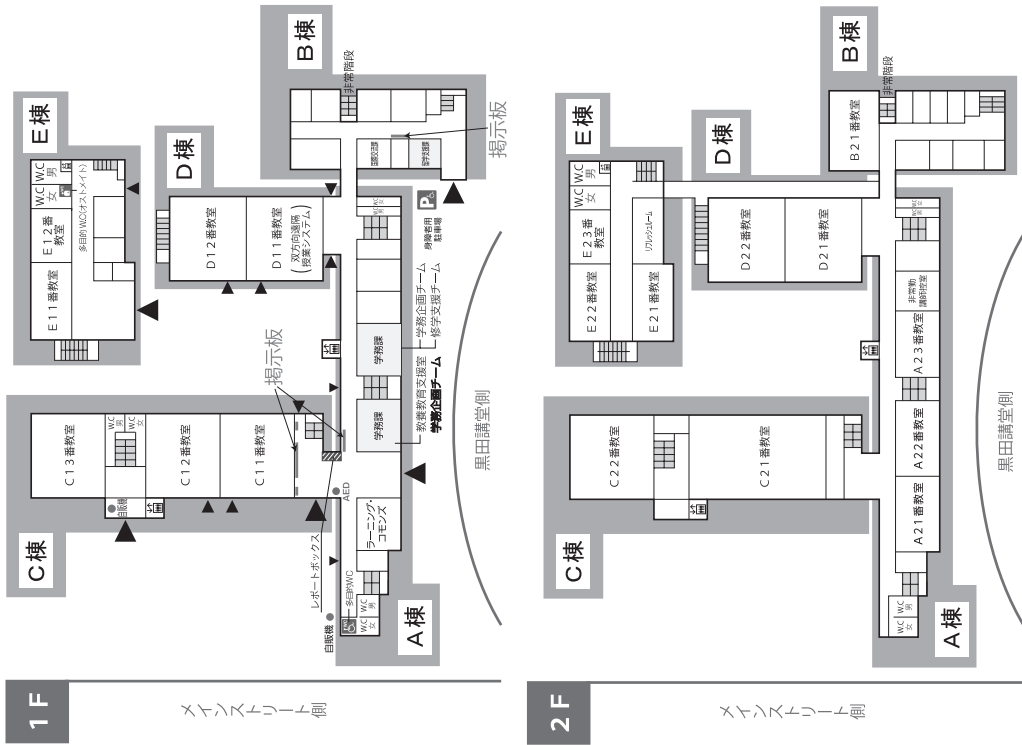
# 共通教育棟マップ

## ■ 共通教育棟

解錠時間帯 (土・日・祝日を除く)  
授業期間 8:00 ~ 18:30

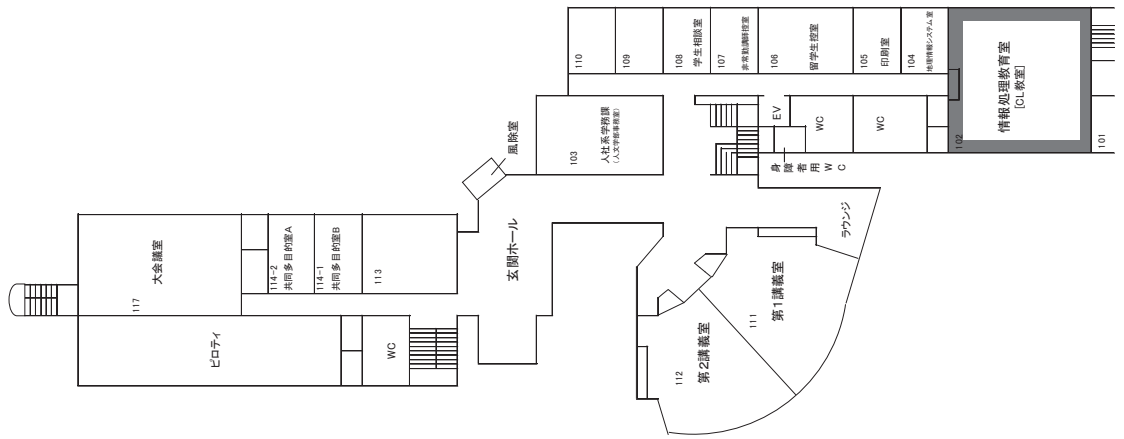
教室番号の例示

C13 = C棟1階3番教室



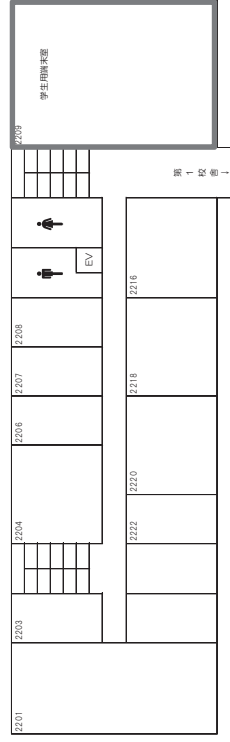
# 教養教育で使用する各学部棟の情報端末室配置図

## □人文学部棟 情報端末室位置



## □教育学部棟 情報端末室位置

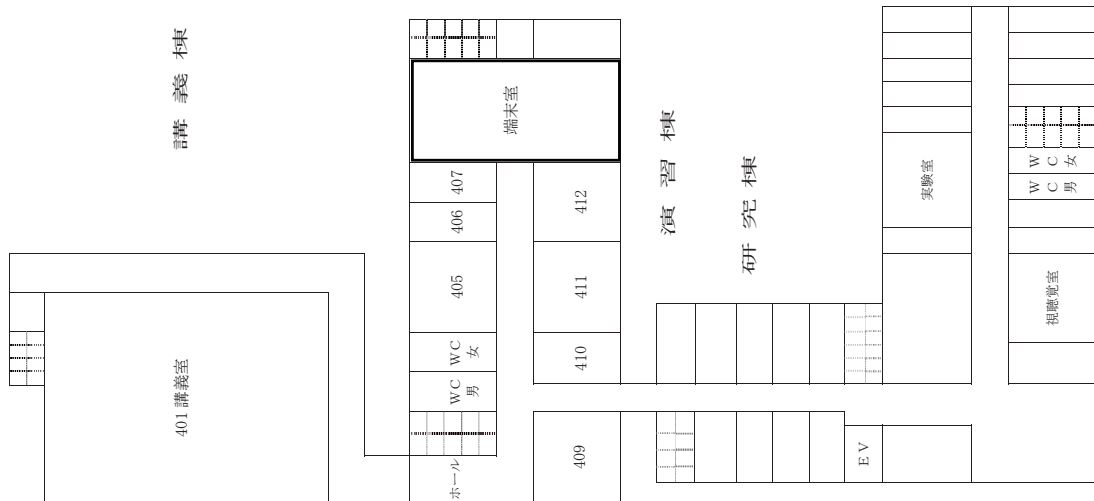
### 教育学部第2棟 2階



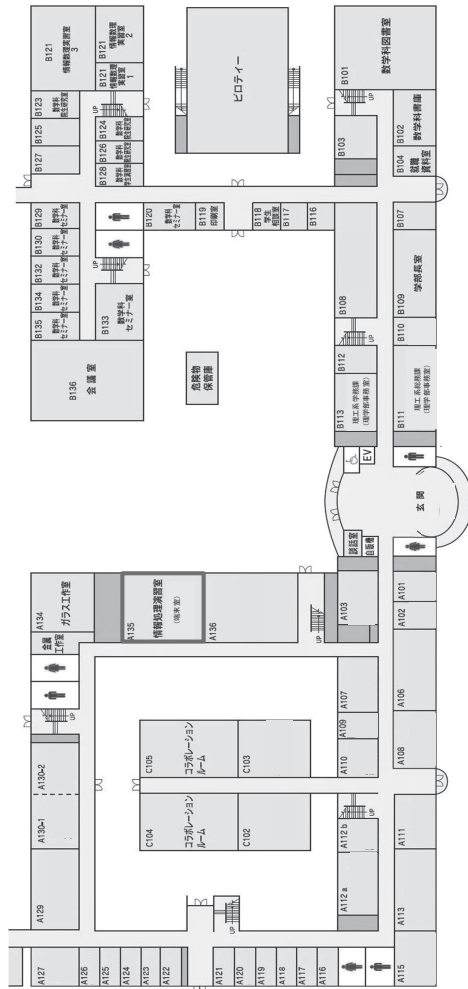


□経済学部棟 情報端末室位置

経済学部演習棟 4階



□理学部棟 情報端末室位置



## ■巻末資料

### 各種担当窓口・緊急時の問い合わせ窓口

主な事務	担当窓口	電話番号
教養教育に関することなど	学務課教養教育支援室 (E-mail : info-kyoyo@adm.u-toyama.ac.jp)	076-445-6031
人文学部	人社系学務課	076-445-6138
教育学部		076-445-6259
経済学部		076-445-6517
理学部	理工系学務課	076-445-6547
工学部		076-445-6701
都市デザイン学部		076-445-6698
医学部	学務課教養教育支援室 医薬系学務課	076-445-6031
薬学部		076-434-7126
芸術文化学部	学務課教養教育支援室 芸術系総務・学務課学務チーム	076-445-6031 0766-25-9130

教養教育院ウェブサイト

<http://www.las.u-toyama.ac.jp>



とみだい iNfo



(Android 版)



(iPhone 版)

令和4(2022)年度

富山大学 教養教育ガイド

発行 富山大学 学務部学務課教養教育支援室  
富山市五福 3190



# 令和4年度前学期 教養教育科目履修計画表

[学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ ]

曜日 時限	月	火	水	木	金
1 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
2 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
3 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
4 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
5 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
6 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )

集中講義 ( \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 系) )

## 前学期に履修を希望する科目数及び単位数

人文学系	科目 ( 単位)	外国語系	科目 ( 単位)
社会科学系	科目 ( 単位)	保健体育系	科目 ( 単位)
自然科学系	科目 ( 単位)	情報処理系	科目 ( 単位)
理系基盤教育系	科目 ( 単位)	(内数)集中講義	科目 ( 単位)
医療・健康科学系	科目 ( 単位)	(内数)地域志向科目	科目 ( 単位)
総合科目系	科目 ( 単位)		

## 履修計画作成手順

- ① クラス指定科目、必修科目の履修曜限を確認し、上記「履修計画表」に記入する。
- ② 巻末の「前学期教養教育授業時間割」を確認し、クラス指定科目を履修しない曜限に開講している授業科目から履修を希望する選択科目を上記「履修計画表」に記入する。
- ③ 裏面「履修を指定する系・選択できる科目数 確認表」を使用し、「㊤履修登録する科目」と「㊦追加登録で登録する科目」を決定する。
- ④ 「㊤履修登録する科目」は履修登録期間に登録します。 抽選結果発表後、追加履修登録期間に「㊦追加登録で登録する科目」と落選分を補う科目を登録します。
- ⑤ 集中講義の履修登録は、後日掲示にてお知らせします。

前学期 履修を指定する系・選択できる科目数 確認表

	履修を指定する系	選択できる科目数	① 履修登録する科目		② 追加履修で登録する科目
人文学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	自然科学系又は医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
教育学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	自然科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
経済学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	自然科学系又は医療・健康科学系	2科目	( ) ( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
理学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	総合科目系又は医療・健康科学系	2科目	( ) ( )		( )
医学部医学科	人文科学系	2科目	( ) ( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
医学部看護学科	人文科学系	2科目	( ) ( )		( )
	社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	自然科学系	1科目	( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
薬学部	人文科学系	2科目	( ) ( )		( )
	社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
工学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 総合, 医療)	2科目	( ) ( )		( )
芸術文化学部	人文科学系	2科目	( ) ( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	自然科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	2科目	( ) ( )		( )
都市デザイン部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	総合科目系	2科目	( ) ( )		( )

# 令和4年度後学期 教養教育科目履修計画表

[学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ ]

曜日 時限	月	火	水	木	金
1 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
2 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
3 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
4 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
5 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )
6 時間割コード 授業科目名 授業担当者名 系・単位数	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )	( 系)( )

集中講義 ( \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 系) )

## 後学期に履修を希望する科目数及び単位数

人文学系	科目 ( _____ 単位)	外国語系	科目 ( _____ 単位)
社会科学系	科目 ( _____ 単位)	保健体育系	科目 ( _____ 単位)
自然科学系	科目 ( _____ 単位)	情報処理系	科目 ( _____ 単位)
理系基盤教育系	科目 ( _____ 単位)	(内数)集中講義	科目 ( _____ 単位)
医療・健康科学系	科目 ( _____ 単位)	(内数)地域志向科目	科目 ( _____ 単位)
総合科目系	科目 ( _____ 単位)		

## 履修計画作成手順

- ① クラス指定科目、必修科目の履修曜限を確認し、上記「履修計画表」に記入する。
- ② 巻末の「前学期教養教育授業時間割」を確認し、クラス指定科目を履修しない曜限に開講している授業科目から履修を希望する選択科目を上記「履修計画表」に記入する。
- ③ 裏面「履修を指定する系・選択できる科目数 確認表」を使用し、「㊤履修登録する科目」と「㊦追加登録で登録する科目」を決定する。
- ④ 「㊤履修登録する科目」は履修登録期間に登録します。抽選結果発表後、追加履修登録期間に「㊦追加登録で登録する科目」と落選分を補う科目に登録します。
- ⑤ 集中講義の履修登録は、後日掲示にてお知らせします。

後学期 履修を指定する系・選択できる科目数 確認表

	履修を指定する系	選択できる科目数	① 履修登録する科目		② 追加履修で登録する科目
人文学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	自然科学系又は医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	2科目	( ) ( )		( )
教育学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	自然科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 自然, 総合)	1科目	( )		( )
経済学部	人文科学系	2科目	( ) ( )		( )
	自然科学系又は医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 自然, 医療, 総合)	1科目	( )		( )
理学部	人文科学系	2科目	( ) ( )		( )
	社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	医療・健康科学系又は総合科目系	3科目	( ) ( ) ( )		( )
医学部医学科	人文科学系又は社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	理系基盤	1科目	( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 理系, 医療, 総合, 保健)	1科目	( )		( )
医学部看護学科	人文科学系又は社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	自然科学系	1科目	( )		( )
	理系基盤	1科目	( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 自然, 理系, 医療, 総合, 保健, 情報)	3科目	( ) ( ) ( )		( )
薬学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	理系基盤	1科目	( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 理系, 医療, 総合, 保健)	3科目	( ) ( ) ( )		( )
工学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
	医療・健康科学系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 総合, 医療)	2科目	( ) ( )		( )
芸術文化学部	人文科学系	1科目	( )		( )
	社会科学系	2科目	( ) ( )		( )
	自然科学系又は医療・健康科学系	2科目	( ) ( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 自然, 理系, 医療, 総合, 保健)	2科目	( ) ( )		( )
都市デザイン学部	人文科学系	2科目	( ) ( )		( )
	社会科学系	1科目	( )		( )
	総合科目系	1科目	( )		( )
	その他(人文, 社会, 自然, 医療, 総合)	2科目	( ) ( )		( )





# 令和4年度前学期教養教育授業時間割表

曜日	時間	時間割コード	地域志向科目	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室
				<b>人文科学系</b>				<b>外国語系</b>						
		101400		外国文学	小田	共C22	107030	ESP I (Level-based)	ムラー	共E21	107125	基礎英語 I	山岸	共E43
		101652		日本国憲法	伊藤 嘉	共C21	107032	ESP I (Level-based)	結城	共A31	107126	基礎英語 I	竹腰	共A42
		102152		はじめての経済学	小寺 隆	共D11	107033	ESP I (Level-based)	小野 直	共A34	107127	基礎英語 I	大江	共E11
		102300		市場と企業の関係	鳥羽	共D12	107034	ESP I (Level-based)	コエ	共E22	107128	基礎英語 I	高野 美	共E33
	1	102352	*	地域の経済と社会・文化	鈴木 晃	共D21	107035	ESP I (Level-based)	グレイ	共E31	107129	基礎英語 I	石坂	共A32
		102452		生命の世界	中町	共C12			クーパー	共E41	107130	基礎英語 I	大場	共E32
		105300	*	医療と地域社会	宮島	共C13					107131	基礎英語 I	秋田	共E42
		105300	*	医療と地域社会	宮島	共C13					107132	基礎英語 I	須水	共A23
		101353		日本文学	藤井	共D22	107036	ESP I (Level-based)	ムラー	共E21	107133	基礎英語 I	山岸	共E43
		101652		美術	隅	共D12	107037	ESP I (Level-based)	結城	共A31	107134	基礎英語 I	コエ	共E22
		101900	*	現代社会論	藤本	共C12	107038	ESP I (Level-based)	サンダース	共A34	107135	基礎英語 I	大江	共E11
		102202		産業と経済を学ぶ	瑠田	共B21	107039	ESP I (Level-based)	グレイ	共E31	107136	基礎英語 I	高野 美	共E33
	2	102452		自然科学への扉-B	中路	共C13	107040	ESP I (Level-based)	クーパー	共E41	107137	基礎英語 I	石坂	共A32
		105250		障害とアクセシビリティ	宮	共C22					107138	基礎英語 I	山崎 大	共A42
		105452		技術と社会	松田	共D21					107139	基礎英語 I	大場	共E32
		105550	*	人権と福祉	林	共C21					107140	基礎英語 I	須田	共E42
		106250	*	万葉学	松井	共D11								
		106951	*	富山の地域づくり	塩見	共C11								
	3	104600		基礎化学-A②	杉森	共C21								
		104650		基礎化学-B②										
	4	103200		物理学 I-B②	吉田	共D21								
	5													
				<b>外国語系</b>				<b>外国語系</b>						
		107650		(再履修)中国語基礎Ⅱ	福田	共A21								

曜日	時間	時間割コード	地域志向科目	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室
	1	103100		微分積分 I-E	高橋	工26								
		104300		生命科学 I-A	谷井	共C11								
	2	103450		物理学序論 I	栗本	共C13								
		104850		生物圏環境科学総論	横畑	共C22								
	3	104650		健康・健康科学系	袴田	共C11								
		104650		健康・健康科学系	袴田	共C11								
	4	103750		理学基礎教育系	栗本	共C13								
		103800		理学基礎教育系	栗本	共C13								
	5	104350		生命科学 I-B	片桐	共C11								

曜日	時間	時間割コード	地域志向科目	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室
	1	102850		解析学-B	永井 節	共C13								
		104400		生命科学 I-C	谷井	共C12								
		106000	*	康都とやま学	酒井	共C11								
	2	103400		線形代数 I-E	棚井	共D21								
	3													
	4													
	5	101600		美術表現A	松村・幸	共E21・22								
		101600		美術表現A	内田・河本	共E31・33								
		103750		化学・物理学実験-A	杉森	理C302								
		103800		化学・物理学実験-B	彦坂	理C303								

[注記]

1. 教養教育科目は、全て五福キャンパスで実施します。
2. 「ESP I」, 「基礎英語 I」, 「健康・スポーツ/実技」, 「情報処理」はクラス指定科目です。指定されたクラス以外での履修はできません。
3. 各時間につき、複数の授業科目からいずれか1科目のみ履修します。
4. 同一名称の授業科目は重複履修できません。
5. 教室表記については、別途各学部及び共通教育棟A棟1階掲示版及びヘルプ・システムにて通知します。
6. 履修方法については、「教養教育ガイド」を参照してください。
7. 集中講義の開催時期、履修方法については、別途各学部及び共通教育棟A棟1階掲示版及びヘルプ・システムにて通知します。

[集中講義(予定)]

- (101401) 外国文学(村上), (100400) \*とやま地域学(他大学等), (106450) 時事的問題(高山), (106750) \*富山学(奥) 定員45名, (106853) \*富山の地域づくり(大西), (106851) データサイエンスの実践(奥本), (108400) 発展多言語演習ドイツ語(名帆), (108450) 発展多言語演習中国語(福田)



教室は変更となる場合があります。最新の情報をウェブで確認してください。

<http://www.las.u-toyama.ac.jp>

# 令和4年度後学期教育授業時間割表

曜日	時間	時間割コード	授業科目	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室								
月	1	102153	社会科学系*	はじめの経済学・地域の経済と社会・文化	山田 潤	教室	107650	基礎英語Ⅱ	水野 コー	教室	108600	健康・スポーツ/健康	島海	教室								
															102351	大西	107151	基礎英語Ⅱ	山田 真	108604	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															102501	秋山	107152	基礎英語Ⅱ	稲田 隆	108605	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															102551	秋山	107153	基礎英語Ⅱ	須田 美	108606	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															102601	秋山	107154	基礎英語Ⅱ	須田 美	108607	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															102651	秋山	107155	基礎英語Ⅱ	須田 美	108608	健康・スポーツ/健康	山下 悠
	2	101550	人文科学系	美術	三宮	教室	107658	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108609	健康・スポーツ/健康	島海	教室								
															101551	三宮	107156	基礎英語Ⅱ	山田 真	108610	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101552	三宮	107157	基礎英語Ⅱ	山田 真	108611	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101553	三宮	107158	基礎英語Ⅱ	山田 真	108612	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101554	三宮	107159	基礎英語Ⅱ	山田 真	108613	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101555	三宮	107160	基礎英語Ⅱ	山田 真	108614	健康・スポーツ/健康	山下 悠
3	102200	社会科学系	国家と市民	青木 一	教室	107659	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108615	健康・スポーツ/健康	島海	教室									
														102201	青木 一	107161	基礎英語Ⅱ	山田 真	108616	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102202	青木 一	107162	基礎英語Ⅱ	山田 真	108617	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102203	青木 一	107163	基礎英語Ⅱ	山田 真	108618	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102204	青木 一	107164	基礎英語Ⅱ	山田 真	108619	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102205	青木 一	107165	基礎英語Ⅱ	山田 真	108620	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
4	102103	社会科学系	市民生活と法	上田 理	教室	107660	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108621	健康・スポーツ/健康	島海	教室									
														102104	上田 理	107166	基礎英語Ⅱ	山田 真	108622	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102105	上田 理	107167	基礎英語Ⅱ	山田 真	108623	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102106	上田 理	107168	基礎英語Ⅱ	山田 真	108624	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102107	上田 理	107169	基礎英語Ⅱ	山田 真	108625	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102108	上田 理	107170	基礎英語Ⅱ	山田 真	108626	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
5	102252	社会科学系	生命の世界	高崎	教室	107661	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108627	健康・スポーツ/健康	島海	教室									
														102253	高崎	107171	基礎英語Ⅱ	山田 真	108628	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102254	高崎	107172	基礎英語Ⅱ	山田 真	108629	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102255	高崎	107173	基礎英語Ⅱ	山田 真	108630	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102256	高崎	107174	基礎英語Ⅱ	山田 真	108631	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102257	高崎	107175	基礎英語Ⅱ	山田 真	108632	健康・スポーツ/健康	山下 悠	

曜日	時間	時間割コード	授業科目	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室								
水	1	101153	人文科学系	現代と教育	西島	教室	107668	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108633	健康・スポーツ/健康	島海	教室								
															101154	西島	107176	基礎英語Ⅱ	山田 真	108634	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101155	西島	107177	基礎英語Ⅱ	山田 真	108635	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101156	西島	107178	基礎英語Ⅱ	山田 真	108636	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101157	西島	107179	基礎英語Ⅱ	山田 真	108637	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101158	西島	107180	基礎英語Ⅱ	山田 真	108638	健康・スポーツ/健康	山下 悠
	2	101354	社会科学系	日本の歴史と文化	伊藤 智	教室	107669	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108639	健康・スポーツ/健康	島海	教室								
															101355	伊藤 智	107181	基礎英語Ⅱ	山田 真	108640	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101356	伊藤 智	107182	基礎英語Ⅱ	山田 真	108641	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101357	伊藤 智	107183	基礎英語Ⅱ	山田 真	108642	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101358	伊藤 智	107184	基礎英語Ⅱ	山田 真	108643	健康・スポーツ/健康	山下 悠
															101359	伊藤 智	107185	基礎英語Ⅱ	山田 真	108644	健康・スポーツ/健康	山下 悠
3	102502	社会科学系	国家と市民	秋葉	教室	107670	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108645	健康・スポーツ/健康	島海	教室									
														102503	秋葉	107186	基礎英語Ⅱ	山田 真	108646	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102504	秋葉	107187	基礎英語Ⅱ	山田 真	108647	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102505	秋葉	107188	基礎英語Ⅱ	山田 真	108648	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102506	秋葉	107189	基礎英語Ⅱ	山田 真	108649	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102507	秋葉	107190	基礎英語Ⅱ	山田 真	108650	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
4	102154	社会科学系	はじめの経済学	上田 理	教室	107671	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108651	健康・スポーツ/健康	島海	教室									
														102155	上田 理	107191	基礎英語Ⅱ	山田 真	108652	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102156	上田 理	107192	基礎英語Ⅱ	山田 真	108653	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102157	上田 理	107193	基礎英語Ⅱ	山田 真	108654	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102158	上田 理	107194	基礎英語Ⅱ	山田 真	108655	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102159	上田 理	107195	基礎英語Ⅱ	山田 真	108656	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
5	102550	社会科学系	生命の世界	黒澤	教室	107672	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108657	健康・スポーツ/健康	島海	教室									
														102551	黒澤	107196	基礎英語Ⅱ	山田 真	108658	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102552	黒澤	107197	基礎英語Ⅱ	山田 真	108659	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102553	黒澤	107198	基礎英語Ⅱ	山田 真	108660	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102554	黒澤	107199	基礎英語Ⅱ	山田 真	108661	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														102555	黒澤	107200	基礎英語Ⅱ	山田 真	108662	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
6	101302	社会科学系	西洋の歴史と文化	小野 直	教室	107673	基礎英語Ⅱ	水野	教室	108663	健康・スポーツ/健康	島海	教室									
														101303	小野 直	107201	基礎英語Ⅱ	山田 真	108664	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														101304	小野 直	107202	基礎英語Ⅱ	山田 真	108665	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														101305	小野 直	107203	基礎英語Ⅱ	山田 真	108666	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														101306	小野 直	107204	基礎英語Ⅱ	山田 真	108667	健康・スポーツ/健康	山下 悠	
														101307	小野 直	107205	基礎英語Ⅱ	山田 真	108668	健康・スポーツ/健康	山下 悠	

# 令和4年度後学期教養教育授業時間割表

曜日	時限	時間割コード	地域志向科目	科目名	担当教員	教室	時間割コード	科目名	担当教員	教室	
水	1	101052	人文科学系	人間と倫理	児島	教室	107086	ESP II (Interest-based)	ムラー	107175	基礎英語II
				現代と教育	竹村	107087		基礎英語II			
				市民生活と法	上田 理	107088		基礎英語II			
				産業と経済化学	本山	107090		基礎英語II			
	2	102054	自然科学系	生命の世界	安本	教室	107091	ESP II (Interest-based)	クレー	107179	基礎英語II
				102056	107092	基礎英語II					
	3	105051	理工学系	105051	107093	107182	基礎英語II				
				101304	107094	107183	基礎英語II				
				101800	107095	107184	基礎英語II				
				101955	107096	107185	基礎英語II				
102053				107097	107186	基礎英語II					
102454				107098	107187	基礎英語II					
金	1	104550	理学基礎教育系	物理学序説II	栗木	教室	104600	生物学実験-A	谷井	104650	生物学実験-B
				104600	104650	生物学実験-A					
				104650	104600	生物学実験-B					
				104600	104650	生物学実験-A					
	2	104550	理学基礎教育系	104550	104600	104650	生物学実験-A				
				104600	104650	生物学実験-B					
	3	106350	総合科目系	106350	106350	106350	総合科目系				
				106350	106350	106350	総合科目系				
				106350	106350	106350	総合科目系				
				106350	106350	106350	総合科目系				
4	103700	理学基礎教育系	103700	103700	103700	物理学II-B②					
			103700	103700	103700	物理学II-B②					
5	107015	外国語系	107015	107015	107015	外国語基礎I					
			107015	107015	107015	外国語基礎I					
4~5	106350	総合科目系	106350	106350	106350	総合科目系					
			106350	106350	106350	総合科目系					

曜日	時限	時間割コード	地域志向科目	科目名	担当教員	教室
水	1	103500	理学基礎教育系	103500	103500	物理学序説II
				103500	103500	物理学序説II
				103500	103500	物理学序説II
金	1	104550	理学基礎教育系	104550	104600	生物学実験-A
				104600	104650	生物学実験-B
				104650	104600	生物学実験-A

曜日	時限	時間割コード	地域志向科目	科目名	担当教員	教室
水	1	104100	理学基礎教育系	104100	104100	生体有機化学
				104100	104100	生体有機化学
				104100	104100	生体有機化学
金	1	104550	理学基礎教育系	104550	104600	生物学実験-A
				104600	104650	生物学実験-B
				104650	104600	生物学実験-A

【注記】

1. 教養教育科目は、全て五福キャンパスで実施します。ただし、医学部の金曜日及び薬学部の木曜日の一部授業科目のみ、杉谷キャンパスで実施します。
2. 「ESP II」、「基礎英語II」はクラス指定科目です。指定されたクラス以外での履修はできません。
3. 各時限につき、複数の授業科目からいづれか1科目のみ履修します。
4. 同一名称の授業科目は重複履修できません。
5. 教室表記については、「教養教育ガイド」を参照してください。
6. 履修方法については、「教養教育ガイド」を参照してください。

【集中掲載】  
 (101402) 外国文学(村上) (106500) \* 英語教授法(ランティニア論(奥平)) (108451) 発音多言語演習(中国語(福田))



教室は変更となる場合があります。最新の情報をウェブで確認してください。

<http://www.las.u-toyama.ac.jp>

Manual of HEARN System  
ヘルン・システム利用の手引き

令和4(2022)年度



# 1 ヘルン・システムの利用

ヘルン・システム< HEARN SYSTEM > (以下、本システム) とは、全学の学生、教職員が利用できる学務情報システムです。『ユーザ名』及び『パスワード』を入力することで、掲示板、履修登録、成績、就職支援等の機能を利用することができます。

本学では、1年を前学期・後学期に分けたセメスター制(2学期制)と1年を第1タームから第4タームに分けたクォーター制(4学期制)を採用しています。

本紙では、セメスター制を基準として各機能の説明をしているため、クォーター制の場合は、以下のように読み替えてください。

- 前学期 → 第1ターム(4~6月) + 第2ターム(6~8月)
  - 後学期 → 第3ターム(10~11月) + 第4ターム(12~2月)
- ※「ターム」とは、クォーター制における学期のことです。

## ヘルン・システムを利用するに当たっての注意事項①~⑤

- ① パスワード管理 万一パスワードが他人に漏れた場合、あなたになりすまして悪用され、システム内の情報が漏洩することがあります。パスワードの管理には十分留意してください。
- ② 時間制限 本システムは、ログインしてから長時間(約30分間)操作しなかった場合、強制的にログアウトします。(本システムでは、これを『タイムアウト』といいます。)引き続きシステムを利用する場合は、再度ログインしてください。(詳細は、p.5参照)
- ③ 共有利用 複数利用者が共有するパソコンを利用する場合は、ブラウザの「お気に入り」又は「ブックマーク」に本システムを登録しないようにしてください。また、cookie等により、IDやパスワードを保存しないでください。他の利用者が、「お気に入り」等に残したページや閲覧履歴から引き続き利用できる恐れがあります。
- ④ 終了方法 本システムを終了するときは、必ず画面上部の、『ログアウト』をクリックしてから、画面を閉じてください。ブラウザ画面右上の×印をクリックして画面を閉じると、それまでの閲覧履歴がパソコンに残る可能性があります。



- ⑤ セキュリティ 全学生は、情報セキュリティ研修(eラーニング)を必ず受講しなければなりません。当該研修の実施については、別途通知を確認してください。指定期間内に受講しない場合は、情報システム利用ユーザIDが停止され、本システムを利用できなくなります。不明な点は、所属学部等の教務担当窓口にお問い合わせください。

## (1) 利用可能時間

本システムは、24 時間利用できます。履修登録や成績確認等、**利用できる期間を限定している機能もある**ため、詳しくは、各学部及び共通教育棟の掲示板等の情報を確認してください。

また、**メンテナンス等によりシステムを一時停止することがあります**。停止する場合はあらかじめ通知しますが、緊急を要する等のやむを得ない場合に限り、予告なしに停止することがあります。



## (2) 利用できるパソコン

本システムは、以下に設置してある学内パソコンから利用可能です。各端末室等は授業に使用していなければ、自由に利用することができます。自宅のパソコンやスマートフォン等から VPN 接続により利用することも可能ですが、情報セキュリティを充分理解した上で、各自の責任において利用してください。

※ VPN 接続に関する情報は、下記のウェブサイトから確認してください。  
(マニュアルは、学内から閲覧可)



富山大学総合情報基盤センターウェブサイト>利用案内>マニュアル (学内限定) >学外からの VPN による接続方法

<https://www.itc.u-toyama.ac.jp/inside/start.html#outside>

	建物名	教室
五福	総合情報基盤センター	端末室 (1 F ~ 4 F)
	附属図書館	マルチメディア研修室 (6 F)
	人文学部校舎	情報処理教育室 (1 F)
	教育学部第 2 棟	教育用端末室 (2 F)
	経済学部研究棟	学生コンピュータ室 (1 F) 教育用端末室 (4 F)
	理学部 1 号館	情報処理演習室 (1 F)
五福 (工・都市デ)	共通講義棟	第 1 端末室、第 2 端末室 (1 F) 第 3 端末室、CAD 室 (2 F)
杉谷	講義実習棟	情報処理実習室 (大) (小) (3 F)
	看護学科研究棟 ※	情報処理実習室 (中) (3 F)
高岡	C 棟	コンピュータ演習室 (C-220、C-222、C-223) (2 F)

※看護学科・薬学部・大学院研究室配属の学生は、研究室のパソコンを使用

その他、講義室等に設置しているインターネットに接続できるパソコンであれば、本システムを利用することができます。

### (3) ユーザ名及びパスワード

本システム利用時の『ユーザ名』及び『パスワード』は、所属学部等から交付される総合情報基盤センター情報システム利用ユーザID及びパスワードと同じです。(総合情報基盤センター情報システム利用ユーザIDのパスワードを変更すると、本システムのパスワードも自動的に変更されます。)

なお、証明書自動発行機も本システムと同じ『ユーザ名』及び『パスワード』で利用可能です。

#### ① ユーザ名

学部生のユーザ名は『s (小文字) ※』+ 学籍番号の初めの1桁を除いた番号 + 『.ems』です。

例) 学籍番号が『12230999』の場合、ユーザ名は『s2230999.ems』になります。

※大学院修士(博士前期)課程の学生はm(小文字)、大学院博士(博士後期)課程の学生はd(小文字)、大学院専門職学位課程の学生はp(小文字)を付けてください。

学種	学籍番号	→	ユーザ名
学部	12230999	→	s2230999.ems
大学院修士課程(博士前期課程)	22230999	→	m2230999.ems
大学院博士課程(博士後期課程)	32230999	→	d2230999.ems
大学院専門職学位課程	42230999	→	p2230999.ems



#### ② パスワードの再発行

パスワードを忘れた場合は、以下の窓口に学生証を持参して、パスワード再発行の手続きを行ってください。





なお、パスワードはすぐに発行することができないため、時間に余裕をもって手続きを行ってください。

	受付場所	受付時間
五福	総合情報基盤センター	平日9:00～17:00 ※土・日・国民の祝日、夏季一斉休業(8月15日～19日)、年末年始(12月29日～1月3日)を除く。
杉谷	総合情報基盤センター杉谷分室(共同研究棟3F)	
高岡	芸術系総務・学務課学務チーム(A棟1F)	

#### ③ 各システムのユーザID及びパスワード

本学で使用できるシステムのユーザID及びパスワードは、次のとおりです。各システムに関するお知らせやマニュアル等については、総合情報基盤センターのウェブサイトを確認してください。

以下のシステムのパスワードは、共通しています。

	基盤センター 端末室 パソコン 	電子メール 	Moodle Proself 無線 LAN 	VPN 	ヘルン・システム 
ID (例)	s2230999		s2230999.ems		
問合せ先	総合情報基盤センター		学務課 修学支援チーム		

#### (4) ヘルン・システムへの接続方法

本学のウェブサイトより、以下の手順で接続することができます。



富山大学ウェブサイトから「在学生の方」を選択し、「授業関係」メニューを開きます。



「ヘルン・システム (学内限定)」を選択します。



「ヘルンとは?」セクションでヘルン・システムの説明を確認し、「Enter」ボタンをクリックします。



ユーザ名及びパスワードを入力してログインします。

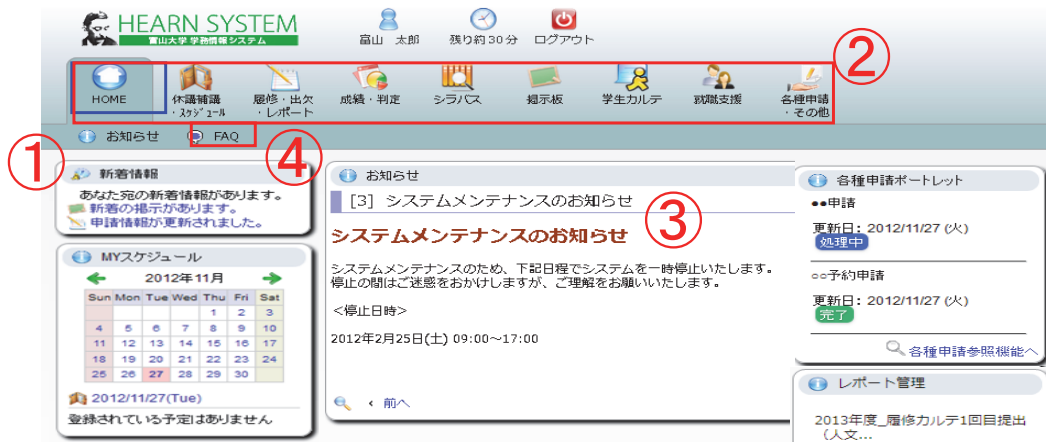
富山大学ウェブサイト > 在学生の方 > 授業関係 > ヘルン・システム (学内限定)  
[https://www.u-toyama.ac.jp/student-staff/hearn\\_system.html](https://www.u-toyama.ac.jp/student-staff/hearn_system.html)



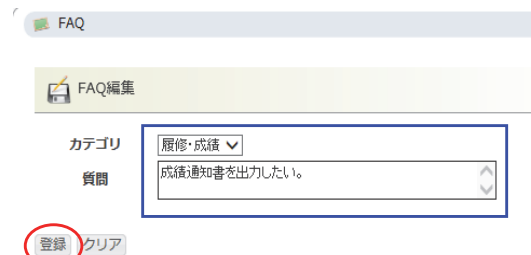


## トップ画面の説明

『HOME』タブでは、システムに関するお知らせ(①～③)及びFAQ(④)を確認することができます。



- ① 新着情報  
休講・補講・教室変更・掲示情報等を機能ごとに表示します。
- ② 各種タブ  
履修登録やシラバス参照等ができます。詳細は p.6 以降を参照してください。
- ③ お知らせ  
メンテナンス等の重要なお知らせが表示されます。
- ④ FAQ  
本システムについて、『HOME』タブの『FAQ』から質問することができます。『新規登録』をクリック後、「カテゴリ」を選択し、「質問」を入力したら、『登録』をクリックしてください。回答があった場合、『FAQ』内の新着欄に表示されます。



### 〈タイムアウト (強制ログアウト)〉

本システムは、情報セキュリティ対策のため、長時間(約30分間)操作されないと強制的にログアウトします。延長したい場合は、タイムアウトになる前に、右図の時計マーク又はいずれかのリンクをクリックしてください。



## 2 学籍情報

学籍情報等は、『学生カルテ』タブの『学生カルテ』から参照することができます。情報は下図のようにカテゴリ別に表示されます。

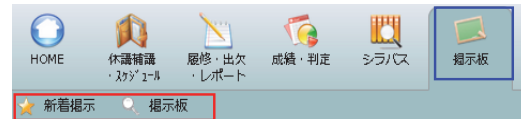


学籍情報	指導教員情報	学生個人情報	連絡先情報	学籍異動情報	履修情報
成績修得状況	レポート情報	出欠情報	健康管理情報	就職情報	面談記録
追加情報	積算能力評価				

※学籍情報等のうち、連絡先情報（学生本人や保証人の住所・電話番号等）は本システム上で変更申請を行えますが、本システム上で変更できない情報については、所属学部等の教務担当窓口で必ず変更登録を申請してください。本システム上での変更申請の方法については、新入生オリエンテーションの中で説明します。

## 3 掲示板

『掲示板』タブでは、授業科目の情報や全学向けのお知らせ等、次の各項目の最新情報を確認することができます。



授業	試験	学生呼び出し	緊急連絡	お知らせ
担当教員からの連絡	試験に関する連絡	学生個人宛の連絡	災害時等の連絡	左記以外の連絡

【新着掲示】…各項目の最新情報を表示



【掲示板】…各項目の掲示期間内の情報を表示

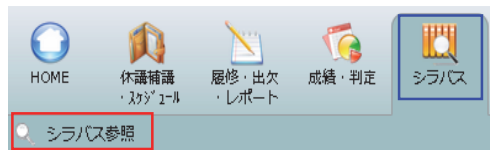


### 〈掲示板情報の確認〉

**本システムの掲示板情報や学部等の掲示板は必ず確認してください。各掲示板を見落とした場合は、各自の責任となるので、十分に注意してください。**

## 4 シラバス参照

本機能は、シラバスを参照するときにご利用します。  
「シラバス参照」をクリック後、検索画面で授業の条件を分かる範囲で指定し、検索します。「年度」及び「時間割所属」は必須条件です。



シラバス参照/条件入力

時間割条件検索

年度 : 2021

時間割所属 : 教養教育 (\*1)

(\*1) 杉谷キャンパス科目について  
学科/専攻を選択してください。(薬学部を除く)  
薬学部については、学部を選択してください。

学期 : 前期

開講 : 指示なし

教員名 : ※前方一致

授業科目名 : ※前方一致

学年 : 1年

曜日 : 月曜日

時限 : 1限

フリーワード : ※部分一致

追加項目検索  
 使用言語  アクティブラーニングの実施内容  実務経験教員  
 科目  データサイエンス科目  他学部・他研究科等学生の履修可否

検索結果表示件数: 100 件

検索開始 クリア



シラバス参照/検索結果

1件目から10件目の検索結果を表示しています (全部で332件あります)

検索結果ページ: << 前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ >>

No.	学期	開講	曜日・時限	時間割コード	科目名	担当	参照
1	前期	前期	月1	101101	健康スポーツ (バレーボール)	〇〇〇〇	参照
2	前期	前期	月1	101102	健康スポーツ (卓球)	〇〇〇〇	参照
3	前期	前期	月1	101103	健康スポーツ (バドミントン)	〇〇〇〇	参照

『参照』をクリックすると、シラバスが閲覧できます。



シラバス参照/授業情報参照

授業情報 / Course information

別の条件でシラバスを参照する / Inquiry syllabus by others conditions

項目名 / Course title	物理の世界 / Physical Science
担当教員 (所属) / Instructor	(理学部物理学科)
授業科目区分 / Category	教養教育科目 自然科学系
授業種別 / Type of class	講義科目
時間割コード / Registration Code	1011004
COC+科目 / COC+Course	-
※平成28年度入学者から適用	
時間割コード / Registration Code	1011004
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00031-0300
開講学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / Spring
開講期 / Class period	月 / Mon 1
対象所属 / Eligible Faculty	教養教育科目 c
対象学年 / Eligible grade	1年, 2年, 3年, 4年
単位数 / Credits	2
教室 / Classroom	五福共C11番教室
連絡先 / Contact	
オフィスアワー / Office hours	講義等は基本的にはメールやmoodleでお願いします。質問が必要な際には必ずメールで予約をお願いします。

シラバスは、『Webシラバス (授業案内)』からも参照できます (学外からも閲覧可)。  
※『Webシラバス (授業案内)』で参照できるシラバスは、ヘルン・システムに記載されているシラバスの一部を省略しています。



授業関係

- 授業・履修・授業時間 →
- 学年暦・履修登録日程等 →
- Webシラバス (授業案内) について →
- Webシラバス (授業案内) →
- 非対面型授業 (遠隔授業) の受講について →
- 休講・補講について →
- 災害等による全学一斉休講措置について →
- 成績評価に対する異議申立てについて [PDF, 74KB] →
- ヘルン・システム (学内限定) →
- GPA制度 →
- 保証人 (学生の親権者等) への成績通知について →

富山大学ウェブサイト > 在学生の方 > 授業関係 > Webシラバス (授業案内)

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>

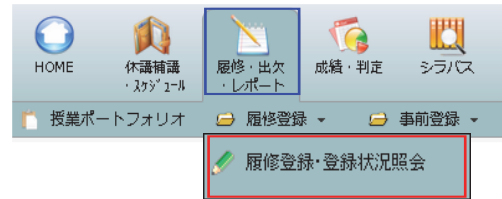


## 5 履修登録

次の(1)から(3)の履修に関する手続きは、『履修・出欠・レポート』タブの『履修登録・登録状況照会』から行います。

- (1) 履修登録 (毎週開講授業科目)
- (2) 授業科目の削除
- (3) 履修登録 (集中講義等)

『履修登録・登録状況照会』をクリックすると、右の履修登録・登録状況照会画面が表示されます。本画面の各項目の詳細は、次のとおりです。



### 【 Semester制学部 】

履修登録・登録状況照会

氏名 富山 太郎  
 所属 人文学部

① 年度・学期 〇〇年度 前期 ② 期限 20〇〇/04/〇〇 17:00

下のコマ表に科目名が表示されていれば、データの登録は完了しています。

③

前	前期		後期	
	月曜日	火曜日	水曜日	金曜日
1限	未登録	未登録	未登録	未登録
2限	未登録	未登録	未登録	未登録

① 年度・学期  
 現在表示している履修状況の年度・学期を表しています。学期の表示の切り替えは**学期タブ**（下記③参照）をクリックしてください。

### 【 Quarter制学部 】

所属 経済学部経済学科

① 年度・学期 〇〇年度 第1ターム ② 期限 登録期間外

下のコマ表に科目名が表示されていれば、データの登録は完了しています。

③

第1ターム	第2ターム		第3ターム		第4ターム	
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
2限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

② 期限  
 履修登録の期限を表します。この期限を過ぎると、該当年度の学期の履修登録はできなくなるので、注意してください。  
 ※照会はいつでも可能です。

③ 学期タブ  
 履修登録・登録状況照会を行いたい学期を変更するときにクリックします。



### 【 Quarter制学部 】

各タームの履修登録期間は、以下のとおりです。4月と10月に、2ターム分の履修登録をする必要があるため、注意してください。

第1、第2ターム履修登録期間：第1ターム（4月）

※第2ターム開始月に、第2ターム履修予定科目の修正期間があります。

第3、第4ターム履修登録期間：第3ターム（10月）

※第4ターム開始月に、第4ターム履修予定科目の修正期間があります。

## (1) 履修登録(毎週開講授業科目)

- ① 履修登録を行いたい『曜日時限』の『未登録』をクリックします。

※以下の例では、月曜1限に登録すると想定します。

- ② 曜日が『月曜日』、時限が『1限』となっていることを確認し、『時間割コード検索』をクリックします。

※事前に時間割コードが分かっている場合は、『時間割コード』欄に入力し、『登録』をクリックします。(→⑥へ)

- ③ 検索画面で授業の条件を分かる範囲で指定し、検索します。「年度」及び「時間割所属」は必須条件です。

- ④ 検索結果が表示されるので、『履修登録を行いたい授業科目名』をクリックします。この画面でシラバス項目にある『Syllabus』をクリックすると、当該授業科目のシラバスを参照できます。  
(シラバス参照については、p.7を参照)

履修登録・登録状況照会

氏名	富山 太郎	学籍番号	
所属	人文学部	学年	
年度・学期	〇〇年度 前期	期限	20〇〇/04/〇〇 17:00
件数			

下のコマ表に科目名が表示されていれば、データの登録は完了しています。

	前期	後期			
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	未登録
1限	未登録	未登録	未登録	未登録	
2限	未登録	未登録	未登録	未登録	
3限	未登録	未登録	未登録	未登録	

履修登録・登録状況照会

履修登録する時間割を入力してください

曜日	月曜日
時限	1限
時間割所属	人文学部
時間割コード	

不明の場合は時間割コード検索で検索できます。

登録 クリア 履修登録画面に戻る

履修登録・登録状況照会/条件入力

時間割コードが不明な場合は以下の条件で検索できます

年度	: 2019
時間割所属	: 人文学部 (*1)
学期	: 前期
開講	: 指示なし
教員名	: ※前方一致
科目名	: ※部分一致
科目名カナ	: ※部分一致
学年	: 1年
曜日	: 月曜日
時限	: 1限
検索結果表示件数	: 100 件

検索開始 クリア

履修登録・登録状況照会/検索結果

1件目 から 5件目の検索結果を表示しています (全部で 5件あります)

検索結果ページ: << 前へ 1 次へ >>

No.	学期	開講	曜日・時限	時間割コード	科目名	担当	シラバス
1	前	前	月1	103101	日本文学	〇〇〇〇	Syllabus
2	前	前	月1	103102	現代社会論	〇〇〇〇	Syllabus
3	前	前	月1	103103	経済生活と法	〇〇〇〇	Syllabus
4	前	前	月1	103104	経済・経営データを読む	〇〇〇〇	Syllabus
5	前	前	月1	103105	生命の世界	〇〇〇〇	Syllabus

1件目 から 5件目の検索結果を表示しています (全部で 5件あります)

検索結果表示件数: 100 件 表示

- ⑤ 履修登録を行いたい授業科目名の**時間割コード**が入力されていることを確認し、『登録』をクリックします。

- ⑥ 右図のとおり登録されます。(時間割表内に表示されれば、登録されています。) 引き続き履修登録を行う場合は、①から⑥の手順を繰り返します。

前編	後編	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
103101 日本文学 0000	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

※他学部等が開講する科目の履修登録についても、本システムから行います。登録方法等の詳細については、履修登録時期に別途お知らせします。



### 〈履修登録におけるエラーについて〉

履修登録を行うと、右図のような履修登録エラーが表示されることがあります。

本来登録できるはずの授業科目に登録できない場合は、**至急所属学部等の教務担当窓口**（**教養教育科目については共通教育棟1Fの教養教育支援室窓口**）に報告してください。

### 〈その他のエラー表示〉

- ・履修前提条件を満たしていません。
- ・修得済の単位 / 授業科目数が排他単位 / 授業科目数の制限を超えています。
- ・曜日・時限が重複しています。
- ・この時間割は指示されている年次以外の学生は履修することはできません。
- ・クラス制限科目です。
- ・カリキュラム制限科目です。
- ・学期に履修可能な**単位数**を超えています。
- ・学期に履修可能な**科目数**を超えています。

## (2) 授業科目の削除

- ① 削除したい授業科目の『**時間割コード**』をクリックします。

	前期		後期	
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
1限	103101 日本文学 ○○○○	未登録	未登録	未登録
2限	未登録	未登録	未登録	未登録
3限	未登録	110022 日本語学特殊講義N ○○○○	未登録	未登録
4限	未登録	未登録	未登録	未登録

- ② 授業科目名等を確認して問題なければ、『**削除**』をクリックします。

※削除後は①の画面に戻るので、引き続き履修登録が可能です。  
(履修登録については、p.9を参照)

履修登録・登録状況照会

以下の時間割を削除します よろしいですか？

曜日	火曜日
時限	3限
時間割所屬	人文学部
時間割コード	110022
科目名	日本語学特殊講義N

削除 履修登録画面に戻る

## (3) 履修登録（集中講義等）

集中講義等を登録したい場合は、以下の要領で行います。

- ① 『**集中講義を登録**』をクリックします。

下のコマ裏に科目名が表示されているれば、データの登録は完了しています。

	前期		後期	
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
1限	103101 日本文学 ○○○○	未登録	未登録	110062 西洋史特殊講義 ○○○○
2限	未登録	未登録	未登録	未登録
3限	未登録	未登録	未登録	未登録
4限	未登録	未登録	未登録	未登録

集中講義を登録

- ② 曜日及び時限が『**その他**』となっていることを確認し、『**時間割コード検索**』をクリックします。

※事前に時間割コードが分かっている場合は、『**時間割コード**』欄に記入し、『**登録**』をクリックします。

履修登録・登録状況照会

履修登録する時間割を入力してください

曜日	その他
時限	その他
時間割所屬	人文学部
時間割コード	

不明の場合は**時間割コード検索**で検索できます。

登録 クリア 履修登録画面に戻る

③ (1)履修登録 (p.9) の③～⑤と同様の手順で登録します。なお、同一曜日時限に複数授業を登録すると、1科目は通常の曜日時限の欄に、残りの1科目は、『集中講義など』の欄に表示されます。

5限	110058 東洋史実習 ○○○○	未登録	未登録	未登録
6限	未登録	未登録	未登録	未登録
7限	未登録	未登録	未登録	未登録

集中講義など		集中講義を登録		
曜日	時限	時間割コード	科目名	担当教員名
その他	その他	110245	日本文学特殊講義	○○○○

テキスト出力 履修状況をテキストファイルに出力する場合に使用します

※履修登録内容を印刷したい場合は、＜履修登録・登録状況照会＞画面左下の『PDF出力』をクリックします。

前編	後編	集中講義を登録		
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限 103101 日本文学 ○○○○	未登録	未登録	110062 西洋史特殊講義 ○○○○	未登録
2限	未登録	未登録	未登録	未登録
3限	110022 日本語特殊講義N ○○○○	未登録	未登録	未登録
4限	未登録	未登録	未登録	未登録
5限	110058 東洋史実習 ○○○○	未登録	未登録	未登録
6限	未登録	未登録	未登録	未登録
7限	未登録	未登録	未登録	未登録

集中講義など		集中講義を登録		
曜日	時限	時間割コード	科目名	担当教員名
登録されていません				

テキスト出力 履修状況をテキストファイルに出力する場合に使用します

PDF出力 履修状況をPDFファイルに出力する場合に使用します

他の学生の履修状況を確認する

テキスト出力 履修状況をテキストファイルに出力する場合に使用します

PDF出力 履修状況をPDFファイルに出力する場合に使用します

## 6 事前登録

※事前登録機能を使用する場合は、別途指示があります。  
事前登録に関する手続きは、『履修・出欠・レポート』タブの『事前登録』又は『事前登録照会』から行います。

履修・出欠・レポート	成績・判定	シラバス
履修登録	事前登録	
	事前登録照会	

- (1) 事前登録
- (2) 事前登録科目の削除

### (1) 事前登録

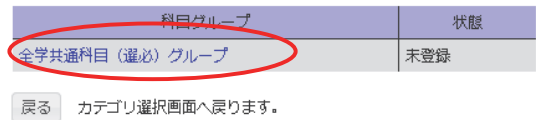
① 『事前登録』をクリックし、事前登録を行う授業科目の『カテゴリ』をクリックします。

カテゴリ名
全学共通科目 (選必)
全学共通科目 (選択)
一般外国語
学科科目 (人文学部)
学科科目 (教職科目)

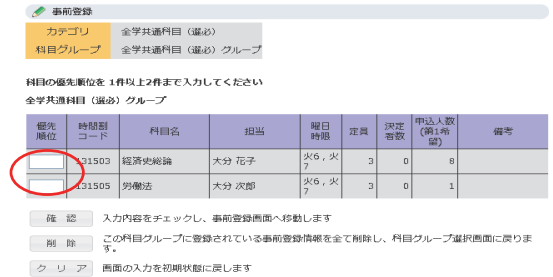
登録済みの科目は 事前登録照:



- ② 事前登録を行う科目の『科目グループ』をクリックします。カテゴリ選択に戻る場合は、『戻る』をクリックしてください。

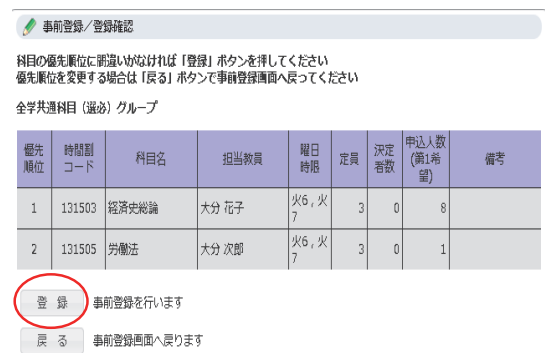


- ③ 優先順位 (右画面であれば、『1』又は『2』)を入力して、『確認』をクリックします。優先順位には、数値のみ入力可能です。



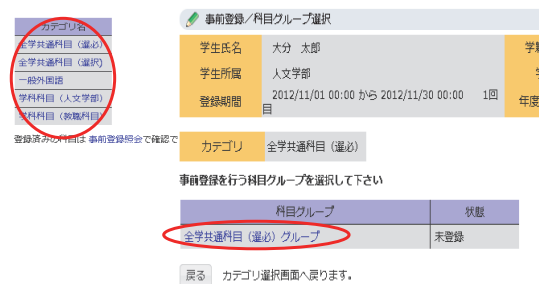
- ④ 内容を確認後、『登録』をクリックします。一つ前の画面に戻る場合は、『戻る』をクリックします。

※事前登録期間内であれば、登録内容の変更が可能です。変更する場合は、以下の「(2) 事前登録科目の削除」から削除し、再度「(1) 事前登録」の①から④の手順で登録を行います。

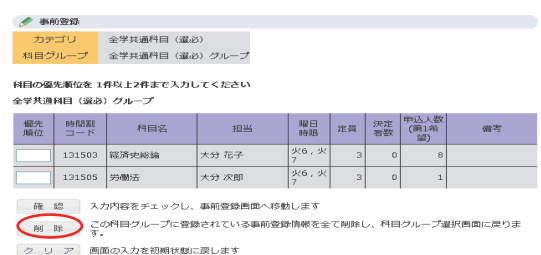


## (2) 事前登録科目の削除

- ① 「(1) 事前登録」の①・②と同じ手順で、削除したい授業科目の『カテゴリ』及び『科目グループ』を選択します。



- ② 既に登録した授業科目が表示されるので、『削除』をクリックすると、表示されている授業科目が全て削除されます。



---

所属

---

学籍番号

---

氏名

---



教養教育院ウェブサイト  
<http://www.las.u-toyama.ac.jp/>



とみだいiNfo



Android版



iPhone版